

令和6年度

見量山

第31号



高山西高等学校

学習三原則

一、生活を正す

二、目標を持つ

三、継続する

目 次

巻頭言 「Noblesse Oblige」	校長 小林隆徳	1
1. 各校務分掌からの実践報告		
(1)教務部 総括	山本大輔	3
(2)進路指導部 総括	岩坂 晋	16
(3)生徒指導部 総括	堀尾 譲	22
教育相談課	池上正巳	35
(4)保健 総括	井川朱音	36
(5)特別活動部 総括	鈴木慎太郎	37
(6)入試広報部 総括	横田匡司	40
(7)渉外部 総括	川上千敏	44
(8)環境教育課 総括	面手 啓	46
(9)学年部 第1学年の取り組み	鈴木慎太郎	48
第2学年の取り組み	上西貞幸	49
第3学年の取り組み	桂川剛士	50
2. 文 友		
ぎふグローバル人材育成推進モデル事業	松岡慶志郎	51
3. 生徒活動報告		
生徒会活動	生徒会顧問 打江勇太郎	53
部活動（五十音順）		
アーチェリー部	杉浦成利	54
ウインドアンサンブル部	永瀬敬至	55
剣道部	前川矩英	56
硬式野球部	谷川真祥	58

茶華道部	元田尚美	59
サッカー部	池上正巳	60
書道部	脇田修宏	61
情報ビジネス部	荒井啓太郎	61
ソフトテニス部（女子）	面手 啓	63
ソフトテニス部（男子）	江黒永寿	64
卓球部	菅沼孝司	64
ディベート部	堀尾 讓	65
ハンドボール部（男子）	山下祐輝	65
バスケットボール部（女子）	下畑耕一	67
バスケットボール部（男子）	打江勇太郎	68
バドミントン部	三川俊哉	70
バレーボール部（女子）	蟹江信介	73
美術部	脇田修宏	73
陸上競技部	廣田孝司	74
レスリング部	木伏智仁	76

4. 国際交流

高山市スピーチコンテスト	B・雅	78
国際交流	井上正己	80

5. その他

令和6年度 職員一覧		86
令和6年度 略年誌		87
令和6年度 役員（育友会・学校後援会・同窓会役員）		89

編集後記

表紙絵 「駄作への恋情」 2 L 岩島百音 高山市美術展 市展賞（最優秀）

巻頭言

Noblesse Oblige

校長 小林 隆徳



本校は草創以来60年の歴史を刻んでいます。60年の歴史の中で、数多くの有為な人材を輩出してきました。NPOを立ち上げ、教育関係では全国に知らぬ人がいないほど活躍している先輩がいます…彼女への「憧れの連鎖」が多くの学生、社会人を引きつけていると話していた、そのNPOのメンバーがいました。研究者の道を選び、世の中をよくするために研究に専念している先輩方も多くいます。本校を卒業して司法試験に合格した卒業生が、知っている範囲でも3名います。医学部医学科にはこれまで28名が進んでいます。大医となって欲しいと思います。看護、医療の道に進み命を預かる尊い職業に就いている先輩は1000人を下らないでしょう。地元で社長職を継いだり、地元就職をし、地元産業を支えたりしている卒業生は数え切れないほどおります。公務員として世のために活躍している先輩も数知れません。多くがそれぞれの持ち場のリーダーとなり、活躍してくれています。本校の存在意義は、そこにこそあるのです。ですから、本校の卒業生たちにはNoblesse Oblige「高貴なる使命」の原石を身につけて卒業して欲しい。

京セラ、KDDIをゼロから草創され、JALをよみがえらせ、2年前の夏、永眠された稲盛和夫さんのお言葉を、生徒の皆さんに紹介したことも何回かありました。

「思考を現実に変えるには、並みに思ったのではダメだ。生半可なレベルではなく、強烈な願望として、寝ても覚めても四六時中、そのことを思い続け、考え抜く。頭のとっぺんから爪先まで全身その思いでいっぱいにして、切れば血の代わりに『思い』が流れる。それほどまでにひたむきに強く一筋に思うこと。そのことが物事を成就させる原動力となる。」という話です。思い出してくださる生徒もいるのではないのでしょうか。

その稲盛和夫さんは次のようなことも言われています。立志の徒に送るべき、と

でも滋養に富んだ言葉です。

「無私の心が人を動かす一人を動かす原動力は、ただ一つ公平無私ということです。無私というのは、自分の利益を図る心がないということです。あるいは自分の好みや情実で判断をしないということです。

無私的心を持っているリーダーならば、下の者について行きます。逆に、自己中心的で私欲がチラチラ見える人には、嫌悪感が先立ち、ついて行きかねるはずです。

西郷隆盛は「金も要らない、名も要らない、命も要らないという奴ほど、始末に負えない者はない。しかし、始末に負えない者でなければ、国家の大事を任せるわけにはいかない」という言葉を残しています。つまり、私欲がない者でなければ、高い地位につけるわけにはいかないと言っているのです。

リーダーの指示一つで、下の者の士気も上がれば、逆に下の者が苦しむこともあります。それなのに、自分の都合によって指示をしたり、物事を決めたり、感情的になったのでは誰もついてきません。

リーダーは、まず自らの立つべき位置を明確にすべきです。そして、私利私欲から脱却した、『自分の集団のために』というような大義に、自らの座標軸を置くべきです。」

こういう生き方がしっかり身について、はじめてSociety5.0でAIに負けない人材になりうるし、高貴なる使命を全うする人材になり得るのです。

Noblesse Oblige

1. 各校務分掌からの実践報告

(1) 教務部

総括

教務部として考える

「魅力ある学校づくりと今後の課題」

教務主任 山本 大輔

今年度は、学校の体制が大きく変化した年度である。学校改革初年度として、教務部としては、改めて教務部が学校教育において担う役割を再認識し、教務部全体でそれを共有することから始めた。学校教育における教務部の役割とは、教育活動を円滑に運営し、学校全体の学習環境の質を向上させることである。その役割を通じ、学校と教員が一体となり、生徒の成長と学習を支える環境を整えることが必要であると考え。

私立高校である本校は、少子化による生徒数の減少や、中学生の飛騨地区外への流出により定員確保が困難となっている現状に対し、危機感を強めている。学校経営を安定させるため、生徒確保に向けた進路実現の推進や部活動の充実に関力を入れることは、もちろんである。各分掌や教員一人ひとりがこの課題について考える必要があるが、教務部としては、より一層「生徒に自信と誇りを持たせるには、どうすべきか」を追求し、「魅力ある学校づくり」に努める必要がある。教員一人ひとりが授業を通して「魅力ある学校づくり」を实践できるよう、「質の高い教育を生徒に提供するにはどうすべきか」を考え、その実現のために、「授業改善につなげる方法」を検討できるよう、教務部が中心となって教育環境を整備し、教員をリードする必要がある。

また、今年度は、3学年が完全に新課程に移行した年度でもある。新課程では、「学力の三要素（①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」を育成・評価することが目的とされている。これらを育むことには大いに賛同しており、今後の社会においても必要とされる資質・能力であると考え。しかし、実際の高等学校教育現場では、教

える知識量は変わらないか、増加傾向にある。その中で本校は、思考力や判断力を育成する授業展開や、主体的・対話的で深い学び、協働作業やコミュニケーションを意識した活動を工夫して取り入れている現状である。さらに、探究力や主体性を持ち、自ら学習を進める能力の育成が求められている。興味を持ち、自ら調べ、理解を深めていくことは教育の理想であるが、何もないところから探究力や主体性は生まれない。基礎となる知識を蓄える授業を行いつつ、探究力や主体性を育成する授業をどのように実践するか、教員には授業への工夫が一層求められる。その工夫を具体化することが授業改善であり、本校の教育改革につながると思う。また、多様化する生徒の学習ニーズに対応するため、授業との連携を図りつつ、積極的な資格取得やタブレット端末の活用を目指し、生徒が「社会を生き抜く力」をどのように養成するかを考える必要がある。

以上を踏まえた今年度の本校の取り組みは、以下の通りである。

1. 課題解決のための実践

(1) 授業の質向上のための授業改善に向けての取り組み

①授業評価アンケートの質の向上 … 教科部会の活性化へ

今年度は7月8日(月)と12月9日(月)に実施

②公開授業週間の活性化 … 昨年度を検証し、実施時期・回数の検討へ

今年度は10月15日(火)からの4週間で実施

(2) ぎふグローバル人材育成推進事業指定校としての取り組み

①目標

地域と一体になり、課題を的確に捉え飛騨の魅力を探し、世界に発信する活動を行う中で、飛騨を、日本を愛する心を持ったグローバル人材の育成を目指す。

②対象クラス (特進Ⅰクラス・特進Ⅱクラス)

1年次に飛騨の歴史・文化・自然に関する基

本的な知識を学び、2年次より各自が関心を持つ分野（人文科学的な視点・自然科学的な視点）を選択し、フィールドワーク・ゼミ形式で専門性を身につける。また、日本語による政策提言が行えるようになる。3年次には英語で政策提言を行ったり、海外で高山の魅力についてアピールできたりする能力を身につけることを最終的な目標とする。

2. 今後の課題

授業評価アンケートでは、教員側の「ここがポイントだ」「なぜそうなるのか」という教える意図が生徒に伝わっていると感じられる意見が多く、一定の評価を得ていることが伺えた。しかし、板書（電子黒板の使用を含む）の仕方、話し方、授業の進度などに対して改善を求める意見も寄せられた。こうした意見にこそ真摯に耳を傾け、大いに授業改善に役立てていく必要があると感じている。

また、公開授業週間においては、自分の教科だけでなく、他教科の教員の授業を見る大変良い機会となった。教員の世界は「聖域」となりがちだが、多くの教員から自分の授業に対する意見を得られることは非常に貴重な経験である。さらに、本校内で生徒から「わかりやすい」と評価の高い授業を見学する機会を得たことで、「なぜ生徒から評価が高いのか」を体験的に理解できた。授業評価アンケートは生徒からの授業評価であり、公開授業評価は教員からの授業評価である。自分自身の授業を多面的・多角的に見直す機会となり、大変有意義であったといえる。さらに、これらの取り組みの後、教科内外の職員同士の意見交換や受験問題への対応が盛んに話し合われたことは、教員にとって良い刺激となった表れであろう。

これらの取り組みは、教員間でも好評を得たと感じている。しかし、単年度だけの取り組みでは、「良かった」「面白かった」という「イベント」に終わってしまう。今後は、いかにこれらの取り組みを継続させていくのかが大きな課題である。それはつまり、我々教員が「生徒にとって魅力的で興味・関心を引く授業を提供できるか」ということであり、「授業の質向上を継続できるか」に

他ならない。来年度に向けて、授業評価アンケートや公開授業週間を通じて、いかに「教員個人の力から組織の力への移行」を図るのか、いかに「良い」と感じたことを積極的に導入する柔軟性と決断・勇気を持ち、「聖域をつくらない改善」を推し進めるのかを学校体制の中で検討する必要がある。生徒にとって最も重要で、学校生活の根幹をなす授業を扱う教務部が中心となって、これらを発信していかなければならない。今後は、これまで以上に「生徒が感動する授業を目指す」取り組みを模索する必要があると感じている。

3. 生徒・保護者のニーズの確認と対応

① 高大接続・入試改革に向けての取り組み

* ぎふグローバル人材育成推進事業指定校としての取り組みを基盤に、高大接続を深化させつつ、入試改革で求められている課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習「主体的・対話的で深い学び」の導入等について、さらに検討すべき課題である

② タブレット端末の積極的な活用

* 授業での効果的な活用について検討すべき課題である

③ キャリア教育や金融講座等の導入

* 職業観・生き方・進路など、「社会を生き抜く力」について考える機会を持つ

④ 効果的な検証と新たな取り組み

* 継続的に行うべきものは質をいかに高めていくか検討する

* 各教員の指導力向上へいかにつなげていくか検討する

* 組織をいかに活性化するか検討する

* 生徒・保護者のニーズに対応するために、新しい取り組みを模索し提供する

* 生徒との取り組みの中で、教員側の意識・意欲の向上へ繋げる

以上のようなことを踏まえ、今後取り組むべき方針は次の通りである。

① いま高校教育に求められているものは何か、いま本校に求められているものは何か

②教員として何ができるのか、何をやるべきなのかという問題意識の共有と校務への落とし込み

これらを実現するためには、新たに始めた取り組みをいかに継続して定着させるかに注力する必要がある。そのためには、「始めた目的」を忘れず、「なぜ、それを行うのか」という意識を持ち続けることが重要である。継続的に行われていることについては、惰性で続けることがないように注意することが大切である。そのため、自分の活動がなぜ重要なのか、生徒にどのような価値を生むのかを再確認し、教員自身が定めた目標や目的を見直す必要がある。また、教員自身の教授スキルを向上させるため、授業を通じて自分がどのようなスキルや知識を身につけたいのかを再認識し、日々の小さな工夫や改善を通じて成長を意識することも求められる。他の教員との意見交換を通じて、異なる視点や新しいアイデアを得ることもできる。授業の内容について意見交換をしたり、フィードバックを受けたりすることで、教授スキルを向上させるためのヒントを得られるはずである。そして、最も重要なのは、「誰のための取り組みなのか」を見極める「正しい目」を養うことである。「生徒に自信と誇りを持たせるにはどうすべきか」「いかにして質の高い教育を生徒に提供すべきか」「いかにして社会を生き抜く力を養成すべきか」を考え、授業を通じて「魅力ある学校づくり」を実現するという「視点」を大切にす取り組みを、教務部が中心となって推進していきたいと考える。

視聴覚図書教育課

脇田 修宏・直井 亜矢子

(方針)

活字・映像・音響などによる文化的情報の提供により、幅広い人間性を養う期間として、また生涯学習の基本的な姿勢を学ぶ場としての認識を持って運営にあたる。

(本年度重点目標)

- 1 豊かな人間性の育成を目指す視聴覚図書館教育の推進
- 2 学習と直結した利用活動の充実

(具体的活動)

- 1 利用しやすい図書館作り
 - ・明るく落ち着いた環境
 - ・資料コーナーの設置 … 研修旅行、西高祭、ディベートなど
- 2 蔵書構成の点検、整理
 - ・蔵書の有無と数量及び保管状況の調査
 - ・購読雑誌・新聞の整理と充実
 - ・蔵書管理と本の貸し出しなどのコンピュータ処理
 - ・コンピュータによる書籍の検索
- 3 読書意欲の向上
 - ・朝の10分間読書と図書館利用の活性化
- 4 図書館利用の活性化
 - ・オリエンテーションの実施
 - ・図書館での授業実践
 - ・学校行事や教科指導とタイアップした資料提供
 - ・図書委員会活動
ポスターの作成による本の紹介
環境関連図書の管理
- 5 時代に即応した視聴覚教材の充実
 - ・視聴覚ライブラリーの設置と充実

(図書館オリエンテーション)

1年生の図書館オリエンテーションをクラス単位で行った。内容としては朝読書の意義、その効果やメリットについて、本の貸し出し・返却の仕

方について説明した。加えて感染予防対策として、図書館入退室時の手指消毒を徹底するように呼び掛けた。勉強や部活動とは異なる朝の10分間読書を有意義な時間にすることで、リフレッシュを図り、落ち着いた雰囲気での一日のスタートを切ってほしいと願う。

(委員会活動との連携)

毎月、行われる委員会では、おすすめ本のポスター作成や学級文庫や図書館の本の管理などの活動を実施している。また、ISO14001における環境目標である「環境関連図書を通して環境に対する認識を高める」の実践のため、関連図書の管理を継続している。

2024 創立記念講演会

「命の授業 ドリームメーカー」

日 時 令和6年5月30日木曜日
13:00～15:00

場 所 本校 体育館

講 師 腰塚 勇人 氏

◎略 歴

1965年神奈川県生まれ。大学卒業後、中学教師となる。2002年スキーでの転倒で首の骨を折り、奇跡的に命は取り止めたものの首から下がまったく動かなくなる。そして、医師から「一生寝たきりになる。」と宣告を受けるも、奇跡的な回復を遂げ、現場に復帰した。

その体験を「命の授業」として公開したところ、大反響を受け、2010年より「命の授業」の活動に専念するため、22年間務めた教員を退職。現在、講演家として「命の大切さ」「生きていることの素晴らしさ」「ドリームメーカーの大切さ」「命の喜ぶ生き方」を全国の小・中・高等学校や一般の人々に伝える活動をしている。

◎内 容（素起こし）

2012年の6月、初めて西高校に来ました。創立記念講演会に、また来れたことを、とてもうれしく思います。私は中学校の教員で体育の教員をしていました。だけど、スキーで首の骨を折って、たくさんの人に助けられました。外見は普通だけど、実は、首の神経を傷つけて体に障害が出ました。感覚障害、排泄障害、手が動きにくかったり、体育を教えられなくなって、とっても苦しい時に、ニュースから流れてきた子供たちのいじめ、自殺する子供たちの世界だけでなく、大人たちのいじめ、自殺または虐待、暴言、体罰、これにより、子供たちの命、心、体が傷つく。それから一人でも子供たちを救うために、この講演「命の授業」やることに決めました。

教師を辞めて、講演家になることを周りから猛反対されました。「何で安定した仕事があるのに食べていけなくなる。馬鹿じゃないの？」とたくさん言われました。だけど、命と向き合って、命が止まりそうな時に一つ思ったことがある。「死にたくない、こんなところで死にたくない、やりたいことたくさんあるのに。」人生後悔した。たくさんの人に助けられて、第二の人生がスタートしました。「これからの未来で必ず起こることは、いつか死ぬ。」この時に一番思いたくないのが、もっとあれしたかった、これやりたかった、後悔しなくなかった。だから「命の授業」をする、と決めた。退路を断ったからこそ、自分で真剣に考えることができました。試行錯誤して、とっても苦しい思いもした。そのおかげで14年も続けられ、講演回数は232回もできました。食べていけるようになり、お給料も2倍以上になりました。本気になって良かった。

私が「命の授業」であなたたちにあげたい言葉が3つあります。1つ目は、「ドリームメーカー」、2つ目は、「命を喜ぶこと」今、あなたたちは、人を傷つけたり、体を大切にしていますか？3つ目は、「人生ENJOY」せっかくの出会い、楽しまなければもったいないよね。人生一回しかない高校生活、部活動の仲間、この学校でよかった？友達と先生たちと「人生ENJOY」していますか？

僕の話聞いていくうえでほしい運動がある。1つ目は、首の運動「うなずき」、2つ目は、顔の運動「笑顔」、3つ目は、手の運動「拍手」、この三つの運動をしながら、聞いてくれると嬉しいです。命と向き合って、お前のそれはダメやな、お前のそれは間違っているとっている人は一人もいな

かった。みんな違って当たり前。違いは違い、間違いではない。みんな一緒、みんなって言った瞬間考えることを辞める。みんなって言った瞬間責任を取ることを辞める。みんなの人生の主演はみんな。答えを出すことも大切だけど、もっと大切なのは考えること。成長は枠の外に自己満は思い込み、チャレンジしない。考えない。自分からどうしたらいいか考えるひと。〇〇のはずだと思う、〇〇であるべき、〇〇でなければならない、決めつけて人のせい、でも、だって言い訳、思考の癖、自分がピンチの時は必ず思考の癖が出る。でも、「だって」を言い続けていたら成長は止まる。私が来た理由は、その言い訳を止めるため。手足動かなくても車いすで生きていても、生きていいんだ。そう思わせてくれた人たち、その人が「ドリームメーカー」一緒にいると元気になれる人、勇気を与えてくれる人、パワーチャージ。辛い時、苦しい時、ピンチの時、最後に一緒にリスクを負ってくれる人リスクテイカー。助けて辛い苦しいと言える人、泣きたげりゃ泣いていいんだと泣かせてくれる人、失敗した時に許してくれて一人で頑張らなくていいよ。助かった時に、自分の気持ちを分かってくれるがいる。支えてくれる人がいる。心がほっとする人 ホットマン。みんなそれぞれ持つてる、やる気スイッチを探して押してくれる人、恩人。あの先輩、あの先生、あの人すごい、あんな風になれたらいいな、一緒にいるとわくわくする人。夢を与えてくれる人。モデル。君たちの夢を応援してくれる人君たちの夢を語ってくれる人。「ドリームメーカー」はそんな意味で使ってます。

パワーチャージャー、リスクテイカー、ホットマン、恩人、モデルドリーム、君たちに質問です。生まれてから今日まで君たちにとっての「ドリームメーカー」は誰ですか？誰の顔が頭に浮かぶ？その「ドリームメーカー」が君たちにしてくれることはどんなこと？生まれてから今日まで君たちの「ドリームメーカー」は誰だ？もう一つ、今日朝起きてから今、今日、現在進行形で君たちにとっての「ドリームメーカー」は誰？今、今日、君たちにとっての「ドリームメーカー」は誰？君たちは、今、誰の「ドリームメーカー」になれてる？誰の「ドリームメーカー」でいたいですか？

あの怪我をして私は36歳だった。首から下が動かない私の姿を見た母親は泣きながら何回も、「変わるもんなら私が変わってあげたい。」って泣きながら言ってくれた。奥さんと一緒に戻って来いって、俺と母さん幸せそうできてくれた、ありがたかった嬉しかった。ただね、生きててくれて良かったって、命があって良かったって、あの言葉を聞いた時には嬉しい気持ち以上に、ごめんなさいという気持ちでいっぱいになりました。私の命も私のハートも、自分だけのものじゃなかった。両親が命を授けてくれて、ハートを授けてくれて、その体と命を一番守ってくれてた両親に、その命と体を傷つけちゃってごめんなさい。そんな気持ちでいっぱいになりました。自分に命も自分の体も自分だけのものじゃない。それでも両親は私を守ろうとしてくれました。一番のリスクテイカーになろうとしてくれた。そして、もう一人の「ドリームメーカー」は奥さん。首から下が動かない私に、私は何があっても絶対離れないであげる。一緒に頑張ろうね、奥さんそう言ってくれた。ありがたかった、嬉しかった、家族じゃなかったら行ってくれた？

ただ、もう一つ君たちに知ってほしい言葉があります。それは、「ドリームメーカー」に敵がいる、「ドリームメーカー」の敵のこと、何て言いますか？せーの「ドリームキラー」ありがとう、「ドリームキラー」命、心、体、傷つけや、夢、やる気、ぶち壊してやる。君たちの周りに「ドリームキラー」はいませんか？君たちが誰かの「ドリームキラー」になっていませんか？周りに「ドリームメーカー」や「ドリームキラー」、でも気づけて一番良かったのは、周りだけじゃない。常に毎日自分のなかに「ドリームメーカー」や「ドリームキラー」がいるとそれに気づけた、私の中は「ドリームキラー」だらけだった。私の中の「ドリームキラー」は私にこう言ったんだよ。「首から下が動かないやつが、これからどうやって生きていくんだ？おい、お前分かってんのかよ。家族のお荷物、ダメ人間、お前人生終わってんだよ。お前らが生きたきりがねえんだからよ。お前がこんな手足動かない状態できたら、周りがすげー迷惑をするんだよ。負担がかかるんだよ。お前さっさと死ぬ。このダメ人間、家族の荷物、お前何か生

きたきりがねえんだからよ。」周りから誰からも一言もそんなこと言われなかったよ。けど、自分のなかの「ドリームキラー」は、自分を殺そうとした。家族のお荷物、早く死ね、生きたきりねえんだから、でも、そんなことは今日君たちに会えた今、私の中にいたはずの死にかけてた、諦めかけてた「ドリームメーカー」を、引っ張り出してきた。大切な人だった。その一番「ドリームメーカー」は家族であり、次に出合える「ドリームメーカー」は、この言葉を言っていていいって教えてくれた。私はこの言葉がいえるようになってから、生きることにスイッチを入れた。助けてって言っていい。教えてくれたのは看護師さんだった。「腰塚さんもう一人で頑張るのやめましょう、十分、頑張ってるから、今は助けてって言っていいですよ、周りの人の力借りていいんです。けっして助けてって言う言葉はかっこ悪くありません、自分の欲しいものなりたいたいもの手にするため、周りの人の力を借りることも一つの方法です。私は腰塚さんに元気になってほしい、だから何でもいいので言ってください。一緒に頑張ってください。そして、腰塚さんの足腰が元気になったら、今度は腰塚さんが周りを助けてあげてください。人生お互い様ですよ。助け合って生きていていいんです。」看護師さん泣きながら言ってくれた。ほんとは泣き止みたかった、ぶち切れたかった、不安で怖くて誰かに助けてといたかった気持ちを分かってほしかった。でも、その助けてを一番言えなかったのは、これ以上迷惑を掛けたくないという気持ちがあっただけ。その言葉に出さない心の声を、看護師さんが聞いてくれました。受け止めてくれました。この人にだったら助けてって言えるかもしれない。この人だったら気持ちわかってもらえるかもしれない。お見舞いの人がいっぱい来てくれました。私のことを思って、この言葉を言ってくれました。励ましの意味で言われてるのはよくわかった。でも、手足動かない心は悲鳴を上げてる時、この言葉はきつかった。頑張れ、頑張っただけ、励ましているのはよくわかるんだよ。でも、この言葉を言われるたびに私の中に「ドリームキラー」がこう話した。「今の本当の気持ちかわかんのかよ。頑張っただけとでも思ってるのかよ。これ以上周りに迷惑をかけたくない、ひとりでふんばってる。手足の動かない俺をこれ以上どうやって頑張れっていうのか、お前に今の俺の気持ちかわかんのか、お決まりのこと言ってんじゃねえよ、こいつ。」言葉にはしなかったけど心の中にそう話した。お前に俺の気持ちかわかんのかよ。でも、そうしたら、もう一人「ドリームメーカー」がこう言ってくれた。「腰塚さんごめんね。僕は手足動かなくなったことも、首の骨折ったこともない。だからほんとに腰塚さんの苦しさや辛さわかんないけど、一言だけ言わせてください。」そして、彼らはこう言ってくれた。「腰塚さん、手足動かなくても決してすべて失ってないと、手足動かなくても命と未来は残ってる。手足動かなくても命と未来は残ってる。だから、リハビリ一緒に頑張ろう。リハビリ一緒に頑張ろう。」彼はそう言ってくれた。頑張っただけの言葉の前に「一緒に」って言葉がつくだけで全然考えが違って聞こえた。一緒に頑張ろう。でも、私に聞こえたのは届いたのは言葉じゃなかった。届いてきたのは聞こえたのは、覚悟だった。何があっても絶対あなたの事は見捨てないから、絶対見捨てないから、伝わってきたのは覚悟だった。だから安心した。頼りたかった、信じたかった。この人にだったら助けてっていいかもしれない。どんなことあっても見捨てられない。そう思った。手足動かなかった、でも気持ちが元気になる、気持ちが、この時に気づいた言葉です。呼んでくれますか、赤い字、せーの「気持ちと体はつながっている」どうもありがとう「気持ちと体はつながっている」どうもありがとう。

こんな言葉、今まで言われて、こんなことやったらって気持ちの状態どうですか？自分が冷静な時気持ちが穏やかな時、そんな後悔する言葉や行動とりますか？いろいろ、むかむかしたり、不安な時辛い時どうしてもそれは気持ちと体がつながっている。自分の気持ちが元気な時は安定してるが、やっぱり安定して元気なことをよく聞いている。講演を聞いてくれた高校生はこんな感想をくれた。腰塚さんの講演を聞いてポジティブに考えているつもりが、ずっと自分に厳しく、自分の一番味方のはずの自分が自分の気持ちを一番考えない敵になっていました。私の周りは助けてくれる安心できる「ドリームメーカー」がいてくれます。部活、そして、友達関係で一生懸命頑張ってるんだけど思うとおり結果が出ない、友達と仲良くできなかった、そんなネガティブな、自分の努力が足りないんだ。もっと自分が変わらないとダ

メなんだ。でも、これ以上頑張れない、心が悲鳴を上げてるにもかかわらず、自分の心にムチを打ち続けました。自分が一番の味方、自分が一番の自分の理解者であるはず、自分が自分の一番の敵になってました。君たちの周りにそんな人はいませんか？自分に厳しくすることは大事だ、自分に厳しくするというのは自分が自分として約束を守る、っていう厳しさを感じた。どんなことだって流さないごまかさない。僕はそういうことは生徒にずっと言ってきた。クラスにも、自信はね、自信は自分が自分として約束を守ることでしか自信はつかないよ。自分が自分として約束を破るとどんどん自信はなくなってくよ。約束を守ること大事よ。そういう風な自分に対しての厳しさは必要かもしれない。けど、やっぱり心が悲鳴を上げる時もある、辛い時もある。その時はその気持ちも、受け止めてあげることが大事。

高校で人権講演会を行った時、こんなポスターが貼ってあった。高校二年生の女の子が描いたポスターでした。タイトルは、仮面をつけた私ってタイトルでした。これを書いた女の子に、「このポスター何でかいたの？」彼女に問い詰めた。「周りに迷惑をかけたくない気持ちは大切だと思うけど、自分の気持ちや意見を言えなくなる。心の中では本当は、といつも思っている自分がいて、自分が自分でいられなくなっていました。自分の人生の主人公は自分、強く心に残ってます。」彼女は最後私にこう言った。「もう生きてることが疲れちゃいました。学校に行くのが疲れちゃいました。もう疲れちゃいました。」まっ、そりゃ疲れるよね。本当は誰の顔色一番うかがわなきゃいけないのか？誰のご機嫌一番取らなきゃいけないのか？友達じゃないだろ？先生でも親でもないだろ？ちゃんと君たちは自分の顔色を見てきたか？今君たちの心の声は自分に何を言ってる。君たちの気持ちの状態は、どんな状態？誰のご機嫌とることが一番大事なんだ？友達か先生か親か？自分のご機嫌とることの方が大事だ？自分の気持ちを安定させることが大事だ。友達はいる？いないよりいるほうがいい。一番大事なのは自分の一番の味方。それは自分、自分の人生の主人公は自分だ。まず、自分の顔色ちゃんと窺う、自分の保険ちゃんととる。人よりまず大事なのは自分。君たちの本当に辛い時、苦しい時ピンチな時、君たちを助けてくれる「ドリームメーカー」は誰？お父さんお母さん家族に助けてって言えますか？友達にもクラスの担任の先生、学校の先生に助けてといえる？相談できる？辛い時苦しい時そんなことができますか、「助けて」が言えますか？逆に君たちはそんな人になれてる？あなたにしか言えないから、ちょっと聞いてくれる？そんな人になれていますか？君たちが相談できる「ドリームメーカー」は誰？助けてくれる「ドリームメーカー」は誰？君たちのいいところはどこ、君たちの長所はどこ？日本人の子供たちは、いいところ言ってみなると言う、うーんっていっぱい考える。悪いところ言ってみなると言う、これができません、あれができません、私はこれがダメです。悪いところでも考えずに言える。けど、自分のいいところ言ってみなると言う、なかなか言えない子たちがいっぱいいる。生きてるからには、いいところもあれば悪いところもある。すべて表裏一体だよ。表裏一体、すべて、でも、例えば、何か失敗したりする、失敗っていう事実は一個、そんな失敗という事実をどう受け止めるかで、その失敗の事実が変わるよね。その失敗を自分にダメ出しをする、自分が、できないものの材料にする。言い訳する失敗、この失敗は自分が成長するためのチャンスだ、そのきっかけなんだって、そこから先は、生き方、過ごし方が変わるよね。すでに事実は一つです。その事実を自分がどう受け止めるかで君たちの学校生活も人生も部活も全部変わる、起きてる事実は1個しかない。それをどう意味づけするか？どう考えて明日からの見方が変わってるかもしれない。せっかくだったらいい意味づけをした方がいい。思い込み決めつけどうせやばい。一人で考えすぎ、周りの人の力を借りる大人、かっこ悪くない。大人になる前に沢山の人の助けをもらってください。大人になるたくさんの人の力を借りてください。そんな経験をいっぱいしてください。人に助けをもらった経験を持っている人は、必ず大人になったら人を助けられる人になる。全部、自分で、一人で頑張らなくていい、助けをもらってください。そして、大人になったら君たちが、人を助けられる人になってほしい、そう思ってる。

実は、2012年の5月にはじめて高山西高校に来た時は奥さんと息子と三人で行きました。息子はそ

の時小学校2年生、8歳だった。今年の7月来月で息子、二十歳になります。その時、その時の校長先生、教頭先生の部屋に息子がサインを書いたんだけど、そのサインが今でも残ってた。ホワイトボードに書いてあった。

2019年5月、もう、その彼が二十歳になります、彼がいくつになっても何かあったら自分の命に代えてでも息子を守りたい、助けたい。読んでくれますか、せーの「みんな誰かの大切な命」ありがとう。みんな誰かの大切な命、生きてれば楽しいこともあるけど辛いことも苦しいこともある。でも辛いからって自分の命や心体を傷つけることをすることが、今日まで自分を支えて思ってくれた「ドリームメーカー」。みんな誰かの大切な命、俺はあいつ嫌いなんだよ、嫌いで結構、だからといって、嫌いだからといって、その人のこといじめていい、攻撃していいのか、ネットでラインで悪口書いていいのか？自分のことを認めてほしい、自分の夢を受け止めてほしいんだったら、違う意見の人も、認めてあげる、違う意見の人も、認めてあげる、自分がしてほしいことは人にもする。逆に自分がしてほしいことはない人にもしない。嫌いは嫌いでけっこう、だからといっていじめていい、悪口を言っていていい、そんな理論は成り立たない。その嫌いなやつのことを大事に思ってる「ドリームメーカー」だっているんだ。「みんな誰かの大切な命」君たちのことを大事に思っている「ドリームメーカー」は誰？君たちのことを大事に思っている「ドリームメーカー」を、君たちは悲しみさせていませんか？傷つけていませんか？そして、他にも「ドリームメーカー」がいてくれました。

リハビリを考えた理由、それが君たちの見てくれたアンビリバーボー。怪我をした36歳、2002年3月1日、中学校2年生の担任だった。怪我をしなければ、そのまま4月から3年生の担任になる予定でした。でも、奥さんと私だけじゃない、校長先生も教頭先生も学年主任もドクターに直接、腰塚はもう歩けません、体育の先生としては、もう無理ですって、校長先生、教頭先生、学年主任も、ドクターに直接言われたにもかかわらず、4月から3年生の担任になりました。あの3年1組のクラスの名簿を見てびっくりした。「えっ！」すぐに学年主任に言いました。先生、俺もう中学校に戻ることはできません、体育の教師できません。だから担任は無理です、できません。って言ったら学年主任は私にこう言った。「あんたさあ、あんた1年生2年生の子供たちに何て言った？」「どんなに苦しいことあってもあきらめるな、一人で頑張るな！仲間を信じろ、頼れる力をくれる、あんた子どもたちにずっとそうやって言ってきたよね、あきらめるな仲間を信じろ頼れ！あなた1年生2年生ずっと子供たちにそうやってきてさ？」「あんた先生たちを子供たちを信じてくれないんか、あんた子供たちにうそつきなのか？教師が子供たちに嘘言っていていいと思ってるの？いいわけないでしょ。」「車椅子でいいから戻ってきなさい。卒業式は、たった一日の担任の仕事なんだから担任やりなさい。あなたが戻ってくるまで先生としてみんなと子供たちで、あなたのクラスを守るから、担任やりなさい。待ってるからね。」そんなこと言ってくれました。校長先生や教頭先生に「お前は後輩だ、お前が守ってやれ！腰塚を守ってやれ！後輩の腰塚を守ってやれ！」私は36歳の大人だった。世の中にこんな大人たちがいるんだ。こんなにリスクテイカーになってる大人たちがいるんだ。今でも私のモデルです。信じるって言ってくれた人、私はそんなリスクテイカーでいたい。私はそんな「ドリームメーカー」でいたい、そう思った。とくに子供たちに対しては、ぜったい子供たちこんな見捨てられない、そんな大人でいたい。今も思ってる。夢を与えてくれる先生たちと子供たちだ。子供たちに会いたい、先生たちの仲間になりたい、学校にいてあげたい。

読んでくれますか？「夢は今を生きる力」「夢は今を生きる力」「夢あったら強くなれる」どうもありがとう。君たちの今の夢は何？君たちの今の夢は何？君たちと学校のスローガンは夢をかなえる。いいスローガンだね。夢って英語の単語で何ていいますか？「ドリーム」そう、ありがとう、ドリームって言うね。夢は一人で頑張らなくていい。夢は、みんなまで応援し合って協力し合って助けあったほうが、夢はかなう。君たちの夢を応援してくれる「ドリームメーカー」は誰？君たちは今誰の夢を応援する「ドリームメーカー」になれますか？君たちの目の前で夢にチャレンジしてる姿を見せてくれる、友達や先生や

大人はいますか？あんな大人になりたい、そんな大人が君たちの周りにいてくれますか？どうですか？

怪我をした時息子は泣いた。だんだん忘れないとね、今でも、そして、この九月で59歳なんだけど、これ富士山の頂上、どうしても50で登りたかった。夢を仲間で語った。仲間から言われた。「お前本気か？」「本当に登るつもりなのか？」「本気なのか？」何回も確認された。これからトレーニングして、筋力体力をつけるから、一緒に登ってほしい。本気でそれを伝えたら、仲間たちが、「お前が本気だったら、必ずお前を頂上に連れてく。それが俺たちの夢だ。」仲間がいてくれなかったら頂上まで登れなかった。仲間がいてくれるから登れた。私が住んでるのは神奈川県。一緒に登ってくれた仲間が、福岡県の博多の仲間でした。博多から静岡まで新幹線で私に夢をかなえにきてくれた。そんな夢を応援し合えるドリームメーカーがいて本当に幸せです。

私の大好きな言葉です。読んでくれますか？「夢あれば困難あり、夢あれば困難あり、困難あれば仲間あり、困難あれば仲間あり、仲間あれば感動あり、仲間あれば感動あり。」もう一回聞かよ。君たちの夢を応援し合う「ドリームメーカー」は誰？教師になる前に、本を書くなんて夢を持ったことがなかった。そんなの無理に決まってるじゃない、教師の仲間たちにも本を出したりする人なんていなかった。本を書くなんて夢がなかった。でも、教師をやめて講演家になったら、周りに本を書いている仲間たちがいっぱいいた。先輩たちも含めてね。その仲間たちはみんなこういった。「本を出すなんて簡単だよ、むずかしくないよ。」そんなの無理に決まってるじゃない、けど、付き合う相手が変わったら本を出すこと何か難しくない。大きな勘違いが始まった。俺でもかけるんじゃないか、本出せるんじゃないか？そして、この12年間で本を5冊出すことになりました。出会う人、一緒にいる人で夢って変わるんだな。何を君たちに伝えたいか？読んでくれますか？せーの「仲間たちで夢は変わる」そう、付き合う仲間が自分のレベルを上げてくれる。逆もある。付き合う仲間が自分のレベルを下げる。こんな言葉がある。「あなたのことを知りたいんだったら、その人のことを知りたいんだったら、その人の周りや友達を見なさい。よく見なさい。その周りにいる人とその人は同じだから。その人のことを知りたかったら、その人の周りの友達をよく見なさい。その友達とあなたの知りたいその人は、同じ人だから。」ようは類は友を呼ぶ、同じ言葉同じ考え方を同じ行動してる。君たちのまわりにはどんな友達がありますか？先生たちはどんな仲間と一緒にいますか？「類は友を呼ぶ」君たちの周りにはどんな友達がいる。友達とどんな会話をしてる。とっても大事。もう一回言うね。仲間が自分のレベルを上げてくれる、どんな仲間と付き合うかとっても大事よ。

実は先週、アメリカのアトランタ、アトランタのジョージアにある中学校で講演してきました。5月18日アトランタの日本語中学校で講演をして、19、20日がスケジュール空いてた、だから、アメリカの友達に19、20日の大谷選手のドジャースのゲームの予定、ちょっと調べてくれるって言った。19、20日はドジャーススタジアムでゲーム、だから仲間に頼んだ、友達に。ドジャースのゲーム、チケットとりたいな、そうしたら、アメリカの友達が、ドジャースのゲームのチケット取ってくれた。だから、先週5月19、20日は、ドジャーススタジアムで、大谷翔平と、一日目は大谷翔平が延長で、サヨナラヒット打って勝った。今年は、どうしてもドジャースの大谷と山本を見たい、そんな夢をかなえました。でも、その夢がかなったのは、アメリカの友達にチケット取れる？子供たちは動いてくれた。アメリカの友達はいった。自分で取ることはできなかった。学年主任に聞いた。先生首から下を折った私を担当にしてくれたのか。普通じゃありえないから。そしたら学年主任の先生が、あなたは気づいていないかもしれない。あなたが怪我をする前、あなたは子供たちをたくさん助けていた。応援してたよ。だから、あなたがピンチな時あなたを助けようとしたんだよ。もしあなたが怪我する前に生徒を傷つけていることばかり、がっかりすることばかりやっていたら、あなたがピンチな時動いてくれると思う？人はいくらだっても口は動かす。かわいそうだな。大変そうだから何とかしたいよね。人はいくらだっても自分の口を動かす。人の体はなかなか動かせない。多くの人は自分の大事だと思っている人の体しか動かせない

い。面倒くさいと思っている人は体を動かせない。みんながあなたの動けてない時助けてくれたのは、あなたが怪我をする前も周りの人のために動いていたんだよ。覚えてください。それを鏡の法則。良くも悪くも、自分が人に言った言葉が返ってくる。良くも悪くも自分が人にやったことが返ってくる。鏡の法則っていう。普段の生活から自分がどんな言葉をいっているのか。普段から周りにどんな協力をしているのか。ピンチな時ほど、周りの人がどう気付いてくれるか。普段の生活次第。

SNSの普及で、自分を傷つけようとする。理想を使って行動力の低い人が増える。「俺ここまで進めたよ。」1発目に言うんです。自分を良く見せるために。そんな人はキラキラしているから私はこんなにキラキラできない。俺はこんなにキラキラ生きれない。俺はだめなんだ。自分を大きく見せることはSNSでいっぱいできます。そしてまた行動力や決断力がない。気を付けて。可能性があるけど、私たちは凡人だから。夢は理想は、今日の前コツコツと、口を動かして、手足を動かそう。先生だって凡人。大谷翔平だって最初は凡人だよ。最初は、スーパースターでも何でもない。彼の何がすごい。毎日コツコツ練習してた。それしか近道がないんだ。ちょっと人よりバズりたいから。私は、俺は、ここで頑張っているよ。でもあんなバズってくるやつは何でずっと来るの。キラキラしているのと一緒に。大谷翔平はコツコツ努力していたから。その人によっぼど実力がある。そんなことで夢を諦めてほしくない。君たちの夢って何。君たちの幸せってなに。君たちのことを知ってる「ドリームメーカー」って誰。英語はできてるか。言葉できてる。みんないうんです。「夢があったらいいのにね。」「幸せになりたいよね。」「俺はその言葉を聞くと、いつも「じゃあ、あなたの夢は何ですか?」「あなたにとって幸せは何ですか?」そう質問すると、「困る。」え、幸せになりたいんですよ。夢を叶えたいんですよ。そう聞くと「んー?」それで毎日何で言ってるんですか。夢を叶えたり、幸せになりたいのにそれを変えようとしませんか。それを具体的に考えてないんですか。具体的に夢って何ですか。具体的に幸せって何かかわかっていないんですね。それで毎日何で生きるんですか。人によって幸せの意味は違っていい。違って当たり前。僕にとっての幸せはこれです。私にとっての幸せはこれです。それがちゃんと吐ければ大丈夫。目標を持つことは大事。目標を叶えたことない人もいる。いつかは来ない。いつかできたらいいな。いつか叶ったらいいな。いつはいつだよ。一生こない。努力しない限り。夏休みの宿題もそう。夏休みの宿題はやるでしょ。いつまでって期限が決まっているからでしょ。提出期限が決まっているから、頑張るんだよね。提出期限がないよって言われたら、やりますか。これからインターハイ予選や大会がはじまるよね。インターハイ予選の日付まだ決まってないよね。自分に厳しくしてすることができますか?できないよね。人は期限をつけるからそれに向かって頑張れる。大人になっても同じ。期限を持つことって大事。

命と向き合って、僕が怪我して向き合って。怪我してもう22年がたつけど、母親が変わってやれるなら変わってやりたいという言葉が今でも忘れられない。命があって生きていてよかった。それは命のつながりだって。どんなことがつながっているのか。毎日が自分とのつながり。自分の気持ちしか表せない。家族祖先とのつながり。「ドリームメーカー」とのつながり。自然とのつながり。世界中とのつながり。食べ物と命のつながり。持っているつながりとできている。生きてるだけじゃない。生かされている。支えられて、助けられて、応援されて、生かされている。仕事をしているだけじゃない。仕事をさしてもらっている。たくさんの人がいるから、子供たちがいるから先生という仕事ができる。仲間がいるから仕事ができる。生きることも仕事の1つ。生かされている仕事をさせてもらっている。そんな思いに、気付けた人の気持ちは「ありがとう」という感謝の気持ちが向けるようになる。ありがたいよな。感謝やありがとうの反対言葉を知っていますか。感謝やありがとうの反対言葉、は「当たり前」今君たちの周りにいてくれる当たり前の人って誰。今君たちの当たり前ってどう。今日朝起きて当たり前にいてくれる人に、感謝の気持ちを持ちましたか。その感謝の気持ちを言葉で表してきましたか。君たちの中で経験したことがある人はいませんか。その当たり前が失ってしまった経験。失ったことがある経験はありませんか。その当たり前が失った、失いかけた経験。その時何を感じましたか。どんなことを感じてもいい。

やばいと思いませんでしたか。当たり前だと思っていた人がいなくなってしまう。もっとこうしていればよかったって後悔しませんでしたか。当たり前が当たり前になると、その当たり前を誰かが見えないところで、気付いていないところで支えてくれている。それを続けてくれているから、当たり前が当たり前になる。お父さんやお母さん毎日、働いてくれるから。言うことを聞いてくれるから。当たり前が当たり前になる。君たちが健康でいてくれるから、おうちが平和になる。部活にしても学校にしても、病気になったら大変だよ。誰かなくなったら大変だよ。感謝とありがとうの反対言葉は、当たり前。君たちに聞くよ。当たりの環境ってどこ？

私は思っています。大人になることが、感謝と行動力が関わっている。小さいことにいろいろ感謝できる。感謝の気持ちを言葉と行動で表せること。それが大人は大切だと思います。そして大人は不機嫌をばらまく。大人の条件は笑顔をふるまうこと。不機嫌をばらまかない。俺は怒ってんだよ。周りにご機嫌を取らせるなんて、それは子供みたいだ。子供は不機嫌を我慢できない。だから平気で人を怒る。でも、大人でも不機嫌をばらまいているやつはいっぱいいる。大人は自分の感情は自分でコントロールする。私はそう思っています。不機嫌はばらまかない。今日君たちは今日起きて、何回ありがとうと言いましたか。何回ありがとうといわれましたか。ありがとうと言えることは立派なことです。君たちの学校は60周年。1期の人は61年もこの学校を続けてくれた。この学校がつぶれないように。この学校が発展するように。先生や先輩方が積み重ねてくれたから、今この学校が残っている。私立は大変だけど、先生がいてくれたから、この学校は生き残っている。そして君たちは伝統を作っている。ある意味君たちはこの学校の営業マンである。君たちはこの学校を卒業して、楽しかったね。いい学校だったね。君たちはこの学校を卒業したあと、この学校が1番だったって言うはずですよ。だからこの学校を80年、90年って続いていく。君たちの人生に1回の高校生活をどれだけ楽しむか。この学校を出た君たちがそう思えるか。そこがとっても大事だよ。でも、それよりも大事なのが、君たち生徒が主役であることが間違いない。先生が楽しいと思わせてくれるようなことをどれだけしてくれるか。それがとっても大事だ。私が教師になった理由は、小学校、中学校、高校、素敵な先生たちにたくさん出会ったからだ。学校って楽しいよ。部活楽しめよ。そんなことを教えてくれた先生達にいっぱい出会えた。出会ったから私も教師になりたい。そして子供達に学校で楽しいよ。クラスっていいよ。部活って楽しいところだよ。それを伝えたくて。そんな先生に出会えたことが、私はとっても嬉しい。最後、宿題はこの助けてもらった命をどう使うのか。動ける体をどう使うか。自分の体の使い方。自分の周りの「ドリームメーカー」になって命を喜ぶ行動と自分の命、自分で動かせる体で、自分と周りを喜ばせる、助けるために元気にするために、使おう。逆に、自分の命、動く体で自分や周りを傷つけない。そんな命、体を大切にしよう。命が喜ぶ行動をしよう。口は、人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう。目は、人の良いところを見るために使おう。耳は人の話を最後まで聞いてあげるために使おう。手足は人を助けるために使おう。心は人の痛みが分かるために使おう。本当に手足が動かなくて、絶望している時に私に安心、元気を与えてくれた「ドリームメーカー」が言ってくれた言葉。夢を与えてもらった。安心を与えてもらった。勇気を与えてもらった。その「ドリームメーカー」がしてくれた行動力です。だから私も助けてもらっているし、障害者になっても体は動く。この体は人を喜ばせたり、助けるために使う物。君たちは自分の命を変えた。今、友達や周りの人のために何ができますか。逆にこんな言動やめなきゃいけないぞ。そんな言動がありますか。私はいつも誓う時、なぜ耳でもなく手足でもなく口だけなのは理由があります。本当に苦しい時、「ドリームメーカー」に言葉をかけてもらったから。言葉ってすごい力をもっているなって思った。そして言葉は、命を変えたり、止めたりすることもできる。言葉の力ってすごい。言葉は選べる。言葉って漢字で言うっていう字に葉物の葉。言葉は葉物と一緒にです。ようは使い方次第。なにかで言葉を正しくすれば、人を喜ばせたり、笑顔にしたりできるが言葉を間違えたら人を傷つける。言葉で人を殺すこともできる。それくらい言葉の使い方って大事。去年行った札幌のポスターでこんなものを見つけた。

こんなポスター張るなよって思った。でも本当にあるあるだよって思った。私はこのポスターを見た時私はしないって思った。私はこんな命の使い方をしないと。だって、自分がされたら嫌だから。そして子供たちに言った「いじめは駄目だ。許せない。」そうやって言ってる大人が子供に偉そうに言っている。自分がやって人を傷つけている。そんな私はいたくない。まず子供に言うんだったら、大人がやらない。子供がやらない。そんな姿を見せない。私はしない。私はちゃんとしようと思う。私の体は心の道具。進路は進路。勉強の知識も大事。でも、もっと大事なこと。心がどう成長するか。自分の持っている知識を使うことも大切。どう使うかは自分の心。進路は進路。言葉で勝つより、行動で勝つ。口でなんていくらでもいえる。君たちは大人や先生を見てどの人を信じる。言ってることとやってることが違う大人を信じないよね。君たちや大人達も一緒。言葉なんていくらでもいえるから。作れる。行動は作れない。行動はうそをつけない。言ってること、やってることが違う大人、先生。子供たちに信用がない。直接本人に言わなければいけない。やっぱり先生はそこに意識している。自分たちや子供たちに信じてもらえているか。子供たちは言葉で言っている。そこが結局大事。自分ができていないことを指導しているのが教師かって。君たちがそこを一番わかっているから。あの先生はいい先生だよ。あいつはやばいよ。君たちが一番知ってる。

さっき流した音楽の人は、48歳の時亡くなりました。亡くなる3日前に、メールが来た。こう書いてあった。「死にたくない。もっと生きていたい。もっと歌を歌いたって。もっと人を笑顔にしたい、喜ばせたい。最後のもう一言書いてあった。死にたくないって。」その3日後亡くなった。48歳で。お葬式に行った。悔しそうな顔をしていた。そりゃそうだよな。もっと生きていたかったのに。もっと歌を歌いたかったのに。そりゃ悔しい。でもその時に思った。人はいつ死ぬか誰にもわからない。どんな死に方をするのか人にわからない。だからこそ今を一生懸命生きようって。後悔しない生き方をしようって。そして人を喜ばせる、人を傷つけることをしたくない。お父さんとお別れをした時そんな約束をしました。命は今私が使える時間。命は今しか使えない。人生は今日の積み重ね。今日結果がでない時もある。でも今日を一生懸命生きる。死に方は誰にも決められないけど、生き方は自分で決めていく。決めていける。結果がでない時もあるけど、今日を一生懸命生きた。そんな毎日を過ごしていく。君たちが人生の主人公だ。主人公には必ず脇役がいるんだ。主人公を支えてくれる脇役がいるんだ。脇を傾けてくれる人がいる。サポートしてくれる人はいくらでもいる。君たちの人生の主人公は君たちだ。君たちの周りにいてくれる人は一体誰だ。それを感謝しているか。

話を聞いてくれてありがとう。すべては知ることから始まる。真の知識は行動となる。もし感想文に最後のところがあつたら、自分を喜ばせることを一つ、そして友達や家族を喜ばせることを一つ。それを今日の感想文に書いてください。私は生徒に感想文は過去形では書かないでと未来形で書こうねと言ってきました。だから、「これこれはこうします！」過去形に落とし込むのではなく未来形に落とし込む。これが君たちへの宿題です。そして、できる限りそれを行動で実践してください。先生たちからその宿題の答えを示してください。本気で生徒に向き合う先生を見てきた。学校が楽しい場所であってほしい、そして子供たちの夢を応援したい。この子たちの「ドリームメーカー」になりたい。先生たちを信じてください。大人を信じてください。本気で君たちと向き合ってくれる。この先生だったら相談に乗ってくれる。君たちもそんな大人になってください。大人は楽しいぞ！生きてることがめっちゃ楽しい！失敗を乗り越えた自分の経験があった。その経験があつた頃の自分を支えてくれたのかもしれない。失敗はつらいもんじゃない、嘆くもんじゃない、それを乗り越えたら必ず君たちが生きるための力になる。必ずそれが人間力になる。自分と先生を信じて。みんなでENJOYしてください。

どうもありがとうございました。

(2) 進路指導部

総括

岩坂 晋

本校の進路状況は、大学・短大進学（約65%）、専門学校進学（約25%）、就職・その他（約10%）となっており、いわゆる「進路多様校」に分類される。本校のような進路多様校では、社会の動きが生徒に与える影響が大きく、教員が一丸となって進路指導に取り組む必要性が年々高まっている。

まず、全国の受験人口（18歳）の変化を見てみると、1992年をピークに減少が続き、2010年代には120万人前後で推移していた。しかし、その後は再び減少に転じ、2021年度から2024年度にかけて毎年2万～3万人のペースで減少している。2025年度には再び増加に転じる見込みだが、1992年の18歳人口と比べると、2025年度はほぼ半数にまで減少している。一方、2023年度の大学志願者数は約64万人で、ピークであった1992年と比べて約7割に留まっており、18歳人口の減少に比べ志願者数の減少幅は小さい。これは、高校卒業後に大学進学を志望する生徒の割合が増加しているためである。

入試の志願者動向は、社会環境や経済状況によって大きく変化する。2010年代半ばは景気的好転により、大学生の就職環境が好調であったことから、社会科学系を中心とした文系学部の人気が高まっていた。一方で、医療系など資格に関わる学部系統の人気は今ほどではなかった。当時、文系ではグローバル化やインバウンド拡大の期待から国際系、理系では情報化社会の進展に伴う情報系学部が人気だった。2020年代前半になると、新型コロナウイルス感染症の影響で「外国語」「国際」系学部は留学制限などの影響を受けて人気は低下する一方、「医」「薬」など医療系の人気が高まった。現在では「理」「農」といった理系学部や医療系の人気が引き続き好調であり、特に「医」は国公立・私立大学問わず志願者が多く、人気を集めている。一方で、「生活科学」「看護」といった系統の人気は低下しているが、これは女子のキャリア意識の多様化が進んだことが要

因であると考えられる。

近年、大学の「学部の新設・再編」が活発である。2023年度の大学の学部種類は、約600種類となっており、1990年度の約100種類と比べ30年間で6倍にまで増加している。新設された学部・学科には「コミュニケーション」「マネジメント」「グローバル」などカタカナが含まれるものが多く、名称だけでは具体的な学問内容が分かりにくいものが増えている。また、高齢社会の進展により「健康・福祉」「医療・看護」領域のニーズが高まっているほか、AIやビッグデータなど情報化社会の進展に伴い、医療・情報関連の学部新設が目立つ。特に「情報」系は国の支援もあり、各地で学部・学科の設置が進んでいる。このような変化により、志望学部・学科の研究を早期に行うことの重要性が増している。志望学系を固めておかないと志望校を絞り込むことが難しくなり、学部・学科によって異なる試験科目や出題範囲に対応できなくなる。また、目的意識が希薄になり、モチベーションの低下を招く恐れもある。3年生の夏休み明けから総合型選抜が本格化し、秋には学校推薦型選抜が控えている。そのため、遅くとも3年生になるまでには志望校を決めておくことが重要である。

さらに、センター試験から共通テストに移行したことで、知識・技能の習得だけでなく、習得した知識・技能を実社会で使いこなすための思考力・判断力・表現力といった応用力も問われるようになった。今年度からは『情報Ⅰ』が加わり、さらに『数学ⅡB』が『数学ⅡBC』に変更され試験時間が70分に延長された。また、国語では「近代以降の文章」の大問が追加され試験時間が90分となり、地歴公民では「歴史総合」が必須化され、6科目から最大2科目選択する形式となっている。こうした変化にも対応できる力が求められる。

また、就職については、急激な少子高齢化による「人材不足」が顕著となり、超売り手市場であった今年度の求人状況は例年以上に好調であった。しかし、物価高や世界情勢の影響もあり、今後の動向は不透明である。また、高卒就職者の3年以内の離職率が約40%と高い現状や、再雇用が

厳しいといわれる日本の現状を踏まえ、指導する教員には慎重な職業選択の指導だけでなく、離職を防ぎ、社会に貢献できる人材を育成する責任が求められている。

そこで本校の進路指導部では、方針・重点目標・具体的活動を以下のように定め、今年度をスタートさせた。

<方針>

1. 高校生活は将来の目標を達成するための重要な一過程であることを生徒一人ひとりに認識させるとともに、多様な価値観をもつ仲間と切磋琢磨する機会を設け、学力を伸ばし人格を陶冶することができる環境を整える。また、学校生活全般を通して自身の能力や適性に対する理解を深めさせ、自己実現と社会貢献の双方を目指す生き方を模索する態度を養い、将来的に地域社会を支える人材を育成する。

<重点目標>

1. 個々の能力や適性に応じた進路目標の確立に努める。
2. 望ましい勤労観および職業観の育成を図り、毎日の学校生活に意味を持たせる。
3. 教科指導やLHRにおける生徒との対話を通して、自分自身の生き方を模索する生徒を支援する。また、将来の目標を達成するために必要となる能力を計画的に身につけさせる。

<具体的活動>

1. 情報収集・提供（ベネッセ、河合塾等の説明会には、該当学年の担任が基本的に参加する）
 - ・生徒の自覚を高める進路ガイダンス、進路の日の企画および運営
 - ・補習授業、推薦入試小論文、各種進路関連資料、タブレットなどの効果的活用
 - ・新入試等に関する受験情報の収集
2. 模擬試験の効果的活用
 - ・進学模試（ベネッセ・河合塾・駿台）、公務員模試、基礎学力診断テスト
 - ・事前指導、結果の分析および事後指導

3. 進路指導にかかる体験学習

- ・医療系出前授業（全校希望者）夏期登校日に実施
- ・ふれあい看護体験（全校希望者）実施
- ・企業出前授業（2年H I クラス・3年H I クラス）実施
- ・企業見学（1年H I クラス）実施
- ・企業実習（2年H I クラス）実施
- ・企業説明会（全学年H I I クラス）実施
- ・ミニ教育実習実施
- ・公務員試験対策講座実施
- ・事前指導や事後のふり返し指導

4. 作文・小論文・面接・履歴書等の早期からの指導、キャリアパスポートの利用

- ・自身の考えを表現する力の醸成

5. 進路決定後の指導

- ・生徒に自己理解を深めさせる指導
- ・卒業後の自身の生き方を考えさせる指導
- ・生徒が抱える課題を解決する手段や方法に関する指導

1. 本校における就職の動向と取り組み

今年度の就職については、例年以上に求人数が多く、「人材不足」の深刻さが顕著に表れている。本校では、就職活動の支援に Google Classroom を活用しており、就職希望者専用のクラスルームを作成している。これにより、就職に関する連絡や求人票の閲覧が可能となり、利便性を高めている。

しかしながら、本校の就職者数は年々減少しており、今年度の就職希望者は13名（うち公務員希望者4名）と特に少ない状況であった。地元企業から多くの求人をいただいているものの、その期待に応えられない現状がある。また、高卒就職者の離職率が高い中で、生徒たちに職業や勤労に関する意識や知識を深めさせ、それらが人生において果たす意義や役割を理解させることが重要となっている。

そのため本校では、次のような取り組みを行っている。まず、2年生特進IIクラスを対象に、6月下旬に4日間の日程で地元企業における「企業実習（インターンシップ）」を実施した。また、

全校生徒を対象に、7月と10月には地元企業体験型ガイダンス、8月には高山赤十字病院の協力による出前授業を実施した。さらに、社会人マナー講座や租税教室も行い、生徒たちが将来を考えるきっかけを提供している。

公務員希望者に対しては、公務員試験補習や面接練習を通じた対策を行っているが、今後さらに実績を伸ばすため、情報収集や対策の強化を図る必要がある。今年度からは公務員試験対策にも Google Classroom を導入し、公務員希望者専用の Classroom を作成して、試験に関する連絡や情報提供を行っている。

2. 本校における進学の動向と取り組み

全国的な傾向として、四年制大学・短期大学ともに二極化の傾向が一層顕著になっている。従来からの難関校は依然としてその地位を保っている一方、難易度や倍率が低下している学校が増加し、中間層に位置する大学・短大の減少が著しい状況である。また、私立大学の入試定員の厳格化により、一般入試での合格が厳しくなっている現状の中、総合型選抜（旧A0入試）や学校推薦型選抜（旧推薦入試）を利用して受験する生徒が非常に増えており、年内入試で合格を目指す傾向が強まっている。

近年、本校においても「早く合格を得たい」という傾向が一段と強まり、小論文や面接の対策に早い段階から取り組む生徒が多く見受けられる。これらの意欲的な姿勢を評価する一方で、進路選択で苦しい思いをしたくない、または、最後まで粘りきれないといった生徒が増加傾向にあると感じられる。そのため、早期からの進路意識の醸成や進路目標の明確化、3年間を見据えた進路ガイダンスの再設定など、従来の進路指導を見直し、生徒にとって有益な情報をいかに提供できるかが重要であると考えている。

2月2日現在、総合型選抜（旧A0入試）や学校推薦型選抜（旧推薦入試）での合格者数は以下のとおりである。四年生大学89名（国公立15名）、短期大学7名、専門学校18名である。今後も努力を重ねる生徒たちと指導する教員とが一致団結し、進路目標の実現を目指していきたい。

令和5年度卒業生進路状況

四年制大学

	大 学	学部・学科
1	〔国〕 東北大学	工・機械知能・航空工
2	〔国〕 新潟大学	人文・人文
3	〔国〕 富山大学	経済・経済経営
4	〔国〕 富山大学	人文・人文
5	〔国〕 富山大学	理・理
6	〔国〕 金沢大学	医薬保健・保健
7	〔国〕 金沢大学	理工・理工3
8	〔国〕 福井大学	工・機械システム
9	〔国〕 福井大学	工・電気電子情報工
10	〔国〕 福井大学	工・電気電子情報工
11	〔国〕 岐阜大学	医・医
12	〔国〕 岐阜大学	医・医
13	〔国〕 名古屋大学	医・保健・看護
14	〔国〕 名古屋大学	経済
15	〔国〕 名古屋大学	情報・コンピュータ科
16	〔国〕 三重大学	医・看護
17	〔国〕 広島大学	文・人文
18	〔国〕 広島大学	法・法
19	〔国〕 九州工業大学	工・工学2類
20	〔国〕 長崎大学	歯・歯
21	〔公〕 釧路公立大学	経済
22	〔公〕 旭川市立大学	経済・経営経済
23	〔公〕 高崎経済大学	経済・経済
24	〔公〕 横浜市立大学	国際教養・国際教養
25	〔公〕 富山県立大学	看護・看護
26	〔公〕 石川県立看護大学	看護・看護
27	〔公〕 公立小松大学	生産システム科・生産システム科
28	〔公〕 岐阜県立看護大学	看護・看護
29	〔公〕 岐阜県立看護大学	看護・看護
30	〔公〕 岐阜県立看護大学	看護・看護
31	〔公〕 名古屋市立大学	芸術工・建築都市デザイン
32	〔公〕 滋賀県立大学	環境科・環境政策計画
33	〔公〕 福知山公立大学	情報・情報
34	〔公〕 大阪公立大学	工・機械工
35	〔公〕 山口県立大学	社会福祉・社会福祉
36	北海道医療大学	歯・歯
37	上武大学	ビジネス情報・スポーツ健康マネジメント
38	城西国際大学	観光・観光
39	桜美林大学	グローバルコミュニケーション
40	桜美林大学	リベラルアーツ・人文
41	学習院大学	国際社会科・国際社会科
42	慶應義塾大学	理工・学門D
43	國學院大学	人間開発・初等教育
44	国土館大学	政経・経済
45	国土館大学	文・文・日本文学文化
46	駒澤大学	文・国文
47	芝浦工業大学	工・電気電子工学・先端電子工学
48	芝浦工業大学	工・電気電子工学・電気ロボット工学
49	順天堂大学	保健看護・看護
50	昭和女子大学	環境デザイン・環境デザイン
51	大東文化大学	外国語・英語
52	拓殖大学	外国語・英米語
53	拓殖大学	政経・経済
54	拓殖大学	政経・経済
55	拓殖大学	政経・経済
56	帝京大学	経済・経済
57	帝京大学	経済・経済
58	東海大学	情報理工・情報科学
59	東海大学	理・数
60	東京女子大学	現代教養・国際英語・国際英語
61	東京女子大学	現代教養・国際社会・国際関係
62	東京電機大学	理工・理
63	東京電機大学	理工・理
64	東京理科大学	工・情報工

	大 学	学部・学科
65	日本大学	文理・国文
66	日本大学	文理・社会
67	日本大学	文理・数
68	日本大学	文理・数
69	日本大学	法・経営法
70	日本大学	理工・交通システム工
71	日本女子体育大学	体育・子ども運動
72	日本体育大学	体育・体育
73	法政大学	法・国際政治
74	法政大学	法・法律
75	武蔵野音楽大学	音楽・演奏
76	立教大学	経済・経済政策
77	立教大学	経済・経済政策
78	立教大学	法・法
79	早稲田大学	基幹理工
80	ヤマザキ動物看護大学	動物看護・動物看護
81	麻布大学	獣医・獣医
82	神奈川大学	人間科・人間科
83	桐蔭横浜大学	現代教養
84	新潟工科大学	工・工
85	新潟工科大学	工・工
86	金沢医科大学	看護
87	金沢星稜大学	経済・経済
88	金沢工業大学	建築・建築
89	金沢工業大学	建築・建築
90	金沢工業大学	工・環境土木工
91	金沢学院大学	スポーツ科学・スポーツ科学
92	北陸大学	医療保健・医療技術
93	北陸大学	薬・薬
94	福井医療大学	保健医療・看護
95	朝日大学	歯・歯
96	朝日大学	保健医療・看護
97	岐阜協立大学	経営・スポーツ経営
98	岐阜協立大学	経営・スポーツ経営
99	岐阜協立大学	経営・スポーツ経営
100	岐阜協立大学	経営・スポーツ経営
101	岐阜女子大学	文化創造・文化創造・初等教育
102	岐阜聖徳学園大学	外国語・外国語
103	岐阜聖徳学園大学	看護・看護
104	岐阜聖徳学園大学	看護・看護
105	岐阜聖徳学園大学	教育・学校教育・英語
106	岐阜聖徳学園大学	教育・学校教育・国語
107	岐阜聖徳学園大学	経済情報・経済情報
108	岐阜聖徳学園大学	経済情報・経済情報
109	中京学院大学	経営・経営
110	東海学院大学	人間関係・心理
111	中部学院大学	スポーツ健康科・スポーツ健康科
112	中部学院大学	看護リハビリテーション・看護
113	中部学院大学	看護リハビリテーション・看護
114	中部学院大学	看護リハビリテーション・看護
115	中部学院大学	看護リハビリテーション・理学療法
116	中部学院大学	人間福祉・人間福祉
117	中部学院大学	人間福祉・人間福祉
118	中部学院大学	人間福祉・人間福祉
119	岐阜医療科学大学	看護・看護
120	岐阜医療科学大学	看護・看護
121	岐阜医療科学大学	看護・看護
122	岐阜医療科学大学	保健科・放射線技術
123	静岡理科大学	情報
124	静岡理科大学	情報・コンピュータシステム・データサイエンス
125	愛知大学	経済・経済
126	愛知医科大学	看護・看護
127	愛知学院大学	経済・経済
128	愛知学院大学	経済・経済

	大 学	学部・学科
129	愛知学院大学	健康科・健康科
130	愛知学院大学	商・商
131	愛知学院大学	文・グローバル英語
132	愛知学院大学	文・歴史
133	愛知学院大学	法・法律
134	愛知学院大学	法・法律
135	愛知学院大学	薬・医療薬
136	愛知淑徳大学	食健康科・健康栄養
137	愛知淑徳大学	食健康科・健康栄養
138	愛知淑徳大学	福祉貢献・福祉貢献・社会福祉
139	愛知淑徳大学	福祉貢献・福祉貢献・社会福祉
140	愛知淑徳大学	文・国文
141	愛知淑徳大学	文・国文
142	愛知淑徳大学	文・総合英語
143	愛知淑徳大学	文・総合英語
144	椋山女学園大学	教育・子ども発達・初等中等教育
145	椋山女学園大学	人間関係・人間共生
146	中京大学	法・法律
147	中部大学	理工・宇宙航空
148	同朋大学	社会福祉・子ども学
149	名古屋外国語大学	外国語・英米語
150	名古屋外国語大学	外国語・英米語
151	名古屋外国語大学	外国語・英米語・英語コミュニケーション
152	名古屋外国語大学	外国語・中国語
153	名古屋外国語大学	現代国際・グローバルビジネス
154	名古屋外国語大学	現代国際・現代英語
155	名古屋学院大学	リハビリテーション・理学療法
156	名古屋学院大学	外国語・英米語
157	名古屋学院大学	外国語・英米語
158	名古屋学院大学	経済・経済
159	名古屋芸術大学	芸術・芸術
160	名古屋商科大学	商・マーケティング
161	南山大学	経営・経営
162	南山大学	人文・日本文化
163	南山大学	人文・日本文化
164	日本福祉大学	社会福祉・社会福祉
165	藤田医科大学	保健衛生・リハビリテーション
166	名城大学	経営・経営
167	名城大学	経済・経済
168	名城大学	経済・産業社会
169	名城大学	情報工・情報工
170	名城大学	情報工・情報工
171	名城大学	情報工・情報工
172	名城大学	都市情報・都市情報
173	名城大学	都市情報・都市情報
174	名城大学	薬・薬
175	名城大学	薬・薬
176	名城大学	薬・薬
177	名城大学	理工・環境創造工
178	名城大学	理工・環境創造工
179	名城大学	理工・機械工
180	名城大学	理工・社会基盤デザイン工
181	名城大学	理工・数
182	名城大学	理工・数
183	名城大学	理工・数
184	名城大学	理工・数
185	名古屋産業大学	現代ビジネス・ビジネス心理
186	人間環境大学	環境科・フィールド生態
187	人間環境大学	心理・心理
188	名古屋学芸大学	管理栄養・管理栄養
189	名古屋学芸大学	管理栄養・管理栄養
190	一宮研伸大学	看護・看護
191	皇學館大学	教育・教育
192	皇學館大学	教育・教育
193	長浜バイオ大学	バイオサイエンス・フロンティアバイオサイエンス
194	長浜バイオ大学	バイオサイエンス・フロンティアバイオサイエンス
195	大谷大学	教育・幼児教育
196	大谷大学	文・真宗

	大 学	学部・学科
197	大谷大学	文・哲
198	京都産業大学	経済・経済
199	京都産業大学	生命科・先端生命科
200	京都女子大学	心理共生・心理共生
201	京都女子大学	発達教育・教育・教育学
202	京都女子大学	文・史
203	京都女子大学	文・史
204	京都女子大学	文・史
205	京都橘大学	看護・看護
206	京都橘大学	経営・経営
207	京都橘大学	経済・経済
208	京都橘大学	経済・経済
209	京都橘大学	総合心理・総合心理
210	京都橘大学	発達教育・児童教育
211	京都橘大学	文・日本語日本文・日本語日本文学
212	京都橘大学	文・歴史
213	京都橘大学	文・歴史
214	京都橘大学	文・歴史遺産
215	立命館大学	経済・経済
216	立命館大学	国際関係・国際関係・国際関係
217	立命館大学	生命科・生物工
218	立命館大学	文・人文・地域研究
219	立命館大学	文・日本史研究
220	立命館大学	薬・薬
221	立命館大学	薬・薬
222	立命館大学	薬・薬
223	龍谷大学	国際・国際文化
224	龍谷大学	国際・国際文化
225	龍谷大学	農・食品栄養
226	龍谷大学	農・農
227	大阪経済法科大学	経営・経営
228	大阪工業大学	工・応用化
229	大阪工業大学	工・応用化
230	大阪商業大学	経済・経済
231	大阪体育大学	スポーツ科・スポーツ科
232	関西大学	総合情報・総合情報
233	近畿大学	農・応用生命化
234	近畿大学	理工・機械工
235	大阪成蹊大学	経営・スポーツマネジメント
236	大和大学	保健医療・看護
237	大和大学	保健医療・看護
238	関西学院大学	社会・社会
239	甲南大学	文・社会
240	甲南大学	文・社会
241	甲南大学	理工・機能分子化
242	甲南大学	理工・機能分子化
243	神戸学院大学	人文・人文
244	奈良大学	文・国文
245	奈良大学	文・史
246	【国】 防衛医科大学校	看護
247	【国】 防衛大学校	人文・社会科学
248	【国】 防衛大学校	人文・社会科学
249	【国】 防衛大学校	人文・社会科学
250	【国】 防衛大学校	理工学
251	【国】 防衛大学校	理工学
252	【国】 防衛大学校	理工学
253	【国】 防衛大学校	理工学
254	【国】 防衛大学校	理工学
255	【国】 防衛大学校	理工学
256	【国】 防衛大学校	理工学
257	【国】 防衛大学校	理工学
258	【国】 防衛大学校	理工学
259	【国】 防衛大学校	理工学
260	【国】 防衛大学校	理工学
261	【国】 防衛大学校	理工学

(3) 生徒指導部

に「安心して学べる環境」を今後も提供し続けていきたい。

総括

堀尾 譲

生徒指導主事としての毎日のルーティーンでもある「朝の登校指導」の中で小さな変化に気づかされることが良くある。夏の照り付けるような太陽の光は朝の時間帯であっても私たちの体力を奪い、木陰に避難しつつ生徒たちを迎えていたが、11月の後半から急激に寒さが増してきた。アプロチのイチョウの木は紅葉するタイミングを逸してしまったため、急いで黄色に衣替えし、瞬く間に黄色の葉を落として冬に備えようとしている。またあれほどジリジリと照り付けてきた太陽の光も、今では貴重な温もりとなっている。朝日が差さない時などは、それこそ体の芯まで冷え切ってしまう、感覚が麻痺してしまうほどである。太陽が生命にとってどれほど大きな恵であるかを、改めて再認識する今日この頃である。また登校してくる生徒の顔ぶれは変わらないが、彼ら（彼女ら）が徐々に厚手のコートを着込み、マフラーにくるまれたようにして登校する姿を見るにつけ、冬の本格的な到来が間近なことを気づかされるのである。

この時期は、年内の総括をしなければならない時期でもある。ここで改めて今年度の生徒指導部としての活動を振り返ってみたい。近年の高等学校における生徒指導の様態は大きく変化している。これまでのような刑法犯行為や不良行為・違反行為が減少する一方で、いじめ事案や不登校事案そして情報モラルに関する問題が増加している。本校でも同様の問題を抱えており、不登校事案に関しては、今後も増加する可能性が否定できない。そのためこれまで以上に各職員が生徒一人ひとりの関わりを大切に、担任だけでなくチームとしてこの事案に対応していくことが重要になってくる。我々職員も教育環境や生徒の変化に合わせて「生徒指導」を考えていくことが求められているように感じる。そして前述のようにルーティーンを大切にすることで、生徒の微妙な変化を感じ、それを職員間で共有することを通じて、生徒たち

2024年度 高山西高等学校 生徒指導部 方針・目標

○生活指導課

【指導方針】

他者を認め、他者と調和、協調できる生徒の育成を指導の基盤とする。そして、その上で自ら進むべき道を探し出し、自力でその道を達成していくような気力溢れた自立心のある生徒の育成に努める。

*自ら決めた道を他者に妨げられることなく進むためには、人に迷惑をかけたり、人の進む道を妨げたり、独りよがりになったりしてはいけない。

*自らが自分を大切に思い、自立していくためには、その前に自分とは考え方や価値観も違う他者も受け入れ、認めることが不可欠。それが人への思いやりでもある。

【重点目標】

1. 教員が一丸となり、生徒への模範を示す。
2. 生徒理解に徹し、生徒との好ましい人間関係を築き、個々の生徒に適した指導の充実をはかる。
3. 生徒が自主的に判断し、行動に移せるように主体的な自己実現へのサポートをする。
4. 高校生らしい生活態度、道徳性、規範意識の育成に努める。
5. 情報モラルの徹底（スマートフォン・タブレット・SNS等の適切な利用）
6. 様々な理由から学校に溶け込めない生徒（不登校生徒）を多面的にサポートする。

【具体的活動】

1. 西高生としての自覚を持ち、責任ある行動と社会ルールを遵守するために。
 - (1) 遅刻ゼロやベル席指導の徹底を目指す。
 - (2) 西高生としての正しい服装及び生活指導の徹底をはかる。
 - (3) あいさつ・返事など、基本的な生活姿勢の徹底をはかる。
 - (4) 清掃指導の徹底をはかる。
 - (5) 8時完全下校を徹底する。
2. 問題行動ゼロを目指すために。
 - (1) 生徒との交流に努め、生徒との信頼感を深める。
 - (2) 教育相談の充実をはかり、一人ひとりの生徒理解に努める。（各学年との情報共有）
 - (3) いじめの積極的認知を確実にいき、重大事態に陥らないように「いじめ対策組織」を中心に組織的に対応する。また、いじめの未然防止に積極的に努める。
3. 「自分を大切にする心、他人を大切に思う心」を育てるために。
 - (1) 朝掃除・部活動・学校行事などを通し、互いを尊重し合うように働きかける。
 - (2) ホームルーム活動を通して、仲間を思いやる心の教育を充実させる。
4. 社会の一員であることを自覚させ、生命の安全と事故防止の心を育てるために。
 - (1) 交通ルールの厳守とマナー指導の徹底をはかる。
 - (2) 交通講話の実施やホームルームでの安全指導の徹底をはかる。
 - (3) 当番制登校指導及び一斉指導を実施する。
 - (4) 自転車通学生徒による「ながら運転」防止を徹底する。

5. その他

- (1) 不必要なお金・嗜好品など、学校生活に関係ないものを持ち込ませない指導を徹底する。
- (2) 校門指導や校内外の巡回指導を充実し、生活指導の徹底をはかる。
- (3) 生徒の SNS 利用に関する実態を把握し、適正な態度の育成に努める。

○教育相談課

指導方針

日常の教育活動の中で、生徒理解に努めるとともに、どのように関わることが生徒を育てることになるかを的確に把握し、生徒一人一人が心身ともに成長できるような援助をする。

目標

教育相談で自立の心を育てる ～生徒理解と支援の充実～

1. 集団の中での心身の発達を支援して育てる。
2. 学習支援・進路支援を通して育てる。
3. HR活動・特別活動を通して育てる。
4. 心理検査等の活用を通して育てる。

具体的活動

1. 各学年と連携して不登校傾向の生徒や支援の必要な生徒の把握と対応を確実に行う。
2. 心理検査等を実施し、生徒個人の特性を知ることによって、個への指導に役立てる。
1年生・・・SKK式適性検査
2年生・・・セラプラス（よりよい学校生活と友達づくりの為のアンケート）
3. スクールカウンセラーの導入（月1回）
4. 生徒の月別欠席状況調査（各学年との情報の共有・連携）

2024 生徒指導部 役割分担

生活指導課 課長 【前川】

運営項目【責任者】	運営内容	運営担当
問題行動 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動が発生した場合、事案の調書を正確に作成する。また、対象生徒の事実確認を適切に行い、責任を持って保護者に直接受け渡す。 ・問題行動が起こらないように、積極的な指導を行う。 ・生徒への聞き取りは、2名以上で行う。また待機させる場合には、教員の監視ができる状況をつくること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新海(3年) ○前川(2年) ○三川(1年) ◎池上(教相)
下宿生の指導 【前川・新海】	<ul style="list-style-type: none"> ・予測できる問題の対処案を考え(下宿生ミーティングなども開く)、問題が発生した場合は適切に対処する。 ・下宿生の情報(下宿生一覧票の作成)を取りまとめる。 	(前川・新海)
JR・濃飛バス 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・JR・濃飛バスの担当者と連携し、利用生徒への各種連絡を行う。 ・利用生徒の情報を取りまとめ、データを管理する(警報への備え)。 ・警報発生時における生徒の帰宅管理を行う(JRから最終便の連絡が入るため、それに間に合うように駅へ送迎する)。 	生徒指導部職員
自転車通学者の登録・管理 【前川・堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学許可願・自転車保険加入の確認・雨カッパの確認に関する職員・生徒への指示。ステッカー番号のデータを管理し(掲示表の作成)、自転車盗難や家出などの対処に役立てる。 ・自転車ステッカーの発注と自転車への貼り付けを指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新海 ○前川 ○三川
交通安全指導 (自転車通学者をメイン) 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会などを利用して全学年または各学年に注意・喚起を行う。 ・交通講話(防犯講話)の企画と運営を行う。 	生徒指導部職員
携帯・スマホ管理 【池上】	<ul style="list-style-type: none"> ・第2職員室での保管庫の管理(職員室で管理する場合は該当クラスを把握) ・担任に対して、必要に応じて管理体制の指導を行う。 	生徒指導部職員 各担任
登下校指導 【三川】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の登校指導の職員割り当て表を作成し、全職員への指示と運営を行う。 	生徒指導部職員 全職員
郊外巡視 【三川】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査中の巡回指導の職員割り当て表(駅周辺、図書館、ショッピングセンターなどを含む)を作成し、全職員への指示と運営を行う。 	生徒指導部職員 全職員
避難訓練 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の計画と実施(必要であれば消防署等への協力を要請)を行う。 	生徒指導部職員
ネクタイ・リボン貸出 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・ネクタイ・リボンを忘れた生徒への貸し出しを行う。 	生徒指導部職員
いじめ防止対策 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策委員会(年2回 4月と3月)、迷惑調査(年2回、7月と12月)、校内いじめ防止研修(年3回 4月と7月と11月)の運営実施を行う。 ・いじめ事案が発覚した場合、速やかに「いじめ対策組織」を招集し、組織で問題に対応する。(会議記録・指導記録の保管) 	いじめ対策組織・全職員
欠席者調査 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の欠席調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新海 (3年) ・前川 (2年) ・三川 (1年)
データ管理 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・迷惑調査やその他の資料の管理・保存(5年間)を行う。 ・迷惑調査は電子データの形式で保存する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堀尾(データ) ・各担任→保管庫

制服関連 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・フジヤ洋服、岐阜管公学生服株式会社との連絡などを行う。 ・新入生入学時の制服の販売に関する計画を行う。 ・譲り受け制服などの書類準備、受付、受諾などを行う。 ・クールビズや防寒着に備えた準備(ハンガー掛けの出し入れ)などを行う。 	生徒指導部職員
誓約書・学級日誌・ 生徒手帳・会計 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・誓約書の管理(3年間保存)、学級日誌の注文準備、生徒手帳の注文を行う。 ・生徒指導部の会計(育友会予算の執行)を行う。 	生徒指導部職員
顔写真 【新海】	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真の撮影の計画(挟場さんとの打ち合わせ)を行う。 ・撮影時の頭髮指導を行う。 	生徒指導部職員 (新海・前川・三川)
環境美化指導 【面手】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃分担表(修学旅行や3年生自由登校などの時には臨時的割り当て表を作成する)と作業体験学習の分担表の作成を行う。 ・掃除用具の整理・管理などに関する指示を出す。 	元田
自動車学校指導 【新海】	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車学校と打ち合わせをし、生徒への案内や指示を行う。 ・自動車学校への入校手順や手続きなどの文書を作成する。 ・自動車学校へ入校する生徒名簿の作成。 	3学年生徒指導職員
遺失物と傘の管理 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・遺失物ロッカーの整理、所有者への受け渡しを行う。 ・放置傘の再利用(貸出用傘として)に関して検討を行う。 	元田
MSリーダーズ 【新海】	<ul style="list-style-type: none"> ・MSリーダーズの活動運営を行う。 ・「あったかい言葉掛け運動」の運営を行う。 	堀尾・三川・前川
高山市補導員 【三川・堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・年間に数回実施される市内巡回指導(地区担当より指示される)に参加する。 	三川(堀尾)
SNS対応 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯・スマホに関する注意喚起、SNSに関する情報の提供など、未然に問題行動を防ぐ取り組みをする。(情報モラル講演会の企画→実施) 	生徒指導部職員
8時完全下校 【堀尾】	<ul style="list-style-type: none"> ・20時全下校が徹底されるように指導する。 	生徒指導部職員
給食弁当 【宇都宮】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のSHR後、担任から連絡をもらい、キャンセルによる個数の確認を業者に連絡する。 	元田
女子指導 【元田】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査期間や年度初めの学年集会等の時間を活用して女子生徒に対して必要な指導や呼びかけ・問題提起をする 	宇都宮

教育相談課主任 【池上】

教育相談全般 【池上】	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への教育相談的な援助を中心となって行う。 ・不登校生徒の状況が分かるようにデータを管理し、状況に応じて発信する。 ・学年会等に積極的に参加し、担任や学年からの情報を得ると共に、改善に向けて対策案や指示を発信する。 	☆各学年主任 保健室(井川) 生徒指導部職員
人権教育 【池上】	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の会議に参加し、人権に関する情報を得る。また、必要と思われる情報を職員に発信する。 	県から指示された指定教科の職員を指名し、県へ報告

高山西高等学校いじめ防止基本方針

令和6年4月5日

ここに定めるいじめ防止基本方針は、平成25年6月28日公布、平成25年9月28日施行された「いじめ防止対策推進法」（以下法という）第13条を受け、本校におけるいじめ問題等に対する具体的な方針及び対策等を示すものである。

1 いじめの問題に対する基本的な考え方

(1) 「いじめ」の定義

法：第2条（抜粋）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

※「いじめは、どの生徒にも、どの学校でも、起こりうるもの」という認識の下、危機感をもって未然防止に努め、早期発見・早期対応並びに重大事態の対処を行う。

(2) 具体的ないじめの態様

- ・冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ・仲間はずれ、集団により無視をされる。
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ・ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ・金品をたかられる。
- ・現金および個人の所有物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ・パソコンや携帯電話（スマートフォン）等で、誹謗中傷や嫌なことをされる
- ・スマートフォンで恥ずかしい画像（動画）を撮影され、SNS上で広められる等。

(3) 学校姿勢

- ・学校教育全体を通じて、いじめを人権問題としてとらえ、「いじめは人間として絶対に許されない行為」であるという意識を生徒一人一人に徹底する。
- ・いじめを許さない学校づくり、学級づくりを進め、生徒一人一人を大切にす教職員の意識や日常的な態度を高める。
- ・いじめ問題には、学校が一丸となって組織的に対応し、未然防止はもとより早期発見・早期対応に努める。
- ・解決したと即断することなく、継続して十分な注意を払い、折に触れて必要な指導を行う。
- ・生徒の主體的、積極的ないじめ未然防止活動を推進する。
- ・部活動内における良好な人間関係を築かせ、お互いが高めあえる組織を目指す。
- ・学校は、学校いじめ防止基本方針を年度の開始時に児童生徒、保護者、関係機関等に説明する。
- ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況は学校評価の評価項目に位置づける。

2 いじめの未然防止のための取り組み（予防に向けて）

法：第22条（抜粋）

学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめ防止等の対策のための組織を置くものとする。

(1) いじめ防止等の対策のための組織

〔組織の名称〕

『高山西いじめ防止対策委員会（常設）』→『高山西 学校いじめ対策組織（発生時）』

〔組織の構成員〕

- ・学校関係者：校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、各学年主任
- ・第三者：弁護士、臨床心理士、スクールカウンセラー、保護者代表などの参画を必要に応じて導入。

〔組織の目的と運営に関して〕

- ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応等を実効的かつ組織的に行う。
- ・年2回（4月と3月）「高山西いじめ防止対策委員会」を開催し、学校のいじめ防止に対する取組について見直しを図り、必要に応じて第三者からの意見を取り入れる。
- ・重大事態が発生した時は、「特別調査組織」を立ち上げ、対応に当たる。

(2) 学校及び各分掌での「いじめ防止」に向けた取組

【学校全体・・・担任・副担任・学年主任・部顧問等】

- ・教育活動全体を通じて、全ての生徒に正しい人権意識を醸成する。
- ・生徒の豊かな情操や道徳心を育てる活動を推進する（地域貢献やボランティア等）。
- ・お互いの人格を尊重し合える態度を育成する。
- ・必要に応じてクラス担任や部活動顧問は担当する生徒との日誌（本校では自主記録という）の交換を行い生徒理解の充実と「いじめの早期発見」に役立たせる。また、日誌に心配される内容があった場合は、基本的には週1回開催される学年会でその対策案を協議し、管理職に相談した上で対応に移す。その為にも、情報の「報告・連絡・相談」体制を整え、管理職を中心としたシステムを構築する。
- ・いじめ対応に関わる教職員の資質能力の向上を図る職員研修等を4月、9月、1月に開催する。
- ・不登校の生徒などが出てきた場合、欠席日数が20日と30日に達した段階で、その原因と改善に向けての対策会議（ケース会議）を随時開催する。
- ・1年生については、学校生活に慣れはじめる5月頃に二者面談を行い、生徒の現状を把握する。
- ・全校生徒対象の三者面談を7月、12月、3月に行い、生徒の現状を把握する。

【生徒指導部】

- ・ 学校生活の規律を正し、生徒が主体的に授業や行事に参加できるよう支援する。
- ・ 「いじめ実態調査」(迷惑調査)を7月と12月に実施し、生徒の状況を把握する（Google Formを活用する）。また、その結果によっては必要な対策を協議し対応する（学校いじめ対策組織が主導）。
- ・ 週1回の生徒指導部会を開き、学年会とも情報を共有して「いじめや不登校の未然防止」に努める。
- ・ 教育相談体制を整え、全教員がいじめ相談に対応できるよう職員研修を実施する。
- ・ 心理検査や性格検査等を有効に活用し全職員が生徒の心の状態を掌握できるようにする。
- ・ 情報モラルに関する指導を定期的に実施する。
- ・ 外部機関（警察、子ども相談センター、各市役所の子育て支援課等）との連携を図る。
- ・ MSリーダーズ等の社会貢献活動への参加を通して、社会の一員としての自覚を醸成するとともに、自己有用感や自己肯定感を育む。

【教務部】

- ・ 授業規律を整えるとともに、教科指導においては分かりやすい授業を目指す。
- ・ 生徒の授業における進捗を評価する上で「観点別評価」を効果的に実施し、個々の生徒の努力を最大限認め、評価できるようなシステムおよび雰囲気構築する。

【進路指導部】

- ・ 1年次より進路について考える機会を設けることで、高校3年間における生徒の目的意識を醸成する。
- ・ インターンシップや社会体験学習により、社会におけるルール及び規律を習得させる。

【特別活動部】

- ・ いじめは人間関係のもつれがきっかけとなり深刻化していくと考えられるため、各担任や部活動顧問は、毎日の生徒との日誌(自主記録)の交換を通じて、早期に人間関係のもつれを発見し、適切な対応を取る（「学校全体」の項目にも記載）。
- ・ HR活動の工夫により、生徒間のコミュニケーション力を育成する。
- ・ 集団活動を通して道徳心や倫理観を育成する。
- ・ 生徒会活動を通して「いじめの未然防止」の重要性を周知する。
- ・ 学校行事を通じて全校及び学年・クラス内の協力・協調を促し、居場所や絆づくりを推進する。
- ・ 部活動内における良好な人間関係を築かせ、お互いが高めあえる組織を目指す。

【渉外部】

- ・ 保護者会等でのいじめ撲滅に向けた活動を推進する。
- ・ いじめ問題について地域、家庭が連携した対策を推進する。

(3) 年間計画

月	行 事	取 組 内 容
4	始業式・入学式 <u>第1回高山西いじめ防止対策委員会</u> <u>第1回 校内いじめ防止職員研修</u>	・ いじめ防止に関する講話 ・ いじめ防止の年間の取組みについて検討 ・ 学校の方針と具体的対応の確認
5	教育相談（1年生二者面談）	・ 生徒の生活状況や問題意識等の確認
6		

7	<u>第1回 校内迷惑調査（全校）</u> <u>三者面談</u>	・迷惑調査（全校）→Google Formを利用する ・家庭生活の状況確認
8		
9	第2回 校内いじめ防止職員研修	・夏季休業明けの生徒情報交換会・教育相談中心
10		
11		
12	<u>第2回 校内迷惑調査（全校）</u> <u>三者面談</u>	・迷惑調査（全校）→Google Formを利用する ・家庭生活の状況確認
1	第3回 校内いじめ防止職員研修	・冬季休業明けの生徒情報交換会
2		・いじめ防止の年間の取組みの検証と課題
3	<u>第2回高山西いじめ防止対策委員会</u>	・今年度の反省と来年度に向けての方針

3 いじめ問題発生時の対処（発覚時の対応に関して）

(1) いじめ問題発生時 →発見時の初期対応に関して

法：第23条（抜粋）

学校の教職員、地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

2 学校は、前項の規定による通報を受けたときその他当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、速やかに、当該児童等に係るいじめの事実の有無の確認を行うための措置を講ずるとともに、その結果を当該学校の設置者に報告するものとする。

3 学校は、前項の規定による事実の確認によりいじめがあったことが確認された場合には、いじめをやめさせ、及びその再発を防止するため、当該学校の複数の教職員によって、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者の協力を得つつ、いじめを受けた児童等又はその保護者に対する支援及びいじめを行った児童等に対する指導又はその保護者に対する助言を継続的に行うものとする。

4 学校は、前項の場合において必要があると認めるときは、いじめを行った児童等についていじめを受けた児童等が使用する教室以外の場所において学習を行わせる等いじめを受けた児童等その他の児童等が安心して教育を受けられるようにするために必要な措置を講ずるものとする。

5 学校は、当該学校の教職員が第三項の規定による支援又は指導若しくは助言を行うに当たっては、いじめを受けた児童等の保護者といじめを行った児童等の保護者との間で争いが起きることのないよう、いじめの事案に係る情報をこれらの保護者と共有するための措置その他の必要な措置を講ずるものとする。

6 学校は、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

[組織対応]

- ・「高山西 学校いじめ対策組織」による対応

[対応順序]

- ・学校の教職員がいじめに係わる情報を得た場合、速やかに、「高山西 学校いじめ対策組織」に報告し、組織的な対応につなげなければならない。
- ・被害者、加害者の事実関係の把握（複数の教員が関係生徒から個別に聞き取る）
- ・いじめとして対処すべき事案か否かの判断（人権侵害に当たるかどうか）
- ・判断材料が不足しているときはさらに調査
- ・被害生徒のケア（必要に応じて専門家によるケアを要請する）
- ・加害生徒への指導（成育歴や家庭環境等の背景を十分に考慮する）
- ・保護者への説明（事実確認、支援・指導方針、具体的な支援・指導方策）
- ・私学振興・青少年課及び県教委への連絡と経過説明（学校長が責任を持って報告する）
- ・経過の見守り（当該生徒に関わる複数の教職員による継続的な支援・指導）
- ・報告書の作成（経過、背景、対応、結果等）
※問題の解消とは、単に謝罪や責任を形式的に問うことで達成されるものでないことを理解し、生徒の人格の成長に主眼をおき、問題の再発を防ぐ教育活動を行うことが問題の解消となる。

(2) 「重大事態」と判断された時の対応

法：第28条（抜粋）

学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、質問票の使用その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

2 学校の設置者又はその設置する学校は、前項の規定による調査を行ったときは、当該調査に係るいじめを受けた児童等及びその保護者に対し、当該調査に係る重大事態の事実関係等その他の必要な情報を適切に提供するものとする。

3 第一項の規定により学校が調査を行う場合においては、当該学校の設置者は、同項の規定による調査及び前項の規定による情報の提供について必要な指導及び支援を行うものとする。

[①対応順序]

- ・私学振興・青少年課及び県教委（地域担当生徒指導主事を含む）へ報告し、事実関係を明確にするための詳しい調査を実施する。
- ・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じた疑いがあるときは、直ちに所轄警察署に通報し、適切に援助を求める。

〔②学校主体による調査組織の編成〕

- ・「高山西 いじめ対策組織」に、さらに必要な第三者を加えることができる。→ **特別調査組織**
※メンバーは重大事態に直接の人間関係又は特別の利害関係を有しないものとし、公平性、中立性の保持に努める。

〔③学校主体による調査における注意事項〕

- ・私学振興・青少年課及び県教委（地域担当生徒指導主事を含む）と連携を取り指示を仰ぐ。
- ・生徒のプライバシー及び関係者の個人情報に対する配慮は必要であるが、個人情報保護を盾に説明を怠ることがないようにする。
- ・因果関係の特定を急がず、客観的な事実関係を速やかに調査し、可能な限り網羅的に明確にする。
- ・学校にとって不都合なことがあったとしても、事実我真摯な姿勢で臨み、事態の解決に取り組む。
- ・生徒への聞き取り調査やアンケート調査を実施する場合は、その対象となる生徒や保護者に説明する等の措置が必要であることに留意する。
- ・調査結果は私学振興・青少年課に報告する（私学振興・青少年課から知事に報告する）。
- ・調査結果より明らかになった重大事態の事実関係等について、学校は私学振興・青少年課による指導及び支援を受けて、いじめを受けた生徒及びその保護者に対して、明らかになった事実関係等の情報を提供する。

4 いじめの解消

いじめは、単に謝罪をもって安易に解消とすることはできない。いじめが「解消している」状態とは、少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。ただし、これらの要件が満たされている場合であっても、必要に応じ、他の事情も勘案して判断するものとする。

① いじめに係る行為が止んでいること

被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。ただし、いじめの被害の重大性等からさらに長期の期間が必要であると判断される場合は、この目安にかかわらず、学校の設置者又は学校いじめ対策組織の判断により、より長期の期間を設定するものとする。学校の教職員は、相当の期間が経過するまでは、被害・加害児童生徒の様子を含め状況を注視し、期間が経過した段階で判断を行う。行為が止んでいない場合は、改めて、相当の期間を設定して状況を注視する。

② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと

いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。被害児童生徒本人及びその保護者に対し、心身の苦痛を感じていないかどうかを面談等により確認する。この場合において、事案に応じ、外部専門家による面談等により確認するなど適切に対応する。

学校は、いじめが解消に至っていない段階では、被害児童生徒を徹底的に守り通し、その安全・安心を確保する責任を有する。「高山西 学校いじめ対策組織」においては、いじめが解消に至るまで被害児童生徒の支援を継続するため、支援内容、情報共有、教職員の役割分担を含む対処プランを策定し、確実に実行する。

上記のいじめが「解消している」状態とは、あくまで、一つの段階に過ぎず、「解消している」状態に至った場合でも、いじめが再発する可能性が十分にあり得ることを踏まえ、学校の教職員は、当該いじめの被害児童生徒及び加害児童生徒については、日常的に注意深く観察する必要がある。

5 情報等の取扱い

(1) 個人調査データについて

いじめ問題が重大事態に発展した場合は、被害者やその保護者に経緯や内容等を知らせるための報告書の作成が必要となったり、訴訟等に発展した場合には情報の提示を求められたりすることもあることを想定して、生徒の個人調査データは、生徒の在籍期間内は必ず保管する。また、重大事態の調査組織においても、データが裏付け資料として大変重要であることから、必ず保管するものとする。特に生徒の自殺等が発生した場合は、心理検査、いじめ調査、迷惑調査等は大変重要な資料となる。

※心理検査等、いじめ調査（記名あり）、迷惑調査（記名あり）、進路調査等

(2) 心理検査等の有効活用について

心理検査については、生徒の性格や生活実態などを事前評価（アセスメント）するうえで有効な資料となり得るため、その扱いや活用方法について職員研修等を実施し生徒指導に積極的に利用する。

(3) 書類の保管期間など

- ・アンケートの保存期間は生徒の在籍期間とする。
- ・アンケートを取りまとめた資料（高山西 いじめ防止対策組織の資料）の保存期間は、「高山西 いじめ防止対策組織」の委員会を実施した後5年間とする。

策定日 平成31年4月1日

いじめ防止対策推進法

岐阜県環境生活部
私学振興・青少年課

いじめ防止基本方針

連携

小・中・高・特
学校

いじめ防止基本方針

岐阜県 環境生活部
私学振興・青少年課

- 【岐阜県】 岐阜県いじめ問題対策検討会
(県方針の検討・関係団体との
情報共有・市町村連携)
- 【岐阜県】 岐阜県いじめ防止対策審議会
(直接、重大事態の再調査にあたる)

報告書の作成と被害者への提示

解決

被害者の不服
再調査の依頼

再調査

重大事態→特別調査組織

* 必要な外部人材を加えることができる

[詳しい調査の実施]

・アンケート ・聞き取り 等

報告書の作成と被害者への提示

県・私学振興課の判断

(学校での解決が困難)

解決

(継続的なケア)

県

岐阜県いじめによる重大事態再調査委員会
(知事部局によるいじめの再調査)
(構成員は全て第三者による調査)

【常設】(年2回程度)

高山西いじめ防止対策委員会
(学校方針の検討・情報共有・反省)

【仮設】(いじめ事案発生時)

高山西 学校いじめ対策組織
(いじめの認定・対応・説明・指導)

(重大事態に発展)

解決

(継続的なケア)

教育相談課



池上 正巳

本校の教育相談は生徒指導部・教育相談課として位置づけられており、昨年同様各学年主任と生徒指導部全員で協力し以下のような活動方針でスタートした。

今年度教育相談の活動方針

指導方針

日常の教育活動の中で、生徒理解に努めるとともに、どのように関わることが生徒を育てることになるかを的確に把握し、生徒一人一人が心身ともに成長できるような援助をする。

目標

教育相談で自立の心を育てる

～生徒理解と支援の充実～

- 集団の中での発達支援を通して育てる
- 学習支援・進路支援を通して育てる
- HR活動・特別活動を通して育てる
- 心理検査等の活用を通して育てる

具体的活動

- 各学年主任との連携を取り不登校傾向の生徒や支援の必要な生徒の把握と対応を確実に行う。
- 心理検査等を実施し、生徒個人の特性を知ること、個への指導に役立てる。
 - 1年 SKK式適性検査
 - 2年 セラプラス
- 岐阜県サポートステーションの活用
相談員による、月1回の訪問相談の実施。

昨年同様、岐阜県若者サポートステーションに月1回の訪問相談を依頼している。内容としては、月1回3時間（一人1時間程度）飛騨地区エリアサポーターの澤谷さんに懇談していただいている。

不登校生徒への対応

①指導の目標

不登校という課題を通して、生徒の人的な成長を目指し、生徒の将来への進路、さらには社会的自立を目標とする。

最終的に他の生徒と同様に、学校生活を送れるようにする。

- ②本人・保護者との面談
- ③スクールカウンセリングの有効利用
- ④医療機関との連携
- ⑤再登校に向けた介入

場合によっては、進路変更も考えなければならない。（引きこもりを避ける）

今年度の状況と今後の課題

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響は、少なくなったが、生徒の心理状態は、まだまだコロナ前の状況ではない。

このような状況の中、昨年同様不登校傾向になる生徒も多く、特に1年生には最終的には進路変更しなければならない生徒も増えてきました。昨年の状況からある程度は予測されたが、対策を講じることが出来ず残念であった。また、次年度以降入学する生徒にも同様の心配が予想されます。最近の生徒の特長としては、特別な支援の必要な生徒が増加していることや、過去のトラウマ的な事象やアタッチメントの問題を抱えている生徒も多く、いろんな観点から、生徒の現状の見立てを行わなければならない。

中学校から、個別の支援計画等引継ぎがあった生徒や、問題を抱えている生徒は増える一方である。そういった生徒が、引き続き不登校や問題行動につながるケースが多くなっている。

そういった問題を抱える生徒は、学力不足やコミュニケーション能力の欠如など、いろいろな問題が重なり合っているケースが多く、根本的な原因がわかりづらいことも対応の難しさとなっている。今後は、そういった生徒と根気強く接し、指導していくことが大切になってくる。

(4) 保健



総括

養護教諭 井川 朱音

今年度より、新たな形で保健室運営がスタートしました。新型コロナウイルスの波が落ち着き、通常の日常生活が戻ってきたように感じます。しかし、季節外れのインフルエンザや過去最高の感染者数のマイコプラズマ肺炎などまだまだ油断できない状況が続いています。一人ひとりが自ら考えて行動することが求められる時代だからこそ保健室としても常にアンテナを張り、保健情報を常に発信していかなければならないと感じています。

また、ここ数年は酷暑が続き、日本各所で熱中症警戒指数の31℃を超える日が増えました。今年も夏休み前から暑い日が続きました。夏休み後も本校の大切な行事である体育祭が実施予定であり、保健委員の呼びかけなどを通して熱中症予防に取り組みました。保健室でも午前・午後に熱中症指数を測定し、体育科教員が体育の授業前後の測定、運動部活動にも熱中症指数計が配付され、測定をしながら活動を行っていきました。ありがたいことに今年は大きな事故や病気なども起こらず、子どもたちは暑い中でも元気に活動をしておりました。

7月から保健室前で測定したWBGTで熱中症指数が28℃（厳重警戒（激しい運動は中止））を超えた日は8月に1回（全校登校日のみ測定）、9月に3回ありました。運動が原則禁止となるWBGT31℃以上になる日はありませんでした。ただ、測定値が下回っていても、その日の体調や体格、人によって熱中症になりやすさは異なるため、一人ひとりの体調を把握することや活動の様子を観察することは重要です。

保健室でも夏休み明けの体育でリレーの練習後などに熱中症、脱水を疑う症状の生徒が来室することが多くありました。

夏休み中、運動をする機会が減少したことが要因と思われる。周りの大人が気をつけることはもち



ろんですが、高校を卒業した後は一社会人となる高校生として自分の日頃の体調を把握し、気づける自己管理能力を育てることも大切だと感じました。この課題を生かして保健室でも自分の心身は自分で守れる力を育てていきたいと思います。

保健室は特性上、元気な生徒と接する機会が少ないのですが、唯一元気な生徒と係る保健行事が献血活動です。今年7月に献血バスを派遣していただき、多くの生徒や職員に参加していただきました。本校はこれまでも岐阜県青少年赤十字加盟校として毎年学内で献血活動を行っており、その他にも様々な献血に関わる活動を行ってきました。今年第60回献血運動推進全国大会が岐阜県で開催され、その際に、日頃の献血事業への協力に対して本校に日本赤十字社銀色有功賞をいただくことができました。高校生のうちに献血に関心を持つことは高校卒業後の献血の実施状況にも大きな影響を与えます。一人ひとりが命について考える機会としても今後も献血活動を継続的行っていききたいと思います。



(5) 特別活動部

鈴木 慎太郎

生徒会活動は下畑先生を課長として、打江先生、谷川先生、また体育科の先生方にもお手伝いをいただいた。部活動は上西先生を課長として、下畑先生、打江先生に担当して頂き、今年度の特別活動部がスタートした。

[方針]

特別活動の意義を理解させ、諸活動において生徒の自主性、実践的な活動を促し西高生としての帰属意識を高める。

[本年度の重点目標]

1. 部活動の活性化と強化をはかる。
 - ・生徒の個性を伸ばし、向上心・責任感・忍耐力・協調性を培うなかで、たくましい心身を鍛え学校生活の充実をはかる。
2. 生徒会・委員会活動の活性化をはかる。
 - ・集団の一員としての自覚を持ち、互いに信頼・協力し積極的に活動に参加することにより、充実した学校生活をおくる。
3. 信頼され能動的なリーダーの育成をはかる。
 - ・部活動、生徒会、委員会活動及びクラスなど、リーダーとしての自覚を促し、活動的な運営・実践することにより、資質の向上をめざす。

[具体的活動]

1. 部顧問会議を定期的に開催し、顧問の意識の高揚と円滑な部の指導や運営及び連絡を密にする。
2. 生徒会リーダー研修を通じ、リーダーとしての自覚・役割を認識させ、資質の向上をはかる。
3. 「西高祭」・「体育祭」などの行事は、生徒の自主性を促し、全職員が組織的かつ積極的に協力し運営に関わる。

[総括]

今年度の「西高祭」は昨年度同様、6月中旬に

実施した。前年度までの西高祭と変えたところは「全生徒での観覧時間短縮」である。今年度も相変わらず暑い夏となり、6月に入って一気に気温が上昇し連日30度以上の猛暑日を記録していた。全生徒を体育館に集め長時間に渡って観覧させる事は不安が大きく、今年度はオープニング、3年生のステージ発表、そしてエンディングのみ全員での観覧とし、それ以外は自由観覧とした。3年生、2年生はステージ企画、1年生は昨年度同様、展示企画とした。それ以外にも有志企画や部活動企画も実施した。また昨年度は5台のキッチンカーに来校して頂き盛り上げて頂いたが、生徒や保護者の人数に比して、台数が十分とは言えず、炎天下の中、長時間待たなければいけない事態も発生していたため、今年度は倍の10台とした。これも暑さ対策の1つではあるが、待ち時間が大幅に削減されたように見られた。保護者の観覧は一切の制限をなくしたが、平日の昼間にもかかわらず200名超の保護者の方々にご観覧頂いた。大変有り難いことであった。

9月3日、体育祭。西高祭同様、またはそれ以上に最大の不安材料だったのは「暑さ」であった。競技については各学年リレー、各団選抜リレー、各学年競技（1種目のみ）、応援合戦（1回）と昨年度同様としたが、これも暑さ対策のため、終わり次第すぐに次の競技に移ったり、休憩時間を設けることもした。ただ、そういった心配をよそに生徒は元気に競技に取り組み、今年度も熱中症で体調を崩す生徒はいなかった。（競技中や競技後に軽度の擦り傷や貧血気味になる生徒は10名程度いた）保護者の方々の観覧も多く、今年度の保護者の観覧数は500名弱となった。西高祭に続き、暑い中であつたが体育祭を盛り上げて頂き、大変感謝している。

本校の2大生徒会行事である「西高祭」「体育祭」は、大きな事故や怪我もなく大成功に終わったと言える。その一番の貢献者は実行委員長をはじめとする生徒会メンバーである。準備の段階では、新しいことを取り入れつつも安全に対する配慮を常に忘れずにいた。また実施当日から後片付けまで全校生徒を盛り上げながら、節度ある言動を例年以上に心がけてくれていたように見えた。

本当に上手に運営してくれた。

運動系の部活動では、今年度も輝かしい成績を残している。世界大会への進出を2年連続で果たした堤大智くん(2K)。「JOCジュニアオリンピックカップ 2024全日本ジュニアレスリング選手権大会」で準優勝をし、ヨルダン・アンマンで開催された「アジア選手権」に日本代表選手として出場して銅メダル(第3位)を獲得した。その他にも、国内の大会では佐賀県で行われた「SAGA2024国民スポーツ大会」では第3位、「風間杯第67回全国高等学校選抜レスリング大会」で優勝、「全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会」で第2位。そして「北部九州総体2024(インターハイ)」で第3位となった。高校生活もあと1年となるが、更なる活躍を期待しつつ、その先も見据えて頑張るって欲しいと願っている。

その他、全国の舞台で活躍した部活動を紹介する。「SAGA2024国民スポーツ大会」にはレスリング少年男子で飯山福斗くん(2L)が出場。剣道少年女子では清水恋さん(3H)、山崎ゆりねさん(3H)、小山詩乃さん(3K)、佐藤凜和さん(2J)、石原彩伽さん(2L)が出場し、第5位という優秀な成績を残した。またバスケットボール少年男子の部においてはオカプ・チネドウくん(2H)、板倉瑠郁くん(2I)、高岡巧くん(2K)、大窪優誠くん(1H)、野崎凜太郎くん(1K)が出場。こちらも第5位という成績を残してくれた。なお、本校前川教諭は剣道少年女子の監督として、また打江教諭もバスケットボール少年男子のコーチとしてチームを率いた。「全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会」には、飯山福斗くん(2L)、圓山礼心くん(1L)が出場。「北部九州総体2024(インターハイ)」へは、レスリング女子フリースタイルで今井七緒さん(1K)、直井詩空さん(1K)、剣道女子団体(ベスト16)、剣道女子個人で小山詩乃さん(3K ベスト16)、アーチェリー男子個人では河合朔哉くん(3I)が出場した。

文化系の部活動では、情報ビジネス部が全国パソコン技能競技大会に出場し、2年連続、団体で2位となった。優勝はならなかったものの、大変優秀な成績である。また、個人では長瀬智煌くん

(2J)が第2位となった。英語ディベート部(2G有志生徒)は、今年度は2つのブロック大会にて優勝し、全国大会への出場を決めた。

今年度も保護者の方々や外部コーチ、応援してくださる人々、部顧問の先生方、そして何より生徒たちの努力の結果、大変素晴らしい成績を残してくれた。

令和6年度部活動 主な結果

<飛騨地区総合体育大会 団体戦優勝>

優勝旗 7本獲得

ハンドボール部、剣道部(男子)、剣道部(女子)、バドミントン部(男子)、バドミントン部(女子)、陸上部(男子)、卓球部(女子)

*バスケットボール競技は未開催

<全国総合体育大会(インターハイ) 出場>

剣道部

女子団体(県予選1位) → 全国大会ベスト16
女子個人 小山詩乃(3K)(県予選2位) → 全国大会ベスト16

アーチェリー部

男子個人 河合朔哉(3I)(県予選1位)

レスリング部 男子フリー

65kg級 飯山福斗(2L)(県予選1位)

71kg級 堤大智(2K)(県予選1位)

女子フリー

57kg級 今井七緒(1K)(東海予選3位)

62kg級 直井詩空(1K)(東海予選3位)

<各種大会>

- ・レスリングJOCジュニアオリンピックカップ
グレコローマンスタイル71kg級
準優勝 堤大智(2K)
- ・レスリング全国選抜東海地区予選 男子
71kg級 優勝 堤大智(2K) → 全国へ
65kg級 3位 飯山福斗(2L) → 全国へ
51kg級 3位 圓山礼心(1L) → 全国へ
- ・堤杯岐阜県高校ハンドボール選手権 優勝
- ・岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会
(ウィンターカップ予選)

- 男子準優勝 → 全国へ
- ・第61回飛騨駅伝競走大会 高校男子の部
高山西A 優勝（2連覇）
高山西B 準優勝
 - ・剣道新人大会
男子個人
大野温史（1L） 準優勝 → 東海へ
女子個人
鳥山煌月（2H） 準優勝 → 東海へ
飯山結美（2H） ベスト8 → 東海へ
佐藤凜和（2J） ベスト8 → 東海へ
竹内茉幸（2K） ベスト8 → 東海へ
石原彩伽（2L） ベスト8 → 東海へ
 - ・全国パソコン技能競技大会 情報ビジネス部
団体の部 準優勝、個人の部 準優勝
 - ・全国高校生英語ディベート大会 ディベート部
甲信越ブロック大会 優勝
愛知・岐阜合同予選会 優勝 → 全国へ
 - ・中部日本個人・重奏コンテスト
サクソフォン四重奏 銀賞
 - ・東海吹奏楽コンクール 大編成の部 銅賞
 - ・岐阜県吹奏楽マーチングコンテスト
バレードコンテストの部 金賞

(6) 入試広報部

総括

横田 匡司

今年度より、入試広報部を新設した。入試関係業務はそのほとんどが教務に、広報関係の業務は広報部と教務部にあったが、それらの業務は一括して入試広報部で行うことにした。

昨年度よりモチベーションワークス社の校務支援システム「BLEND」を採用した。出欠管理、成績管理、帳票管理、入試管理等を一元管理することで、大幅な業務時間の軽減が可能となった。入試管理業務は、インターネット出願、インターネット合格発表に移行し、業務は大幅に軽減されたが、ページなど聞き慣れないことや表面上は簡単に見えても準備に膨大な時間と労力を要したこと、さらに複雑化したため、新しい部署にその業務を移行し、専門的に行うことで部内での連携を深めるよう図った。入試業務においては、少しのミスも許されない。丁寧で正確な対応、作業が求められるため、入試広報部一丸となって、業務に取り組んでいる。

広報業務での目標は、私学として優秀な人材を1人でも多く確保することである。少子化については、14歳以下の子どもの数は年々減少を続けており、2045年には2015年の半数以下になると推計されている。飛騨地区においては、今年度の中学3年生は、昨年度と比較して約80人減少している。さらにR13年度には1000人を切り、R5年度と比べ約270人少ない。非常に生徒募集にとって厳しい環境ではあるが、本校の生徒募集は様々な工夫を重ね、定員確保に向けて全力で取り組んでいる。生徒の夢をかなえるためのサポートを全力で行っていくのだという本校の強い思いを、中学生やその保護者の皆様、地域社会の方々に対し、さまざまな形で発信してきた。

生徒募集に向けて新たな取り組みとして、主に4つあげられる。1つめは広報のDX化である。ホームページの一新、公式LINEや公式Instagramの新設、BLENDの出願システムプラスシードによるインターネット申し込みとメール機能を用いた広報戦略等である。特にLINEやInstagram

では、イベントの告知から、学校生活の発信など、かなりの頻度で発信し、イベント情報や西高の良さを多くの人に知ってもらえるようになった。その結果、イベントには昨年度よりも多くの参加者に来校してもらえた。2つめは広報的なイベントの新設、増設、内容の充実である。今年度からコース別見学会を新設した。コース別見学会は、オープンキャンパスや一日体験入学ではできない、入試問題の解説、数学検定や英語検定の対策などを行った。参加者が多くない回もあったが、複数回足を運んでくれる中学生もおり、確実に成果を実感できた。また昨年度まで行ってきた個別入試説明会を追加の実施も含め8回に増設した。さらに、一日体験入学では、全体会を生徒会の司会で行ったり、生徒の漫才コンビ「ショートパーカーレディース」による漫才を披露したりするなど、生徒を前面に出し、憧れの先輩像がイメージできるようにした。また、キッチンカーも花を添えてくれた。イベントは回数を重ねることが大切、1人も来ないイベントがあっても続けることで認知されると考えている。また、認知されるまでには、5年はかかるといわれるので、来年度も形を変えながらも継続的に実施したい。3つめは、昨年から引き続き購入物品の刷新と精選などを行ったことである。生徒からのアンケートで、あまり必要性を感じていないものや喜んでくれないものに替えて、中学生が喜ぶような粗品を渡すようにした。4つめは、プレゼン担当、中学校担当の一新である。特に、プレゼン担当には、プレゼン研修を行い、一からプレゼンを学ぶ機会をつくった。プレゼンにおいては、中学生や中学校の先生から良かったという評価を得た。

校長も私も昨年度以上に中学校に訪問したし、各部活動の顧問にいたっては、飛騨地区外及び岐阜県外にも足を運び、一人でも多くの入学者確保に向けて奔走している。今後も継続して、さまざまな工夫を凝らして魅力のある高校生活を中学生にアピールしたいと考えている。

本校にとっては厳しい状況が続くが、このような状況であるからこそ、全教職員が本校の目指す高校像を共有し、危機感を持って日々の教育活動に取り組まねばならない。また、教育を取り巻く

新しい状況に対応した教育体制を構築し、生徒たちが学業や部活動において着実に成果をあげているようにサポートしていかなければならない。飛騨唯一の私学として我々が目指すところを明確にするとともに、その取り組みについて積極的な広報活動を行うことにより、この難局を乗り切っていきたいと思う。

今年度の広報活動は、昨年度からの継続項目を中心としながら、質の向上と進化を目指している。以下、具体的な活動とその内容を記す。

1. 中学校訪問（校長、教頭、中学校担当）

校長、教頭が複数回に渡り個別に中学校訪問を行った他、飛騨地区の各中学校の担当者を決め、本校在校生の様子を報告や入学試験に関するお願いを伝えた。

2. 中学校における高校説明会への参加（プレゼン担当）

中学校からの要請に応えるべく、各中学校で開催される高校説明会に参加させていただき、受験生やその保護者の皆様に本校の魅力を説明した。

3. オープンキャンパス、一日体験入学の実施

オープンキャンパスでは本校の生徒が中学生や保護者の皆様を案内し、さまざまな質問に答えた。また、一日体験入学では、生徒司会による全体会、本校職員による体験授業、補習・部活動見学を実施。本校の雰囲気をもっと深く感じてもらうことができた。

4. コース別説明会

オープンキャンパスと同様に、学校説明や補習・部活動見学を行っただけでなく、少人数の利点を生かし、英検講座や数検講座とも連携を図り、参加者のニーズや反応を受け取りながら実施した。参加者の満足度の高いイベントをおこなうことができた。

5. 中学生・保護者対象個別入試相談会

高山会場（高山市民文化会館）で3回、下呂会場（星雲会館）で1回、追加で本校会場で4回開

催した。どのような質問や相談にも対応できるようにさまざまなブース（学校全般・特進Ⅰ・特進Ⅱ・部活動・奨学金等）を設け、説明した。

6. 学校案内「夢かなえる！」と「夢かなえる！増刊号」の作成

「夢かなえる！」の作成においては、生徒に親しみを持ってもらえるようなデザインと本校の魅力を中学生に伝えられるような内容を心掛けて作成し、中学生へ配布した。また、学校案内よりもさらに内容の詳しい「夢かなえる！増刊号」を作成し、各中学校に送付した。

7. 各種ちらしの作成

オープンキャンパス、一日体験入学、個別入試相談会、コース別説明会、英検合格対策講座、数検合格対策講座などのちらしを作成し、各中学校で中学生に配布していただいた。

8. ホームページの充実

ホームページを訪れた方に、学校生活全般、部活動、行事ごとの本校生徒の取り組みの様子の紹介などを行い、本校の魅力を感じていただくために、コンテンツの充実を図っている。

9. 西高校のPRグッズの製作・配布

クリアファイル、消しゴム、赤ボールペン、手提げバッグ、西高のロゴ入りのお菓子などのPRグッズを作った。これらはオープンキャンパス、一日体験入学、中学生・保護者対象個別入試相談会、コース別見学会などの機会に配布した。

10. 報道機関に対する情報の提供

毎月、高山市民時報に本校の広告を出し、公式SNSの宣伝やイベント情報の発信をしている。また、様々な分野における生徒の活躍や本校の教育活動に対する取材を報道機関に依頼した。今後も積極的に情報を発信していく予定である。

（方針）

1. 入試業務の効率化を図り、受験生にとって分かりやすく、ミス無く、公平公正な入試を実

施する。

2. サーバーなどのネットワーク管理、パソコンなどの機器の管理を通して、生徒の学習環境や職員の業務環境を整備する。
3. 本校の教育活動や社会貢献活動及びその成果を、様々なメディアを通して広く伝える。
4. 「文武両道の進学校」というイメージを浸透させると同時に、高山西高校の社会的信頼を高め、入学希望者の増加を目指す。

(本年度の重点目標)

1. 入試の見直しを行い、受験生・保護者にとって分かりやすい入試を目指す。
2. 募集要項、入試説明会、個別説明会などを通して、正しい入試情報の発信を行う。
3. B L E N D 導入初年度の課題を省み入試業務の効率化を図るとともに、ミス無く公平公正な入試を実施する。
4. 教務部と協力し、生徒の学習環境の整備・拡充を図る。
5. 中・長期的で継続的な広報活動を展開し、地域社会に広く本校の活動状況や魅力を発信する。
6. 積極的な広報活動を展開し生徒募集につなげ、200名以上の生徒確保を目指す。

(具体的な活動)

1. 入試の見直し（例えば、特待推薦入試と一般入試の統合など）を行い受験生および保護者の負担を減らす。
2. 出願や入学の手続きで質問やミスの多かった部分、業務が複雑化した部分など、B L E N D 導入初年度の課題を踏まえて、入試の簡単化と入試業務の効率化に取り組む。
3. 公平な入試を実施するために、各部署・全職員と連携を図り、学園全体で協力して入試業務に当たる。
4. 職員の入試に対する理解を深めるため、若手職員を対象とした研修を実施。
5. 生徒用パソコンの追加整備など、授業や探究活動に必要な機器の購入。
6. 学校案内等の作成（「夢かなえる」、「夢か

なえる 増刊号」、岐阜県私学高校ガイドブック、各種ちらし)

7. 広告宣伝活動（報道機関への情報公開・取材依頼、高山市民時報広告、ホームページ更新)
8. 中学生・保護者対象のイベント運営（オープンキャンパス、一日体験入学、コース別見学会、個別入試相談会)
9. その他広報活動全般（中学校への訪問、中学生・保護者向けイベントの精査・新規立案)

(役割分担)

- 入試・生徒募集行事（横田・橋下・平野・新海）
 - ・入試管理（B L E N D 入試管理委員）
橋下・平野・新海・（山口）
 - ・入試業務補助委員
荒井・山下・脇田
 - ・募集要項作成
横田・橋下・平野
 - ・入試説明会（6月）
横田・橋下・平野・（中学校担当）
 - ・中学校訪問・中学校での説明会
全員・（中学校担当）・（若手職員）
 - ・中学校担当者進路説明会（12月）
横田・平野・（中学校担当）
 - ・入試要項作成、準備
横田・橋下・平野
 - ・入試業務
全員
 - ・入試検定料、入学金
事務（平田・森下）
 - ・入学手続き、次年度更新
橋下・平野・（山口）・（事務）
 - ・若手職員対象の入試やプレゼンの研修
横田・入試広報部
- 広報（荒井・山下・脇田）
 - ・「夢かなえる」の作成
荒井・平野・山下・脇田・橋下
 - ・「夢かなえる 増刊号」の作成
荒井・平野・山下・脇田・橋下
 - ・学校紹介DVD
荒井・橋下・（業者）

- ・ ホームページ
荒井・橋下・（業者）
- ・ 岐阜県私学高校ガイドブックの作成
荒井・山下
- ・ 各種ちらし・ポスター作成
荒井・橋下
- ・ 学校ノベルティーなどの作成
平野・脇田
- ・ オープンキャンパス（要項作成ほか）
荒井・平野・橋下
- ・ 中学生体験入学（要項作成ほか）
荒井・平野・新海・橋下
- ・ 個別入試相談会（要項作成および会場手配）
山下・平野・橋下
- ・ 新聞記事切り抜きと掲示
山下・脇田
- ・ 学校行事部活動写真・ビデオ撮影
山下・脇田（各行事担当者）
- ・ 学校行事部活動写真・動画フォルダの管理
山下・脇田
- ・ 中学校訪問（特推勧誘）
各中学校担当・部顧問
- ・ 行事・部活動大会結果等報道機関への連絡
橋下・脇田・新海
- ・ 高山市民時報広告作成（毎月1回）
橋下・新海
- ・ SNS（Instagram、LINE）
平野・荒井・山下・新海
- ・ 教育関係出版社などの対応（資料請求）
橋下
- ・ 各種協賛金申請、他雑務
橋下

○ネットワーク管理

- ・ 職員アカウント、メール等の設定
橋下
- ・ 職員PC、生徒用PC等の管理
橋下
- ・ サーバー管理
橋下・（業者）

(7) 渉外部

川上 千敏

総括

渉外部の役割は、本校を取り巻く3つの団体の窓口となり、互いに連携しながら本校教育活動の更なる発展を目指していくことです。本年度の特筆すべき事項としましては、同窓会より、創立60周年の記念としまして移動照明機器（発電機付）を5セットとそれらの収納倉庫の購入補助をしていただきました。現在、移動照明機器は、放課後の部活動に有効に活用させていただいており、大変ありがたく思っております。

本校の後援会、育友会、同窓会の皆様におかれましては、本校の取り組みに対する深い理解と協力、そして暖かな助言など様々な角度からご支援を頂き、感謝しております。以下に、それぞれの活動を紹介します。

●育友会活動

【高山西高等学校育友会】

入会式（4/7）※入学式後

- ・育友会活動紹介
- ・学校生活について

第1回役員会（4/17）

- ・自己紹介
- ・令和6年度事業案、予算案検討
- ・各自（役員）にて総会資料確認
- ・各委員会からの事業案、予算案の検討

育友会総会（5/9）

- ・令和5年度事業報告、決算報告
- ・令和6年度事業案、予算案
- ・新役員選出

<各委員会の主な活動>

体 育	体育祭団席借用費 体育備品購入
生徒指導	防犯、交通講話講師謝礼 ネットセキュリティー
進路指導	就職希望者模擬面接実施 進路ガイダンス開催 親父ゼミナール開催

教 務	校誌「見量山」発行
文 化	育友会報発行（2回）
図 書	新聞、雑誌購入
厚 生	花いっぱい運動協力 衛生備品購入
母 親	フラワーアレンジメント開催

育友会報 配布（8/26）

3年生模擬面接（8/23）

- ・3年生の就職希望者を対象に、企業の人事担当者・育友会役員の方に協力していただき面接指導を行いました。

フラワーアレンジメント（12/17）

- ・陽光園の従業員の方に講師をお願いして、保護者の方にクリスマス用のアレンジメントフラワーを作っていただきました。

親父ゼミナール（2/10）予定

- ・本年度の卒業生保護者の方を講師として迎え、各教室でお話をさせていただきます。

第2回育友会役員会（3月下旬予定）

- ・来年度新役員候補について

育友会報発行（3/1予定）

- ・3年生保護者3名より寄稿
- ・3年生生徒3名より寄稿
- ・卒業生へ、贈る言葉など

育友会役員選考委員会（3月中旬予定）

- ・退任役員代表1名と学級委員から選出された各学年代表2名の合計6名によって、次年度の育友会役員を選考します。

【飛騨地区高等学校育友会連合会】

第1回理事会（紙面報告）

- ・令和5年度事業、決算報告
- ・令和6年度事業、予算案

- ・指導者研修会計画案
- ・高等学校保護者連合会常任理事会報告
- ・(財)高等学校安全振興会評議員会報告

指導者研修会 (9/25)

- ・飛騨地区の高等学校の育友会(P T A)役員が集まり研修を行う。

第2回理事会 (2月下旬予定)

- ・令和6年度事業会計中間報告
- ・令和7年度連合会組織、役員について
- ・令和7年度新役員選出について
- ・令和7年度指導者研修会計画案

【岐阜県高等学校P T A連合会】

定期総会 (5/31)

- ・令和5年度事業、決算報告
- ・令和6年度事業、予算案
- ・新旧役員あいさつ

PTフォーラム (11/1)

【岐阜県私立高等学校保護者連合会】

第1回常任幹事会 (5/8)

- ・総会資料の確認と役割分担
- ・新役員選出案
- ・請願署名運動計画案と依頼

通常総会 (6/5)

- ・令和5年度事業、決算報告
- ・令和6年度事業、予算案
- ・役員改選
- ・功労者へ感謝状の贈呈

第2回常任幹事会 (11/13)

- ・請願署名運動集約結果
- ・来年度の予定

●学校後援会

理事会、総会 (6/28)

- ・令和5年度事業、決算報告
- ・令和6年度事業案、予算案

●同窓会

理事会 (10/23)

- ・令和5年度事業報告、会計報告
- ・令和6年度事業報告案、会計中間報告

総会 (11/20)

- ・令和5年度事業、決算報告
- ・令和6年度事業案、予算案

(8) 環境教育課

面手 啓

◎今年度の活動状況

1 LRQAのサーベランス

昨年度より定期審査が年間1回の2日間となり、今年度も9月に審査が行われた。世界的な流れとなっているSDGs(持続可能な開発目標)とESD(持続可能な開発のための教育)とを関連付けた中期的EMS計画と学校経営の融合推進が継続されているかを重点的に確認し、以下のように審査が実施された。なお、今年度も対面審査は行わず、リモート審査とした。審査機関のリモート審査推奨に伴い、今後も同様の形式を継続する予定である。

①定期審査1 令和6年9月19日(木)

- ・ヒアリング 経営層 小林 隆徳 校長
- ・ヒアリング 事務部門 内記 慎吾 事務長
- ・環境授業 授業参観が不可能なため、事前に授業計画を提出し、実施後のコメントを加えて審査対象とした。

2年H組 保健 打江 勇太郎 教諭

「健康被害の防止と環境対策」

環境対策車の開発を題材に、環境汚染の防止のために工夫・改善が必要なことを学び、新技術の開発が環境へ貢献していることを認識させる。

2年F組 国語 谷川 真祥 教諭

「思考を深める」

『和の思想、間の文化』を題材に、日本の長い歴史と現在の自分たちのつながり(環境)を、「和」と「間」に関する語や事例によって見出し、コミュニケーションのあり方を再認識させる。

②定期審査2 令和6年9月20日(金)

- ・サイトツアー 環境設備(屋外灯油タンク、地下灯油タンク、業務用空調機、一般廃棄物)の管理状況が確認された。
- ・ヒアリング ISO事務局
環境訓練 今年度は新入生乗鞍研修が復活

し、その中で新入生に対する環境訓練を実施した。職員や生徒への環境訓練が、有効に実施されていることが確認された。

生徒会教育 各委員会の取り組みと、学校行事(文化祭・体育祭)における環境に配慮した取り組みが確認された。

緊急事態対応 火災と地震を想定した避難訓練を実施しており、消防署を招いて、有効な訓練が実施されていることが確認された。

2 生徒会各委員会の取り組み

①環境美化委員会

ゴミの分別収集及び計量、感染症対策の徹底(手袋・マスク着用、消毒)

②文化委員会

西高祭(文化祭)・体育祭における環境教育の推進と換気の徹底

③図書委員会

環境関連図書の紹介・管理、図書館清掃、ポスターづくり

④LHR委員会

花いっぱい運動の継続

⑤風紀委員会

駐輪場の整理整頓、冬場の除雪作業

3 その他

①勤労体験学習(4・10月実施)

②各教科担任による各授業内での環境教育授業の実施

◎総括

昨年度よりコロナウイルス感染症が5類に移行し、各種の取り組みもコロナ禍以前の状態にほぼ戻っている。しかしながら、コロナ及びその他の感染症のリスクがゼロになったわけではない。ISO14001への取り組みにおいても、感染症対策を継続し、生徒・職員の安全性に配慮していきたい。

更新審査では、本校の教育理念と教育方針に従

い、環境保全、法令順守、環境授業、人材育成等の活動を通じた運用が効果的に展開されている。特に環境教育プロセスでは、ホットな環境課題にフォーカスし、生徒たちの環境への認識を高める有効な取り組みがされているとの評価を得ることができた。また、継続しているSDGsの活動（探求飛騨）では、医療問題をテーマにしたものや、放置林の削減など、自治体と連携した活動を通じて、有効なコミュニケーションが図られているとの高評価も頂けた。

今後も引き続き環境教育やSDGsの活動を継続することで、有益な環境影響を一層増大させ、また環境に配慮した取り組みを実践することのできる人材の育成に力を入れていきたい。さらに、今年2月にISOの規格に追補された「気候変動への対応」にも、一層アプローチしていきたいと考える。

(9) 学年部

第1学年の取り組み

1学年主任 鈴木 慎太郎

令和6年度第1学年は、男子88名、女子85名の計173名、6クラスでのスタートとなった。

新たな生活環境で気持ち新たに入学してきた生徒に対して、第1学年教員一丸となって指導にあたることを目標に新年度を始動した。

【学年・クラス目標について】

学年目標「高校生としての自覚を持たせる 生活・学習習慣を確立させる 目標実現に向けて努力する」を掲げた。本校学習三原則を基礎として設定したが、まずは何よりも高校生としての自覚が必要であると考え。義務教育でない高等学校は、自己責任を求められる場面が多くなる。そしてその自覚を持つためにも生活習慣の確立と目標設定が欠かせない。

学年スローガンは「百術不如一清」とした。若者らしく純粋に何かを目指して欲しいという願いからである。各クラス担任（副担任）とクラス目標は以下の通りである。

F組 井上（鈴木）

「面倒なことを大切に」

G組 橋下（ジム）

「規則正しい生活と学習習慣の確立
～根を深く固く張る～」

H組 荒井（江黒）

「継続は力なり」

I組 三川（宇都宮）

「生活を正す」

K組 木伏（面手）

「クラスの輪を大切にする」

L組 田邊（平野）

「何事にもきちんと取り組み、
生活のリズムを作る」

【総括】

今年度は、5年ぶりに新入学生対象の2泊3日の乗鞍研修を実施した。教員団にとっても久しぶりの研修で最初は心配もあったが、西高校の生活について新入生が知る良い機会となった。また、各クラスでのホームルームやクラス対抗のドッジボール大会、その他レクリエーションを通して新たな仲間を作る様子を見るにつけ、この研修の意義の大きさを改めて感じた。

コロナ禍のために実施を中止・縮小してきた学校行事も完全復活した。そのため今年度は、4月の乗鞍研修を皮切りに、5月の春の市内研修（遠足）、6月の文化祭、9月には体育祭に秋のバス遠足と、前期だけでも様々な行事があった。それらを通して感じたことであるが、今年度の新入生は「時間を守る」「挨拶をする」の2つについて、非常に徹底されている。他の学年の教員にもそれは何度も言われてきた。学年としての指導というよりも、4月の乗鞍研修の段階でそれは感じていた。彼らの最大の長所であるこの2つは学生としてだけではなく、世に出てからも非常に大切なことであるので、高校生活でそれが出来なくなったと言われたいよう、我々教員も守って行ってやりたいと思っている。

令和6年という年に、彼らは中学校と高等学校の両方の生活を経験した。高校入学当初はその大きな変化を前向きに捉えられる生徒もいれば、そうでない生徒もいる。特にそういった生徒には注意を払いながら、3年間の、ひいては長い人生の土台作りとなる高校1年生の生活を、教員一丸となって継続的な指導をしていきたい。

第2学年の取り組み

2学年主任 上西 貞幸

2年生という学年が「中だるみ」と呼ばれる所
以は、生活への慣れである。ただ、それが良い習
慣の定着であると教員、生徒がとらえることが出
来れば、中だるみと呼ぶ必要もない。目標を持ち、
日々の授業や部活動を懸命に取り組むこと。先輩
と後輩の間に立つ2学年は、いわば全校生徒の屋
台骨である。そういう意識を生徒に持たせる事を
教員間の共通認識として、令和6年度第2学年を
スタートした。

[学年・クラス目標について]

第2学年は、進路決定においても部活動におい
ても高校生活3年間で、大きな決断・変化が必要
な時である。そのため、日常生活から将来への意
識、また人間関係に対する感性を養っていく必要
がある。何をやるにしても意識的な鍛錬が必要と
なろう。ただ、根本にあるのは各生徒の純粋な目
標意識であり、支えてくれる周りの人たちに対す
る感謝の気持ちだと思う。

そういう事を踏まえ、学年スローガンは昨年度
に引き続き

『西高生としての自覚を持つ～学習三原則の確立
(生活を正す、目標を持つ、継続する)～』とした。
そして、その心構えとして、

1. 学習三原則に基づいた健全な高校生活を送る
2. 集団の中での自分の役割を考えられるようにする
3. 自分が輝ける場所を発見する
4. 他者を思いやり、仲間との連帯感を深める
5. 善悪の判断がしっかりとでき、ルールやモラルを守る

学年スローガンを掲げた上で、上記の5点をこ
の1年間、教員間の共通認識として、2学年の生
徒たちへ浸透させることが我々教員の努めである。
次に、各クラス目標を紹介する。

F組 『考える葦』

G組 『お互いを高め合い、認め合う』

H組 『自律』

I組 『素直 謙虚 感謝』

J組 『自分に厳しく!』

K組 『I' MPOSSIBLE』

L組 『和敬清寂』

[総括]

今年1年、どんな場面であっても、自分の周り
にいる仲間たちを大切にし、その絆を深め、最高
の思い出を作ることの必要性を訴えてきた。日常
の高校生活、部活動、補習はもちろん、特に学校
行事では、クラスメイトとの触れあいを大切にす
るよう声を掛けてきた。高山市内班別自主研修、
西高祭、体育祭、そして2学年最大のイベント北
海道研修旅行と、仲間との絆を深めるその機会で
は、それぞれが目を輝かせながら楽しんでいる風
景があった。コロナ禍も明け、全ての行事が復活
して2年目。中学時代には味わえなかった、仲間
との触れあいを存分に楽しみ、最高の思い出を
作っていく姿が、ここ高山西高校に戻ってきた。
さて、いよいよ次は最高学年の3年生となる。諸
先輩たちが培った伝統を引き継ぐと共に、さらに
進化させていく学年である。部活動では集大成
となる大会を控え、卒業後の進路をみすえた受験
が始まり、中だるみと言われる2学年であるが、
個々に目標を持って取り組んでいる姿には頼もし
さを感じた。来たるべき最終学年に向け、今後も
教員・生徒一丸となり、有終の美を飾る準備をし
ていきたい。

第3学年の取り組み

3学年主任 桂川 剛士

今年度の3年生は他の学年よりも少ない151名だったが、個性的な生徒が多く、非常に賑やかな1年であった。生徒たちが日々の授業や部活動などへの取り組みを通して自らの能力や人間性を磨き、その集大成として進路目標を達成することができるよう、学年団としてサポートしてきた。

【学年目標およびクラス目標】

令和6年度の学年目標は2つある。1つは、この学年が1年次から掲げ続けてきた『百術不如一清』。もう1つは、これまでに各生徒の積み上げた努力が具体的な結果に繋がっていくことを願って定めた『進路目標の実現』である。

また、各クラスの目標は以下の通りである。どの目標も、各担任の教育理念や生徒に対する願いが込められたものとなっている。

F組 山口 「黙習」

G組 桂川 「自分の言動に責任をもち、
他者の人格を尊重する」

H組 菅沼 「ルールを守る、
やるべきことをやる」

I組 打江 「自立」

J組 下畑 「生活を正す！己に厳しく！
感性を高め！謝意の心を！」

K組 川上 「気持ちの良い姿勢と態度をとる」

【今年度の振り返り】

第3学年では、教員と生徒との日常的なコミュニケーションを重視した。SHRや日記、学級通信や学年集会など、様々な機会を生かして生徒との信頼関係を構築していくためには、日々の指導を積み重ねていくしかないと考えたからである。生徒たちに対して規律の意味を解き、前向きなメッセージを発信し続けることを、教員間で確認し、その実践に努めた。

日々の忙しさに流され、小さなことをおろそかにしていると、順調に進んでいたことが滞るようになり、大きな問題となって返ってくる。気になることがあれば、それをなおざりにせず、誠意をもって丁寧に対応していかなければならない。必要であれば周囲にも協力を依頼し、生徒のために最善を尽くそうとする姿勢が肝要である。自戒の念を込めて、ここに記しておく。

一方、生徒たちは、3年生としての自覚を持ち、文化祭や体育祭などの学校行事を大いに盛り上げ、校内に活気を与えてくれた。様々な課題や悩みを抱えながらも、友人と切磋琢磨しながら自分自身を磨き、体育館やグラウンドで生き生きと躍動する生徒の姿からは、たくましい生命力が感じられた。その力を正しく使い、自分や自分の周囲の人々を幸福にできる人間に育てて欲しいと切に願う。

偏差値の高い大学に合格できるだけ知識や思考力、全国大会のような大舞台で活躍できるだけの体力や技術を身に付けた生徒は、これまでに地道な努力を積み重ねてきたに違いない。その努力は賞賛に値する。しかし、そのようにして身に付けた力も、使い方を誤れば多くの人々を傷つけることになる。

私たちは、自分自身の力の使い方について、責任を持たねばならない。これからもその自覚を忘れることなく生活していきたいと思う。

2. 文 友

令和6年度「探究飛驒」 ぎふグローバル人材育成推進事業における実践報告 高山西高等学校の取り組み「飛驒から世界へ、世界から飛驒へ」

本校2年生が取り組む探究活動も今年で11年目を迎えることができました。これもひとえに、慶應義塾大学の皆様や活動に快くご協力いただける地域の皆様のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

昨年度から特進Ⅱクラスの参加が始まり、人数が増えたことで活動がさらに盛り上がり、個性豊かな探究活動となっています。今年度は、これまでの研究発表にとらわれることなく、自分たちの興味・関心を大切にテーマを選ぶ班が多く見られました。その結果、これまで題材になっていなかったテーマも多く取り上げられています。新たな視点での発表を聞けるのではないかと、私たちも楽しみにしています。

新型コロナウイルスの影響により、一人一台の端末を活用する機会が増えたことから、生徒たちはGoogle Workspaceをうまく活用しながら活動に取り組んでいます。Googleドキュメントで共同編集を行い、効率化を図るほか、YouTubeから視聴率を調査して世間の関心を分析したり、Googleフォームでアンケート調査を行い、Googleスプレッドシートにデータをまとめて集計したりするなど、目的に応じた使い方ができていました。特別な指導をしていないにもかかわらず、生徒一人ひとりが自分で考え、技術を効果的に活用している姿には非常に驚かされました。

今年度も、2年F組と韓国の高校生との交流を実施しました。その中で、生徒たちはプレゼンテーションを英語に翻訳し、韓国の高校生に堂々と発表する姿を見せてくれました。英語に翻訳する際には、韓国の高校生に分かりやすく伝わるよう、英語の先生に確認を取りながら積極的に作業を進めていました。英語力が十分ではない生徒も、一生懸命に伝えようとする姿勢が相手に伝わり、交流を通じて友情が育まれる様子が見られました。



また、今年度から独立行政法人国立青少年教育振興機構（国立乗鞍青少年交流の家）主催の全国高校生活動顕彰制度「地域探究プログラム」に、1年F・G組が参加しました。本プログラムは、高校生が地元で実践活動を行い、主体的・対話的に深い学びを追求することを目的とした探究活動です。この活動では、発表スライドと活動報告書を制作し、学内で活動報告発表会を実施しました。その後、国立青少年教育振興機構の審査を経て選ばれたグループが地方ステージ（地方ごとの選考会）に進出し、さらに勝ち進むと全国ステージに挑むことができます。生徒たちは全国ステージ出場を目標に意欲的に活動

していました。

今年度は、飛騨の大自然の魅力を学ぶため、国立乗鞍交流の家で野外活動や森の活用法を学び、街づくりをテーマにしたワークに取り組みました。その後、地元飛騨で新たな挑戦を行い、地域を盛り上げている社会人（飛騨人）の方々にお話を伺い、その活動をテーマに探究を進めました。多くの飛騨人の方々にご協力いただいたことで、生徒たちは知らなかった世界を知り、多くの学びを得ることができました。また、発表に向けてのインタビューやミーティングを通じて、社会人の考え方や仕事に対する姿勢を学び、発表や報告書を制作しました。その結果、1月11日・12日に国立能登青少年交流の家で開催される地方ステージに、10グループ中7グループが進出を決めました。



今年度の探究活動に際し、多くの方々にご協力をいただきました。この場をお借りして、改めて心より感謝申し上げます。現在、新教育課程では探究活動が必須となり、社会では身近な課題を発見し、仲間とともに解決策を考え、それを発信する能力が求められています。生徒たちが将来、社会で活躍するための力を身につけられるよう、本校としてもより良い探究活動を目指して取り組んでまいります。今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3. 生徒活動報告

生徒会活動

高山西高校生徒会活動の1年

打江 勇太郎

高山西高校の活動は1年を通して大きく2つの行事で構成されている。それは6月の西高祭と9月の体育祭である。今年も昨年新型コロナウイルス感染症が第5類へ引き下げられたこともあり、制限を設けつつもコロナ禍前に行っていた文化祭や体育祭に近づいた状態で実施をすることができた。生徒会執行部の生徒も昨年を超える西高祭や体育祭にするにはどうしたらいいのかと悩むことが多くあった。今年度は熱中症対策を生徒会の生徒が試行錯誤し、安全でより記憶に残る西高祭、体育祭を創っていくことへの思いが込められた学校行事を展開することができた。

西高祭では、「熱盛」というスローガンの下、西高祭実行委員長である2年G組の岩堤あす香さんを中心に、生徒会執行部が企画・運営を行った。中でも大切にしてきたのは、3年生の思い出に残る文化祭にしようであった。企画内容は、2、3年生はステージ企画、1年生は展示企画とした。内容は昨年をベースにし、午後には有志企画と2年生のステージ発表を行った。午前は3年生の発表の時間とし、全校生徒、保護者が見守る中、堂々たる演技やダンスを披露してくれた。午後は自由観覧とすることで、生徒自身が選んで行動する時間を増やした。外部団体からのバザーの数も増やし、唐揚げや、だんごなどを仲間と共に食べ、観覧も大いに楽しんだように見えた。3年生の思い出に残る西高祭を目標にしていた生徒会にとって、全校生徒の準備に取り組む姿勢を含め、手応えと達成感を感じる西高祭となった。

体育祭では、「熱闘」というスローガンを掲げ、西高祭同様「熱」という文字を入れ、準備してきたことを全て出し切り、熱い闘いを繰り広げて欲しいという思いが込められている。体育祭実行委員長の2年K組熊崎暁くんを中心とした生徒会執行部は、各団団長とも連携し、練習の行い方を含

め夏休み前から活動を行った。昨年同様の体育祭ということで、今年はより一層教員と生徒の意思疎通が円滑に進むようになり準備段階から充実した時間を過ごすことができた。体育祭の1番の目玉である応援合戦は昨年の5分の発表から8分に伸ばし、昨年を超える応援にしようと、各団長やサブリーダーが中心となり準備を進めていた。競技中の放送案内や実況も生徒会でいり体育祭を盛り上げるという思いと、今年の姿を来年度の生徒会に引き継げるよう、準備を怠らず1つ1つ確認作業を行った。

絶好の体育祭日和となった体育祭当日、491名の保護者関係者が見守る中、各競技に全力で取り組む選手、その中で必死に応援する団幹部を中心としたサブリーダー、そしてその裏で円滑な運営を行う生徒会メンバーや体育祭実行委員会の支えがあった。この日に至るまでに重ねたりハーサル練習の成果もあり、大きなトラブルもなく無事終えることができた。閉会式では、選手たちのやりきった顔や笑顔であふれる顔が見て取れ、素晴らしい体育祭であった。

昨年は3年ぶりの保護者観覧の行事ができ、それを経験し昨年以上の行事を創ろうと模索し、準備を進めてきた生徒会執行部。この行事ができたのも、団幹部、全校の一人一人の生徒たち、学校の協力やご家族の方々の支援のおかげだと感じております。今後も学校の生徒一人一人が参加し、苦しいことや楽しいことを共有し、また協力し合いながら生徒たちが行事を通じて多くのことを学んでいけるように感じております。もちろん教員においても、その中で学ぶことが多くあり、学校全体で取り組んでいける行事を大切にしていきたいと思っております。

部活動（五十音順）



アーチェリー部

杉浦 成利

令和6年度は、男子は3年生5名、2年生6名、1年生1名、女子は3年生2名、2年生3名、1年生4名の合計21名でスタートいたしました。

今年度は、県総体での成績により、東海総体に男子団体が出場、8月に長崎県長崎市にて開催された全国高校総体には、3年男子1名が個人出場を果たしました。

新人戦・秋季大会には1・2年生が参加をし、2年男子1名が全国選抜大会の出場権を獲得しました。春に大きく羽ばたけるよう、貴重な時間を大切にして活動していきます。

また、日頃の活動に保護者の皆様、学校関係者の皆様のご理解、ご協力に感謝し、期待にこたえられるよう、生徒ともども、一層の努力をいたします。

[令和6年度の主な成績]

・岐阜県高等学校総合体育大会

(大垣市アーチェリー場)

個人 女子	14位	川上 紗夜 (3 I)
	19位	田上 千紘 (3 I)
	20位	吉嶋 葵 (2 H)
	23位	岩畑 綾花 (2 J)
	24位	三橋 真歩 (2 I)
男子	1位	河合 朔哉 (3 I)
	7位	舛井 蓮 (3 H)
	8位	浅尾 拓泉 (2 K)
	9位	長瀬 楓 (2 K)
	14位	羽根 圭祐 (3 J)
	19位	船渡 春希 (2 K)
	20位	笠下 誇稀 (3 I)
	21位	堀内 悠汰 (3 I)

・東海高等学校総合体育大会

(大垣西高等学校グラウンド)

個人 男子	42位	舛井 蓮 (3 H)
	39位	浅尾 拓泉 (2 K)
	44位	長瀬 楓 (2 K)
	51位	羽根 圭祐 (3 J)
団体 男子	10位	

・全国高等学校総合体育大会

(長崎県ベネックス総合運動公園陸上競技場)

個人 男子	167位	河合 朔哉 (3 I)
-------	------	-------------

・岐阜県高等学校秋季アーチェリー大会兼選抜予選会 (大垣市アーチェリー場)

女子	9位	三橋 真歩 (2 I)
	12位	吉嶋 葵 (2 H)
	15位	岩畑 綾花 (2 J)
男子	1位	長瀬 楓 (2 K)
	3位	浅尾 拓泉 (2 K)
	5位	船渡 春希 (2 K)

・岐阜県アーチェリー新人大会

(大垣市アーチェリー場)

70m 女子	8位	三橋 真歩 (2 I)
	12位	吉嶋 葵 (2 H)
	15位	岩畑 綾花 (2 J)
男子	1位	長瀬 楓 (2 K)
	3位	浅尾 拓泉 (2 K)
	5位	船渡 春希 (2 K)
30m 女子	3位	田中望仁香 (1 I)
	4位	井ノ下結韻 (1 K)
	7位	水口 結彩 (1 K)
	9位	番場 絢 (1 K)
男子	1位	渡辺 琳久 (2 I)

ウインドアンサンブル部

永瀬 敬至

この原稿を書いている約1年前、台湾・嘉義市国際管楽節に参加した。コロナの期間を経て4年ぶり。現地の学校2校との交流や2回の屋外コンサートは大成功に終わり、国境を越えた音楽と子どもたちの交流が、いかに尊いものであるかを再度学ぶこととなった。

3月9日に卒業生お別れコンサート2024を開催した。4年ぶりに開催した昨年に引き続きの開催となり昨年に引き続き会場は超満員。ホールの方から、毎年のコンサートを楽しみにしているお客様が多いと伺った。熱い想いが込み上げてきた。

コロナで苦勞した世代、演奏で卒業の門出を祝うことが出来た。本当に良かった。

新年度は、20名の1年生新入部員を迎え、2年生18名、3年生8名の総勢46名での活動がスタートした。

8月に第37回定期演奏会を開催した。ようやくコロナの心配が無く開催が出来た。

吹奏楽コンクールは県大会で金賞を受賞。東海大会出場を決めた。

今年度も極力地域との交流に力を入れた。中学校との合同練習等、少子化が進む中、本校ウインドアンサンブル部が地域の中で果たす役割がさらに大きくなるものと思える。

保護者の方々が中心となって、ウインドアンサンブル部の後援会を発足させてから13年。卒業生や卒業生の保護者、地域の方々との連携による活動がより活発になった。保護者会の方々には、部員たちを安心した環境で活動に取り組めるようご支援いただいている。感謝の一言に尽きる思いである。また、部員や保護者の方々を通じ、今後も積極的に地域と交流する活動を進めていきたい。

最後に、日頃の活動にご理解、ご協力くださる保護者の皆様をはじめ、学校関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

令和6年の活動記録

- 1月 アンサンブルコンテスト岐阜県大会
F14 C14 Sax4・金賞 打楽器3・銀賞
- 2月 アンサンブルコンテスト東海大会
F14 C14・銀賞
中部日本個人重奏コンテスト岐阜県大会
東星来(クラリネット)・銀賞
- 3月 卒業生お別れコンサート2024
中部日本個人重奏コンテスト本大会
Sax4・銀賞
- 5月 新穂高ロープウェイ春の高原演奏会
岐阜私学吹奏楽発表会
- 7月 吹奏楽コンクール 飛騨地区大会
高山市長賞
岐阜県吹奏楽コンクール東部地区大会・
金賞
- 8月 清流の国ぎふ総文2024
全日本吹奏楽コンクール 岐阜県大会・
金賞
第37回定期演奏会
全日本吹奏楽コンクール 東海大会・
銅賞
- 9月 岐阜県マーチングコンテスト・金賞
- 11月 第26回全日本高等学校吹奏楽大会 in
横浜 実行委員長賞
- 12月 やまゆり学園クリスマス交歓会

剣道部

前川 矩英

今年度の剣道部は男子20名（3年生9名、2年生7名、1年生4名）、女子14名（3年生4名、2年生6名、1年生4名）マネージャー2名の計36名で活動をスタートしました。今年の剣道部は、11月の新人戦で男子団体優勝。女子団体ベスト8、女子個人1位小山（3K）・2位石原（2L）という成績からスタートしました。男子は団体で優勝できましたが、個人戦が振るわず。女子は個人戦は1・2をとったが団体戦では振るわず。男女ともに、もやもやの残るスタートでした。男女ともに「力があるのに準備不足・・・、なんとかなるさ精神」この部分が先行してしまい、なかなかまっすぐ目標に突き進むことが難しい代という印象でしたし、この部分の改善がこの代のテーマでした。年末・年始全国の強豪校と切磋琢磨させていただき着々と力をつけてきた選手たちでしたが、まだこの代のテーマを払拭できるところまではいけませんでした。しかし、試合内容は徐々にしまりのあるものになっていきました。そして年が明けて迎えた全国選抜予選。当日の選手たちの状態は良く、アップを見た段階である程度の手応えがありました。その手応え通り男女アベックで優勝し、全国選抜への出場権を獲得する事ができました。男子は苦しい試合展開が続きましたが、一つ一つをチームワークで乗り切った印象です。女子の試合内容は練習してきたことを強気でそのまま出せたことに尽きました。男女ともにその勢いのまま東海選抜大会に入りました。東海大会でも予選でアベック優勝していた事が自信になっていたようで、東海大会も本校史上初男女アベック優勝いたしました。これはもしかしたら全国大会でも・・・と期待が膨らむなか、迎えた全国選抜。やはり全国大会は簡単ではありませんでした。男女とも1回戦敗退でした。私の指導力不足という悔しさもありましたが、「力を出せなかった・・・」「こんなはずでは・・・」悔しさが生徒達に強く残っていたことを今でも覚えています。新年度4月に入り、男女ともに「夏こ

そは」という気持ちでスタートいたしました。例年通り、ゴールデンウィークは島原遠征で鍛えていただき、5月に行われたインターハイ予選では男・女団体、男・女個人で優勝を目指しインターハイへの出場権を獲得するべく、部員・保護者総動員で大会に臨みました。しかし男子はここの一番で力を出せず、決勝で惜敗しました。女子は全国選抜大会以降選手達に自信が付き、「力をそのまま出してくれば・・・」と思っていました。そんな中迎えた決勝戦。緊張感が高まる中、選手達が本当に頑張ってくれました。女子団体4連覇でした。監督席に座って試合を見ていましたが、男女とも、教え子たちの力強い試合内容と、相手を飲み込むような気迫、また総合的な人間の成長を見ることができ、目頭が熱くなったのを覚えています。また、個人戦では小山詩乃（3K）が準優勝という成績を残してくれました。新チーム発足から悔しい思いをたくさん経験し、自分達に足りないものは何だろうと自問自答を繰り返していた生徒達がこの半年間自分とチームの課題に必死に取り組んできた結果であると思いますし、なにより3年生がしっかり責任を果たした結果であったと強く感じました。

8月に行われた大分インターハイでは女子団体では予選リーグ、盛岡白百合高校・守谷高校という組み合わせでした。両校力のあるチームでしたが、特に守谷高校はインターハイ前に行われた玉竜旗において2位という結果を出した優勝候補でした。対守谷戦、緊張感のある展開が続きましたが、全員が持てる力を出し切り、引き分け。盛岡白百合高校には勝利し勝者数で守谷高校に勝利、予選リーグを突破することができました。これは本校女子剣道部初の快挙でした。その後、本大会で優勝した中村学園女子と対戦し、大将戦の末2-1で惜敗しました。負けはしましたが本当に内容が大変よく、客観的にみても日本一になった中村学園女子を一番追い詰めた試合であったように思います。ベスト16でした。女子個人では団体の悔しさを晴らすべく、小山詩乃（3K）が自分の長所を生かしながら戦った結果、インターハイベスト16という成績を残してくれました。

その後に行われた国民スポーツ大会では、松

谷海志(3H)・小山詩乃(3K)・多和田妃紗(3K)・清水恋(3H)・山崎ゆりね(3H)が岐阜県代表として東海ブロックに出場しました。男子は負けてしまいましたが、女子は見事優勝し本大会出場を決めました。本大会では準々決勝で福岡県に2-1で惜敗し5位という成績でした。

今年の3年生は私が赴任して7回目に声を掛けさせてもらった生徒達です。男女共入学当初、実力は足りませんでした。目標がしっかりしていた分、地道にコツコツ努力を重ねてくれて実力をつけてきたように思います。特に人間性や物の考え方、準備の仕方等で日々指導を受けていましたが、少しずつ成長してくれたと思います。11月に行われた県新人戦では男子個人で大野(1L)が2位・女子個人で鳥山(2H)が2位・女子団体が優勝という成績を残してくれました。しかし1・2年生はこの結果に満足する事無く、日々弱い自分と向き合い、2月に控えている全国選抜予選に向けて着々と自分磨きを必死に行っています。昨年から取り組み始めた原田メソッド・フィジカル面の強化も継続して定期的に指導にきていただいています。あらためて本校剣道部は保護者を含め、たくさんの方々に支えられて成り立っていると強く感じる事ができた1年間でした。本校剣道部に関わっていただいているすべての方に感謝申し上げます。

今年は例年より寒く、雪がちらつく場面もいつもより早く感じます。本格的に冬を迎え、部は新チームとなり部員たちは自分達の甘さと日々向き合いながら、目標に向かい必死で稽古に励んでい

ます。「守破離」の部訓のもと、「志ある処に、必ず道あり」という精神で日々稽古に励んでいます。冬に力を蓄え、春に皆さんに恩返しの際報をお届けできるよう、精一杯稽古に励んでくれることと思います。

主な戦績

岐阜県高等学校総合体育大会

男子団体	決勝	高山西	0-3	済美	準優勝
女子団体	決勝	高山西	4-0	済美	優勝
女子個人		小山	詩乃(3K)		準優勝

東海総合体育大会

男子団体					ベスト8
女子個人		小山	詩乃		優勝

全国高等学校総合体育大会剣道大会

女子団体					ベスト16
女子個人		小山	詩乃(3K)		ベスト16

飛騨地区新人体育大会

男子団体					準優勝
女子団体					優勝

男子個人

優勝	増田	篤豊	(2J)
準優勝	松岡	和	(2K)
5位	金井	晴太	(2L)

剣道女子団体優勝の高山西



剣道男子団体優勝の済美



男子、済美V 女子は高山西

(アテナ工業アリーナ)

団体が行われ、男子は済美が2年連続2度目、女子は高山西が4年連続5度目の優勝を果たし、全国総体の出場権を獲得した。

決勝で男子の済美は高山西を、女子の高山西は済美をと

【男子】(△団体▽準々決勝)

高山西2-1関商工、美濃加茂1-1(代表勝)大垣北、中京4-1県岐阜商、済美3-0大垣商、準決勝1高山西3-1美濃加茂、決勝2-1中京

▽決勝

済美4-0高山西

【女子】▽準々決勝

高山西5-0関、大垣北3-1県岐阜商、済美4-0岐阜聖徳、大垣商1-0都上▽準決勝

高山西4-1大垣北、済美2-0大垣商

▽決勝

高山西4-0

○多和田、メー、川渡、島

○清水、山、メー、川渡、島

○高山西、松、浦

○済美、美

5位	大野 温史	(1 L)
女子個人		
優勝	石原 彩伽	(2 L)
準優勝	佐藤 凜和	(2 J)
3位	飯山 結美	(2 H)
4位	鳥山 煌月	(2 H)

第61回岐阜県高等学校剣道新人大会

男子団体				
準々決勝	高山西	2 - 3	済美	ベスト8
男子個人	大野 温史	(1 L)		2位
女子団体				
決勝	高山西	5 - 0	済美	優勝
女子個人	鳥山 煌月	(2 H)		2位

第71回国民スポーツ大会東海ブロック予選

少年男子の部

岐阜県チーム (選手: 松谷海志)

岐阜県	3 - 0	愛知県
岐阜県	1 - 1	静岡県 (代表戦にて敗退)
岐阜県	1 - 3	三重県

1勝2敗で3位、ブロック敗退

少年女子の部

岐阜県チーム
(監督: 前川矩英、選手: 小山詩乃・清水恋・多和田妃紗・山崎ゆりね)

岐阜県	3 - 1	愛知県
岐阜県	3 - 0	静岡県
岐阜県	3 - 1	三重県

3勝で、1位、

第71回国民スポーツ大会

少年女子の部

岐阜県チーム
(監督: 前川矩英、選手: 小山詩乃・清水恋・多和田妃紗・山崎ゆりね)

岐阜県	3 - 0	石川県
岐阜県	1 - 2	福岡県

5位入賞

硬式野球部

硬式野球部 副部長 谷川 真祥

硬式野球部設立10年目となる令和6年度の硬式野球部の活動も、大変に実りあるものとなりました。これも応援して下さる方々とこれまでのOB達、保護者、学校の関係者のお陰であります。

今年度最初の大会であった春季岐阜県大会では、地区予選を突破し、県大会に出場することが出来ました。しかし、県大会では、2回戦の大垣日本大学高等学校との試合で完敗を喫し、2回戦敗退。三連覇を懸け臨んだ飛騨地区高等学校野球優勝大会では、初戦で飛騨高山高校に敗れ、悔しさの残る大会となりました。集大成となる夏の選手権大会では、初戦が県内で圧倒的な力を持つ、県立岐阜商業高校との対戦でした。エース高橋が力投を見せ、小田がつなぎ5失点に抑えてくれました。打線は、相手を上回る安打数を記録しましたが、ここぞの一発が出ず1-5で惜敗となりました。非常に悔しい敗戦となりましたが、夏の大会で勝ち進むためにはまだまだやらないといけないことが沢山あると、改めて勉強させられました。

今年も飛騨から夏の甲子園出場という悲願は達成することはできませんでした。しかし、本気で甲子園に向かい、費やした多くの時間と経験、作り上げた伝統は必ず今後の高山西高校硬式野球部にとって、また3年生一人一人の人生において活かされる事でしょう。

さて8月からは新チームが発足しました。春からスタメンで出ていた者も多く、新チーム最初の秋季大会では、地区シード権を獲得し、3位。9月に行われた県大会では、1回戦の可児工業をコールドで勝利したものの、ベスト8をかけた岐阜総合戦では2-4での敗戦。

期待が大きかった分とても悔しい敗戦でした。技術はもちろん、人として、野球人として非常に未熟なこの1,2年生がどこまで成長してくれるのか楽しみです。

新海前監督から萩尾監督へと変わり新体制で勝負する西高校野球部。寒い冬を乗り越えたくましく成長した姿を見せられるように精進していきたく

いと思います。最後になりますが、今年も西高校野球部の活動にご支援、ご協力いただきました多くの方々に感謝申し上げます。有難うございました。

大会名 第71回春季岐阜県高等学校野球大会						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
1回戦	高山西	9	—	2	中津商業	2回戦 敗退
2回戦	高山西	0	—	10	大垣日大	
大会名 第39回 飛騨地区高等学校野球優勝大会						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
1回戦	高山西	2	—	3	飛騨高山	1回戦敗退
大会名 第106回全国高等学校野球選手権記念岐阜大会						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
1回戦	高山西	1	—	5	県岐阜商業	1回戦敗退
大会名 第77回秋季岐阜県高等学校野球大会 中濃・飛騨地区シード決定戦						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
2回戦	高山西	8	—	4	益田清風	第3位
3回戦	高山西	6	—	4	武儀	
準決勝	高山西	0	—	3	関商工	
大会名 第77回秋季岐阜県高等学校野球大会						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
1回戦	高山西	16	—	0	可児工業	2回戦 敗退
2回戦	高山西	2	—	4	岐阜総合	
大会名 第32回岐阜県私立高等学校親善野球大会						
回戦	自	得点	—	得点	対戦校	最終結果
1回戦	高山西	11	—	6	岐阜聖徳	ベスト 8
2回戦	高山西	5	—	7	岐阜第一	

以上

茶華道部

元田 尚美

茶道（裏千家） 水木 中山 令子先生
華道（池坊） 金 花木 教子先生
部長 桐野 真里花（3J）
副部長 長塚 梨夏（3H）

- 6月 茶道裏千家許状初級取得（3年生）
- 6/18 西高祭にてお茶会開催と3年生の生け花展示
- 7/6 本町二丁目商店街歩行者天国イベント参加 山桜神社にて呈茶

- 8/17,18 オープンキャンパスでの呈茶
- 9月下旬 第27回学校華道インターネット花展への応募（3年生）
- 9/29 池坊巡回講座2024受講
- 10/20 中学生一日体験入学での呈茶
- 11月 華道池坊職位取得（1年生）
- 11/28 シンガポール留学生が茶道を見学、体験

今年度は3年生5名、2年生5名、1年生3名の計13名で活動しています。講師の先生方には、きめ細やかに温かいご指導をしていただけることに感謝いたします。今年度の主な活動は上記の通りです。茶道では5年ぶりに通常の活動が再開できたことをうれしく思います。西高祭では、今年元旦に大地震に見舞われた能登半島復興支援を祈念したお茶会を企画しました。石川県の伝統工芸品などを用いたお茶会を通して、被災された方々に心を寄せる機会になればという思いで開催しました。お道具には輪島塗のなつめと九谷焼の水指を、お菓子には金沢銘菓 福うさぎを用意しました。生徒や保護者の方、先生方に来場していただくことができました。また、ちょうどテキサスからの留学生が来校していたため、留学生にも抹茶を飲んでもらい、急遽、お茶を点てる体験をしてもらうことができ、留学生との交流を深めることもできました。

7月6日（土）、本町二丁目商店街で開催された歩行者天国イベントの一つとして呈茶席を設けさせていただきました。株式会社まちづくり飛騨高山の大林雄一様と有限会社 松風園まつの茶舗 松野洋平様、高山商工会議所のご協力により、初めて実現した企画です。現部員にとっては校外で行う初めてのお茶会であり、場所は普段、一般の方は入れない山桜神社ということで、まずは皆で参拝し、緊張した面持ちで臨みました。七夕前日でしたので、入り口には笹飾りを飾ってお客様をお迎えしました。「涼」をテーマにしたお茶席では、お菓子は水紋を象ったゼリーに、折り紙で作った金魚を添えて、ささやかなプレゼントにしました。おかげさまで親子連れや地域の方々、外国人観光客と多くの方々に足を運んでいただくことができました。中には「抹茶が大好きで来まし

た。西高校に入りたいと思っています。」と言ってくれた小学生の参加もあり、大変驚きました。生徒たちもお客様からの「おいしい！」の一言がうれしかったようです。今後もこのような地域と連携した企画に積極的に参加していきたいと考えています。



昨年に続き、11月には来校したシンガポール留学生8名が茶道を見学、体験しました。最初はお互いに緊張した様子でしたが、お茶を点てる体験をきっかけに打ち解けたようで、日本の伝統文化に触れ、交流を深めることができました。

このような経験を積むことで、部員たちは確実に周りを見て、動く力を身に付けています。今後もおもてなしの心、お道具を大切に扱う心を養っていきけるよう、日々のお稽古に精進していきたいと思っています。

華道では9月29日(日)、高山市民文化会館小ホールで行われた池坊巡回講座に参加しました。



「未知への好奇心—自由花をもっと知ろう」をテーマに、デモンストレーションを交えた講義を受講しました。生け花の基本である自由花に焦点を絞った講座で、親しみやすく、斬新なアイデアを学ぶことができました。

12月にはクリスマスリース作りをしました。土台のリースを作った後、一人ひとりが準備したオーナメントを飾ることで、個性豊かな作品に仕上がりました。通常のお稽古に加え、このような季節感のある活動も大切にしていきたいです。

今後も茶道、華道ともに「基本はしっかり、楽しい部活を！」をモットーに部活動に励んでいきたいと思っています。

サッカー部

池上 正巳

サッカー部は、今年度3年生が2人、2年生7人、1年生20人、マネージャー1人の30人で活動してきた。今年度は、1年生が20人入部したが、3年生が2人で、G3リーグは余裕で戦えたが3年生のいる力のあるチームには、苦戦した。また、地区大会では、3大会とも決勝で、吉城高校に負け2位であった。

IH地区予選では、2位で県大会に出場、県大会1回戦では決勝まで進出した中京高校に2-7で負けた。選手権大会は、2回戦までは順調に勝ち上がったが、3回戦でG1の多治見北と対戦し、試合内容は悪くなかったが、力及ばずベスト16に入れなかった。地区総体では、2連覇を目標に臨んだが準優勝で終わった。Gリーグでは、全勝で1位となり、G2参入戦に進出したが、相手チームはまだ3年生が残っており、来年度もG3リーグとなった。

新人大会地区予選は、まともや吉城高校に負け2位で県大会出場となった。

来年度は、G3リーグ、IH・選手権を戦っていき、G2昇格、IH・選手権県ベスト4を目標に良い成績を残したい。

本年度の大会結果

◇インターハイ地区予選		優 勝
第1節	13-1	高山工業
第2節	0-4	吉 城
第3節	2-0	飛驒高山
第4節	4-0	斐 太
◇インターハイ県予選		1回戦
1回戦	2-7	中 京
◇地区総体		準 優 勝
準決勝	3-3	飛驒高山
決 勝	0-1	吉 城
◇岐阜県ユースリーグ (G3リーグ)		1 位
第1節	4-1	多治見西
第2節	4-0	関 商 工
第3節	6-1	麗澤瑞浪
第4節	5-0	中津川工業
第5節	5-0	東農実業
◇岐阜県ユースリーグ (G2リーグ参入戦)		4 位
第1節	0-2	美濃加茂B
第2節	0-1	富 田
第3節	1-3	大垣日大B
◇全国選手権大会県予選		3回戦
1回戦	5-0	羽 島 北
2回戦	2-1	中 津
3回戦	0-2	多治見北
◇新人大会地区予選		2 位
準決勝	3-1	斐 太
決 勝	0-4	吉 城

※ 県大会出場

書道部

脇田 修宏

三年生8名、二年生4名、一年生4名の計16名が在籍しています。本年度より書道部の顧問をさせていただくことになりましたが、私自身、書道の経験は浅く、書道の指導経験は皆無であったため、技術指導や出品の準備などは、引き続き神谷先生にお願いする一年でした。

今年度は、岐阜県が開催県となる全国高等学校総合文化祭が開催されました。各校の書道部が共同作品と数名の作品を出品しました。本大会は下呂市で開催されたこともあり、補助員として参加しました。狭き門ですが、本校書道部からも入賞できるような作品を出品できるよう頑張っていきたいと思います。

また、創立60周年記念講演にお越しくくださった書家の茂住菁郵先生が、作品制作のご指導をいただきました。飛驒市出身というご縁もあり、故郷に帰省された際などにご指導いただけることとなりました。来年の全国高等学校総合文化祭までの短い期間ではあるが、部員たちにとっては貴重な経験となるので、多くを学んでくれることを期待しています。

展覧会などへの出品のみならず、書道パフォーマンスや地元のイベントへの参加など、活動は多種多様であり、盛んに行うことができました。今後も、さらなる積極的な作品作りや諸活動への参加など、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

情報ビジネス部

荒井 啓太郎

部活動の目標は、「日本情報処理検定協会の検定8種目すべてにおいて1級以上の取得」そして、夏に行われる「全国パソコン技能競技大会全国制覇」の2つである。日々の努力の積み重ねによって技術は向上しており、休日の強化練習では心身ともに成長することができていると感じられ

る。今年度も全国制覇をするという高い目標を掲げて平日や休日の活動にも力をいれている。大会直前には、乗鞍青少年交流の家にて3日間の合宿を行った。精神的にきついときもあったが、「ライバル校よりも多くの練習をしているのだ」という気持ちを持ち、互いに切磋琢磨し練習を行うことができた。その中で生徒一人一人の意識も向上し、「優勝する」という強い気持ちが芽生え、速さと正確性を兼ねそそえた技術を追求するようになった。

全国大会では日本語ワープロの部に、3年生3名と、2年生3名の6名で出場した。今大会では、初出場の生徒もいたが、いつも通りの力を出すことができた。結果は、日本語ワープロ競技団体の部2位、個人の部においては2年生の長瀬が2位であった。悔しい結果であったが、来年に向けてチームがより結束できた。

また例年同様、ボランティア活動にも積極的に参加した。様々な世代の人々と交流し、コミュニケーション能力を高めることもできた。

今後も、「凡事徹底」という情報ビジネス部のモットーを胸に、日々の生活態度を良くし、コツコツと努力することを大切にしていきたい。そしてなにより毎日支えてくれる家族、応援してくれるOB・OGや関係者、そして地域の方々に支えられていることに感謝し、今後も練習に励んでいきたい。



全国から13団体が出場し、文書作成ソフトを基に、文書作成ソフトを案内を20分以内にとめる。書類には表や地図も付ければならぬ。1人当たり200点満点で、高得点3人の合計を競う。メン

〔全国パソコン技能大会で準優勝したので、高山西高が日本語ワープロ部門で〕
 高山西高が8月、全国パソコン技能競技大会(愛知県)の文書作成を競う日本語ワープロの部門で、3回連続の準優勝を果たした(左写真)。生徒は「精いっぱい努力谷本有紀、高村蒼衣、中井啓太(以上3年)、伊東昌汰、紙谷耀介、長瀬智煌(以上2年)の皆さんが挑んだ。全国から13団体が出場し、文書作成ソフトを基に、文書作成ソフトを案内を20分以内にとめる。書類には表や地図も付ければならぬ。1人当たり200点満点で、高得点3人の合計を競う。メン

バーのうち最高の182点をたたき出し、個人成績で2位の長瀬さんは「地図の複雑な線に苦戦しました」と振り返る。本番に向け、タイピングの力を養ったり、自分たちの作った問題で対策したりと研鑽(けんさん)を積んだ。部長の谷本さんは「悔しさもありますが、来年は優勝してほしい」と、後輩に栄冠を託した。

<大会成績等>

◎第38回全国パソコン技能競技大会 8月9日
 (金) 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)

日本語ワープロ競技 団体第2位
 谷本有紀(3I) 中井啓太(3I)
 高村蒼衣(3H) 長瀬智煌(2J)
 伊東昌汰(2J) 紙谷耀介(2I)

日本語ワープロ競技 個人第2位
 長瀬智煌



<表彰>

- ◎高山市文化芸術振興激励
 谷本有紀 中井啓太 高村蒼衣
 伊東昌汰 紙谷耀介
- ◎飛騨市全国大会等出場者激励 長瀬智煌
- ◎日本情報処理検定協会会長賞(5種目取得)
 谷本有紀 長瀬智煌 伊東昌汰 紙谷耀介
 山脇昊汰郎(1L)
- ◎日本情報処理検定委員長賞(3種目取得)
 中井啓太 岩田直也 高村蒼衣
 清水天楓(1K)

<ボランティア活動等>

◎法人ボランティアリーダー養成セミナー

5月25日(土) 26日(日)

◎上二ノ市ボランティア

8月31日(土) *台風のため中止

◎あそびの祭典in乗鞍ボランティア

10月 5日(土) 6日(日)

ソフトテニス部 (女子) //////////////

面手 啓

今年度は1年生3名、3年生4名の合計7名でのスタートとなった。県総体では団体戦・個人戦に出場し、どちらも初戦で敗退したが、団体戦では1-2の接戦まで粘ることができた。その後の国体予選では2ペアが出場し、ベスト8に入り県予選に出場することを目標としたが、その目標を達成することができなかった。また、地区総体においては、この大会が最後の大会となる3年生がよく頑張ったが、初戦で敗退した。3年生以外は全て初心者の1年生ということで、この大会に出場できるかどうか不安な状況であったが、3年生はその1年生が大会に出場することができるまでに、よく導いてくれたと思う。

夏休みからは新チームとなり、3名という少人数ではあるが、新部長・副部長を中心に意欲的に練習を重ねた。7月下旬に飛騨カップ岐阜県高校女子研修大会が開催され、フレンドリーマッチ(初心者大会)では、優勝と準優勝を飾ることができた。8月上旬には岐阜県新進大会に2ペアが出場し、新チームとして初めての県大会となった。2ペアともに予選で敗退したが、美濃地区の高校と対戦することができたということで、とても良い経験になったと思う。その後は次の公式戦、9月の新人戦に向けて練習に励んだ。

飛騨地区の新人大会では、ダブルス戦には1ペア、シングルス戦には1名のみ出場となり、初戦で敗退した。岐阜県新人大会には毎年出場していたが、個人戦は地区予選を通過することができず、また、団体戦にはペア数が足りず、今年度は

出場することができなかった。

今後は、冬の飛騨地区室内大会に向けて、特に基本練習を積み重ねていきたい。また、冬場のトレーニングでは、特にフットワークを中心に強化し、瞬発力とストロークの安定性を高めていきたい。

【本年度の大会結果】

◇インターハイ飛騨地区予選(個人)

4/20 中山公園テニスコート

1回戦

佐藤(3I)・高田(3I) 4-1 吉城

牧野(3J)・清水(3I) 1-4 飛騨神岡

2回戦

佐藤(3I)・高田(3I) 0-4 飛騨高山

12決定戦

佐藤(3I)・高田(3I) 4-2 斐太

ベスト12 県大会出場

◇インターハイ岐阜県予選(団体)

5/11 関市中池公園テニスコート

1回戦

高山西 1-2 本巣松陽

◇インターハイ岐阜県予選(団体)

5/12 関市中池公園テニスコート

1回戦

佐藤(3I)・高田(3I) 1-4 土岐商

◇国体一次予選(飛騨地区予選)(個人)

6/1 中山公園テニスコート

1回戦

佐藤(3I)・高田(3I) 4-2 飛騨神岡

清水(3I)・古瀬(1K) 1-4 益田清風

2回戦

佐藤(3I)・高田(3I) 1-4 益田清風

ベスト16

◇飛騨地区総体(団体)

7/20 中山公園テニスコート

2回戦(初戦)

高山西 2-1 飛騨高山B

◇飛騨ソフトテニスカップ近県高校女子研修大会

7/27・28 飛騨高山高校(岡本)

フレンドリーマッチ 古瀬（1 K）・井上（1 I）

- 4-1 吉城
- 4-1 高山西・飛騨高山
- 4-2 岐阜総
- 4-0 滑川 4勝 優勝
小田（1 H）・飛騨高山
- 4-3 吉城
- 1-4 高山西
- 4-2 岐阜総
- 4-0 滑川 3勝 準優勝

◇岐阜県高校新進大会（個人）

8/6・7 各務原スポーツ広場テニスコート
予選リーグ

- 小田（1 H）・飛騨高山
- 0-4 大垣商
- 0-4 岐阜総 予選敗退
- 古瀬（1 K）・井上（1 I）
- 2-4 岐各務
- 0-4 中津商 予選敗退

◇新人戦飛騨地区予選（個人）

9/7 中山公園テニスコート
1回戦
古瀬（1 K）・小田（1 K） 1-4 郡上北

◇飛騨地区シングルス大会

9/ 8 中山公園テニスコート
1回戦
古瀬（1 K） 2-3 飛騨神岡

ソフトテニス部（男子）

顧問 江黒 永寿

今年度は通常通り大会が開催されました。今年度からソフトテニス部の顧問になり、戸惑いながらではありましたが、部員たちと話し合い取り組んできた1年間だったように思います。学年の人数構成は3年1名、2年生4名、1年生6名であり、高校入学からテニスを始めた初心者がほとん

どです。練習メニューや指示に関しても、積極的に2・3年生が動き、1年生を牽引してくれたと思います。試合においては納得できる試合もあれば、悔しい思いをした試合もありますが、今後は各々の課題を克服し、来年のさらなる成長に繋げていきたいと考えています。

＜インターハイ飛騨地区予選（ダブルス戦）

4月20日＞

- 滑川・今井 1回戦敗退
- 砂原・鍋島 1回戦敗退
- 和田・井戸 1回戦敗退

＜インターハイ県予選（団体戦） 5月11日＞

1回戦 高山西 0-3 岐阜第一

＜飛騨地区総合体育大会（団体戦）7月22日＞

高山西 0-2 斐太

＜岐阜県新人大会飛騨地区予選（個人戦）

10月12日＞

今井・砂原・鍋島・和田 1回戦敗退

＜岐阜県新人大会（団体戦）10月13日＞

高山西 1-2 多治見北

卓球部

菅沼 孝司

令和6年度卓球部は、3年生4名、2年生5名、1年生3名の合計12名で活動してきました。

今年度は例年通りの大会が開催されるようになりました。大会は通常通り実施されるようにはなりませんが、なかなか思ったような結果につなげることができませんでした。しかし、生徒たちはこれにくじけることなく、目標に向かい真摯に活動に取り組んでくれております。

今年度は、コロナ禍で何年も実施できなかった夏季合宿をいつも通り再開することができました。なかなか練習に参加できなかった卓球部の卒業生

が合宿に参加し、現役生を指導してくれたこともあり、とても充実した合宿にすることができました。

今後も、高山西の卓球部を応援して頂いている方々に恩返しができるように、生徒が満足できる結果が出せるよう、日々精進していきたいと思ます。

選手自身が高山西高校卓球部員であるという自覚を持ち、堂々と試合に向う。これまで先輩方が目指し続けてきた目標を今後も達成したいというその気持ちを受け継ぐ。「目標」を掲げ達成するために「課題」を持ち、「課題」を克服するための具体的な「努力」する事によって、「結果」を出すという理論を実践し続け、「目標」を達成できるよう精進していきたいと思ます。

【今年度の主な成績】

女子

岐阜県高校総体飛騨地区予選 女子団体 準優勝
飛騨地区総合体育大会 女子団体 優勝
飛騨地区新人大会 女子団体 優勝
全日本卓球選手権大会地区予選

準優勝 菅沼 凛香 (2L)

3位 山口 連花 (2K)

東海卓球選手権大会

女子ジュニアシングルス 山口 連花 (2K)

男子

飛騨地区新人大会 男子団体 3位

ディベート部 //

堀尾 譲

4月より2年G組の生徒を中心として新体制で活動してきたが、早いもので今年の活動も終わりを向かえることとなった。特進Iクラスとして日々の学習とディベート活動との間に折り合いをつけながら練習を重ねてきたが、昨年度から対面形式の大会や練習会が復活したことは本校生徒にとっても大きな変化であった。オンライン形式の

メリットは認めつつも、やはり対面によるディベートの方が(生徒が)受けるインパクトは計り知れないものがある。

また今年度も全国の様々な学校とオンライン及び対面による練習試合を通じて交流を深めることができた。これもひとえに多くの関係者や先生方の協力があってこそのものである。以下に今年度お相手していただいた学校を紹介させていただく。

市立浦和(埼玉)・創価(東京)・竹園(茨城)・宇都宮・宇都宮女子(栃木)・高崎女子(群馬)・翔凛(千葉)・甲府西(山梨)・屋代・諏訪青陵・伊那北(長野)・東海・クラーク名古屋・南山女子(愛知)・聖マリア・大垣北(岐阜)・クラーク大阪(大阪)・膳所・米原・彦根東・近江兄弟社・守山・虎姫(滋賀)・嵯峨野(京都)・藤島(福井)・富山中部(富山)・神戸大付属・葺合(兵庫)・大安寺中等教育学校・岡山朝日(岡山)・須崎総合(高知)等、本当に多くの学校との練習試合を通じて本校の生徒達も成長することができた。また彼らとは来年度受験に於いて競い合うことになるであろうが、再び受験会場で相まみえることを楽しみに、今後さらに学習に取り組んでくれることを切に願うばかりである。

【第19回全国高校生英語ディベート大会出場】

【愛知・岐阜県合同英語ディベート大会】優勝
(岐阜県1位)

【甲信越ブロック英語ディベート大会】優勝

【関西ブロック英語ディベート大会】第9位

【東海ブロック英語ディベート大会】第8位

男子ハンドボール部 //

山下 祐輝

【今年度の主な成績】

◇岐阜県高等学校新人大会(R5 12/25~27)

第3位

◇岐阜県選抜選手権大会(R6 1/20~21)

準優勝

- ◇全国高等学校選抜大会 (R6 3/23～29)
出場
- ◇岐阜県高等学校総合体育大会 (R6 5/12, 18～19)
第3位
- ◇東海高等学校総合体育大会 (R6 6/15～16)
出場
- ◇飛騨地区高等学校総合体育大会 (R6 7/20)
優勝 (21年連続)
- ◇堤杯岐阜県選手権大会 (R6 8/3～5)
優勝
- ◇岐阜県高等学校新人大会 (R6 12/25～27)
準優勝

【今年度を振り返って】

本校ハンドボールは2004年4月に創部し、皆様のご支援により、創部21年目を迎えることができました。

昨夏の新チーム初戦の大会となる堤杯選手権では、決勝で市立岐阜商業高校に敗れ、県2位という立ち位置からのスタートとなった。

迎えた昨年末の県新人戦決勝リーグでは、市立岐阜商業、岐阜東高校相手に勝利することができず、県大会3位。悔しさだけが残った状態で大会を終えた。

2月の東海選手権では市立岐阜商業と岐阜東の両高校が自力で全国選抜大会の出場権を獲得したため、開催地代表として3月の全国選抜大会（岐阜県開催）の出場権を得ることができた。例年、県内のライバル校として両チームと対戦してきたが、そのチームのおかげで開催地での全国大会の切符を獲得でき、ライバル校には感謝を伝えた。

迎えた全国高校選抜大会、地元代表として、開催のために尽力してくださる県内高校生をはじめとした皆様への感謝をコート上で発揮することをテーマに、九州大会2位の熊本マリスタ学園（熊本県）との試合に臨んだ。攻撃力の高い相手に対して善戦するも前半を6点ビハインドで折り返す。後半4点差まで詰めるが、結果は30-36の力負け。しかし、格上チームにチームの持ち味である攻撃力を発揮することができた。ディフェンスに関しては、チームの守備の要である田口を体調不良で欠いた穴を埋められなかったのが大きかつ

たが、全国大会という大舞台を経験できたことは大きな価値であった。

その後の4月、成長が大いに期待できる新入生8名を迎えた。毎年恒例のGW前半の滋賀合宿、GW後半の大分合宿では、たくさんのトレーニングマッチを組んでいただき、大きな怪我もなくインターハイ県予選に臨める準備ができていた。

迎えたインターハイ予選、初戦を快勝し、次戦に向けた準備を始めた直後、レギュラーの中村が怪我を負い、残りの試合に出場できないことが確定してしまった。チームにとって大きな痛手であったが、3年生は「煌貴のために…」という思いでチームがまとまった。そんな中、準決勝で岐阜東と対戦、一進一退の攻防の中、残り5分のミスが響き1点差で敗退、目標である福岡インターハイへの道が途絶えた。翌日の3位決定戦では、気持ちを切り替えて試合に臨み、岐山に快勝して17回目の東海総体出場の内切符を手に入れることができた。中村の代わりに務めた江間は、中村の思いを背負って試合に臨み、試合を経験するとともに成長を遂げ、代役を全力で努めてくれた。

「最後は笑顔で終われるように」と臨んだ東海大会では、1回戦で四日市南（三重県2位）と対戦した。開始10分は自分たちのリズムで試合ができたが、前半の終盤からミスが目立ち始める。その流れを後半も引きずってしまい、4点差で惜敗した。インターハイ県予選中に負傷した中村の復帰ゴールなどの3年生の活躍は見られたが、なんともやりきれない試合が3年生のラストゲームとなり、指導者としての力量の無さを痛感し、3年生の選手、保護者に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。

第20期生は選手10名の大所帯で、西高ハンド部の歴史を繋いでくれた大切なメンバーである。大学でハンドボールを続ける生徒もいるため、今後の活躍に期待したい。そしてこの3年間で築いた価値を、10名それぞれの道で発揮してもらえたら最高である。

7月中旬、新チームがスタート。2年生8名、1年生8名の16名体制である。旧チームから出場している2年生が核となり、1年生も大きな伸びしろを感じられる期待感がある。新チーム初戦

の堤杯選手権では、決勝で市立岐阜商業に30-18で勝利し、良いスタートを切ることができた。今秋には、全国の強豪校の胸を借りて何度もトレーニングマッチを実施、チーム力向上を感じることができている。選手それぞれが人間的に成長し、感謝の心を忘れない愛されるチームになれば、12月と2月の予選を勝ち抜き、3月に実施される大分県で行われる全国選抜大会出場権を獲得できるであろう。

今年度も無事に活動することができたのも高山市ハンドボール協会、飛騨学園教職員の皆様、保護者会の皆様、OB会・OB会保護者会の皆様、滝村紀貴氏（高山市ハンドボール協会副会長）並びにご家族の皆様、いつも影で支えて下さる前顧問の三川俊哉先生（高山市ハンドボール協会副会長）のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。そして、今後とも宜しく願い申し上げます。

バスケットボール部（女子）

下畑 耕一

令和6年度TALONSは、先輩たちの功績を超えるという目標を掲げチャレンジするも、主力選手の怪我に苦しんだ1年となりました。

最上級生としてチームを牽引してくれたのは4名の3年生。岩佐くる実（ジン）、東里美（リム）、垣内鼓春（キキ）、松下優（レイ）の高山出身、幼少期からこの高山の地でバスケットを続けてきたメンバーでした。新チームのスタート時には、中心選手であるジンが前十字靭帯断裂の大怪我を負っており、コートに立てない状況。また、キキも2年生の春に同様の怪我を負い、そのリハビリを行っている状況だったため、実際にプレイヤーとしてチームを牽引したのは、リムとレイ2人の3年生となった。元々、人数も少ないチームの上に、主力選手の故障という新チームは、例年以上に苦しいスタートを切ることとなりました。

多くの練習試合を経験し、少しずつ新チームと

して“形”は見えてきたものの、選手たちは不安を抱えながら新人戦に臨むことになりました。飛騨地区新人戦では、強化してきた機動力を活かし何とか優勝、地1位で県新人大会に出場しました。1回戦は危なげなく突破し、ここ数年力を付けつつある済美高校と対戦することとなりました。選手たちも緊張した面持ちで臨んだ一戦でしたが、序盤よりリズムの良いシュートでリードを奪い、最初の課題であったベスト8進出を手に入れました。ブロック決勝では、県岐商の前に大敗するものの、インハイ予選に向けたシードを獲得するために勝利が必須となる5位決定予備戦に向けて気持ちを入れ替えチャレンジ。試合の方は、序盤より一進一退の攻防を繰り返し、延長戦までもつれ込みます。能力的に上回る岐阜総合相手に劣勢に立たされるもリードを奪い残り1分を切りました。しかし、終了間際にフリースローで得点を奪われ、1点差で敗退し新人大会をベスト8で終えました。何度も訪れたチャンスをものにできず敗退したゲームに、新チームは落胆の色が濃く、チーム再建には時間がかかることが予想されました。

時間と共に、明るさを取り戻していったTALONSによりやく明るい光が差し込みます。ここまで怪我で戦線を離脱していたジンとキキが戻り、ようやく2・3年生が全員揃って練習に励むことができるようになりました。2人の復活は、私達が思っていた以上にチーム全体に影響を与え、短時間でチームは成長しました。特にジンの復活により、チームに“芯”が通り、一体感ある姿が見られるようになりました。その影響は春休み中の練習試合にも大きな影響をもたらし、県外上位チームとも互角に戦える力を発揮しました。

明るさ、活気を取り戻したチームは、飛躍的な成長を遂げインハイ予選に臨みました。しかし、そんな好調のチームに大きな落とし穴が…、インハイ地区予選を間近に控えた練習でキキが膝を捻ってしまい、戦線を離脱することになります。そして、追い打ちをかけるようにインハイ地区予選順位決定戦で、長きに渡るリハビリから復活を遂げた絶対的エース、ジンがリバウンドボール獲得の際接触し、前十字靭帯を再断裂してしまうア

クシデントに見舞われました。試合には、勝利することができたものの、それ以上にチームには落胆と、悲しみが襲いました。その影響を引きずりインハイ予選に臨むことに…、チームとしてはウィンターカップ予選に向けたシード獲得のためにも、5位以内入賞が目標でした。しかし、勢いを失ったチームは、土岐商の前に惜敗し、新人戦同様ベスト8で大会を終えました。特にインハイを一つの区切りとして頑張ってきた3年生にとっては、何とも言い難い大会となりました。レイ（松下選手）が、進学のために補習に参加、リム（東選手）も進路決定に向けて勉強との両立を本格的に開始したことで、チーム体制を切り替え練習に取り組みました。また、キキ（垣内選手）の怪我の状況が思ったより悪いこともあり、ウィンターカップに向けてはチームサポートに回ることに。その関係でジン（岩佐選手）をキャプテンとし、下級生主体のメンバー構成でウィンターカップに臨みました。ジン自身も、前十字靭帯再断裂という怪我を負っていましたが、保存療法でウィンターカップに照準を合わせての活動、例年以上に色々なことに意識を巡らせながら地道に練習に取り組みました。そんな中、県の高校リーグ戦では、インハイ予選上位校の美濃加茂、岐阜総合に競り勝つことができたことは、一つ大怪我で苦しんでここまで来たジンにも少し達成感を与えられたことがせめてもの救いとなったと思います。その後、新チーム主体で臨んだ選手権大会（ウィンターカップ予選）では、ブロック決勝で強豪岐阜女子の前に大敗するも、怪我を押し切って戦い抜いてくれたジンの姿、その思いは下級生達に多くのことを残してくれたと思います。

今実感しています。本当に選手に救われていると。多くの思いを抱きながらも、こんな私に付いてきてくれた彼女達、3年生には心から感謝しています。また、各選手の保護者の方々には、私の我がままを聞いてくださったこと、細かなところまでサポートしていただいたことに心から感謝いたします。

最後に、影となり見守ってくれた家族の姿は勿論、TALONSを支えてくださった方々に感謝し、それぞれの道の糧にしたいと思います。

保護者・先生方・松柏会の皆様には、毎年変わらないご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございました。これからも、信念を持って生徒と共に歩いていく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しく願いいたします。

【 戦 績 】

- ・飛騨地区新人戦（優勝）
順位決定戦 高山西 60-29 飛騨高山
- ・岐阜県新人大会（ベスト8）
1回戦 高山西 73-42 加茂
2回戦 高山西 86-25 済美
ブロック決勝 高山西 31-90 県岐商
5位決定予備戦 高山西 59-60 岐阜総合
- ・岐阜県総合体育大会飛騨地区予選（第1位）
順位決定戦 高山西 75-37 飛騨高山
- ・岐阜県総合体育大会（ベスト8）
1回戦 高山西 90-39 関
2回戦 高山西 81-54 多治見西
ブロック決勝 高山西 36-109 岐阜女子
5位決定予備戦 高山西 45-52 土岐商業
- ・岐阜県高校リーグ戦1部リーグ
リーグ戦 高山西 48-75 富田
リーグ戦 高山西 20-0 済美
リーグ戦 高山西 59-40 岐阜総合
リーグ戦 高山西 53-50 美濃加茂
リーグ戦 高山西 57-67 土岐商業
- ・岐阜県高等学校選手権大会（ベスト8）
2回戦 高山西 124-32 関
3回戦 高山西 145-15 恵那
準々決勝 高山西 37-91 岐阜女子

バスケットボール部(男子) //

打江 勇太郎

今年の3年生は、主将の角竹弘多を中心に、森田怜太郎・松谷侑・熊田瑠斗・松尾優人・野々山友哉・井口隼・渡邊蒼規・アデルシ ジェシー・宇佐美颯人・高羽凜人の選手11名と清水ももかのマネージャー1名がチームを引っ張ってくれ

た。昨年度選手権を2位で終え、その悔しさを基に始動した新チームであったが、1月の県新人大会、2年生は昨年の雪辱を果たそうと奮闘したが、スタメン森田の故障もあり、3位という結果に終わった。

4月を迎え、新入生は11名の選手と1名のマネージャーが入部し、総勢38名となった。新人戦以降、森田が怪我というトラブルの中、スタメン・ベンチメンバーを勝ち取るべく、お互いを評価し競い合いながら練習に励む姿が多く見られた。5月に岐阜県高校総体が行われ、今年から総体予選はトーナメント制となった。ベスト4まで順調に勝ち上がり、準決勝の相手は富田高校。今大会1番の勝負所であった。前半から膠着状態が続き、お互いなかなかリズムがつかめない。重苦しい状態から始まった後半、富田高校に10点離され、最終Q、気持ちが先行し、リズムが最後まで掴めず敗退。最後は気持ちの部分であったと指導者、選手ともども気づいた実りある大会であったと思う。今大会の結果は3位となり、東海総合体育大会の出場を決めた。東海総体では、各県のインターハイ出場校と対戦し、1回戦桜丘高校（愛知2）延長戦の末勝利し、勢いに乗ることができた。2回戦は四日市工業高校（三重1）全員出場での勝利することができた。ベスト4となり、準決勝の相手は県大会で対戦することのなかった美濃加茂高校。新人戦は大差をつけられて敗戦した相手であり、選手はリベンジに燃えているのが見て取れた。以前とは違い前半は一進一退の攻防が続き、我慢のバスケットを強いられた。しかし3Qから自分たちのミスを機に一気に離され24点差で敗退し、3位決定戦に回ることが決まった。3位の相手は中部第一高校（愛知1）当校も東海新人で対戦し敗退した相手である。身体のサイズやパワーを活かして攻める相手に対して、スピードとDF力で対抗し、延長戦の末勝ち切ることができた。選手自身新人戦の頃から比べ、力をつけたという自信を持つことができた大会となった。

今年も夏休みに行われる日清食品東海ブロックリーグに出場し、結果は4位。去年の優勝という結果から見ると悔しい結果となったが、下級生も経験を積むことができ、優勝した名古屋D

（ユースチーム）に唯一黒星をつけるなど、有意義なリーグ戦となった。また夏休み・シルバーウィークと県外の名だたる高校と対戦し経験を重ね、ハードなDFから速攻で点につなげること、シュート率にこだわり練習・試合と取り組んできた。

10月になり選手権大会が始まる。今年度は岐阜県から3チームがウィンターカップに出場できるということで、岐阜県は異様な盛り上がりを見せていた。準決勝の相手は富田高校、今年は3度の対戦で黒星をつけられた相手との対戦であり、WC出場をかけリベンジに燃えていた。1Qから準備してきたことが発揮でき10点以上のリードを得る。しかしここからはシーソーゲームで逆転を繰り返し、第4Q残り数秒2点差のリードを保ち辛勝。5年ぶり2回目のWC出場を決めた選手たちは互いを称え抱き合っていた。決勝戦の相手はインターハイ準優勝の美濃加茂高校。1Qまさかの0-20というスタートを切られ、追いかける展開となる。しかし、その後の巻き返しは素晴らしいものがあつた。2Q以降は互角の展開を見せ1次10点差まで詰めたが1桁が遠い。力の差を見せつけられ敗退し、準優勝という結果で終えた。負けはしたが、自分たちの取り組んできたことを信じ、力を十分に発揮すれば全国でも戦えるという自信はついたようにみえた。3年生含め、下級生もWCに出場できる喜びを噛み締めるとともに、会場に立ちたいという決意の表情が見て取れた。東京体育館のメインコートに立つという目標に向け、また一から積み重ねることを誓った。

最後に子どもたちのことを一番に考え、支えてくださった保護者の皆様、そして籠西会の皆様、先生方、いつもご支援、ご協力をいただきありがとうございました。これからも覚悟と信念をもって、選手たちと共に戦っていく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

<戦績>

◎令和5年度 飛騨地区新人大会

決勝 高山西 86 — 55 斐太

最終戦績 優勝

◎令和5年度岐阜県新人大会

1回戦	高山西	91	—	57	関商工
2回戦	高山西	86	—	57	岐南工業
3回戦	高山西	116	—	30	岐阜総合
決勝リーグ	高山西	64	—	77	富田
決勝リーグ	高山西	65	—	90	美濃加茂
決勝リーグ	高山西	66	—	47	大垣工業
最終戦績	3位	優秀選手賞			松谷 侑

◎令和5年度 東海高校新人大会

1回戦	高山西	93	—	61	沼津中央 静岡
2回戦	高山西	59	—	69	中部第一 愛知
最終戦績	ベスト8				

◎令和6年度 岐阜県高校総合体育大会

1回戦	高山西	67	—	47	鶯谷
2回戦	高山西	84	—	46	中津川工業
3回戦	高山西	96	—	60	大垣日大
準決勝	高山西	66	—	74	富田
3位決定戦	高山西	72	—	57	大垣工業
最終戦績	3位	優秀選手賞			角竹 弘多

◎令和6年度 東海高校総合体育大会

1回戦	高山西	59	—	54	桜丘 愛知
2回戦	高山西	88	—	53	四日市工業 三重
準決勝	高山西	59	—	83	美濃加茂 岐阜
3位決定戦	高山西	69	—	63	中部第一 愛知
最終戦績	3位				

◎令和6年度 岐阜県高校バスケットボール選手権大会

3回戦	高山西	136	—	23	加茂 (定)
4回戦	高山西	77	—	43	土岐商業
準々決勝	高山西	101	—	59	大垣日大
準決勝	高山西	59	—	57	富田
決勝	高山西	71	—	95	美濃加茂
最終戦績	準優勝	優秀選手賞			森田 怜太郎
年間ベスト5	熊田 瑤斗				



バドミントン部

三川 俊哉

【今年度の主な成績】

◇第72回岐阜県高等学校総合体育大会飛騨地区予選

(R6.4/20.4/.27 高山工業高校、飛騨高山高校)

<男子個人>

単1位 成田 響 単2位 阿部恵三

単3位 今井太玖馬

複1位 成田・今井 複2位 阿部・梶井

<男子団体> 優勝

2回戦 高山西3-1 斐太

決勝 高山西3-0 飛騨高山

<女子個人>

単2位 古谷桜咲 単3位 小倉麻由奈

複 1 位 古谷・遠所 複 2 位 谷口・田口

<女子団体> 2 位

2 回戦 高山西 3 - 0 斐太

決勝 高山西 2 - 3 飛騨高山

2 位決定戦 高山西 3 - 0 益田清風

◇岐阜県高等学校総合体育大会

(R6. 5/11. 12 . 5/18 岐阜メモリアル、大垣市総合
体育館)

<男子個人>

単 成田 響 1 回戦敗退

阿部恵三 1 回戦敗退

今井太玖馬 1 回戦敗退

複 成田・今井 1 回戦敗退

阿部・梶井 2 回戦敗退

<女子個人>

単 古谷桜咲 1 回戦敗退

小倉麻由奈 1 回戦敗退

複 古谷・遠所 2 回戦敗退

谷口・田口 棄権

<男子団体> 1 回戦敗退

1 回戦 高山西 1 - 3 各務原

<女子団体> 1 回戦敗退

1 回戦 高山西 2 - 3 岐阜北

◇飛騨地区高等学校総合体育大会

(7/14 高山工業高校体育館)

<男子団体> 優勝

リーグ戦 5 勝 0 敗

<女子団体> 優勝

リーグ戦 3 勝 0 敗

◇第 58 回岐阜県バドミントン選手権大会 (単 2 部)

(8/8 男子 8/7 女子 プリーニの総合体育館)

<男子個人>

A の部

砂田大和 2 回戦進出

荒川琥珀 2 回戦進出

熊崎 昶治 3 回戦進出

吉野倅矢 2 回戦進出

<女子個人>

A の部

渡邊百葉 1 回戦敗退

小倉麻由奈 3 回戦進出

田口亜美 2 回戦進出

遠所礼望 3 回戦進出

◇第 30 回高山市中高生バドミントン大会

(R6. 8/24 飛騨高山ピックアリーナ)

<男子>

複 畑中・砂田 2 位

荒川・吉野 4 位

田口・松井 予選リーグ敗退

単 今井太玖馬 3 位

熊崎 昶 決勝トーナメント進出

<女子>

複 小倉・渡邊 3 位

滝村・美素 予選リーグ敗退

単 遠所礼望 3 位

◇令和 6 年度岐阜県高等学校新人バドミントン大

会 飛騨地区予選 (10/19 個人戦 斐太高校体育
館、10/26 団体戦 飛騨高山高校体育館)

<男子個人>

単 4 位 荒川琥珀

複 3 位 荒川・吉野

4 位 熊崎・砂田

<男子団体> 2 位 (県大会出場権獲得)

準決勝 高山西 1 - 3 斐太

2 位決定戦 高山西 3 - 2 益田清風

<女子個人>

単 2 位 遠所礼望

複 2 位 田口・遠所

3 位 小倉・渡邊

<女子団体> 2 位 (県大会出場権獲得)

2 回戦 高山西 3 - 0 益田清風

決 勝 高山西 0 - 3 飛騨高山

2 位決定戦 高山西 3 - 1 斐太

◇令和 6 年度岐阜県高等学校新人バドミントン大

会 (11/4, 11/9, 10)

(団体戦 大垣市総合体育館 個人戦 まきがね
公園体育館)

<男子団体> 1 回戦敗退

1 回戦 高山西 1 - 3 岐阜工業

＜男子個人＞

複 荒川・吉野 1回戦敗退

＜女子団体＞ 1回戦敗退

1回戦 高山西 1 - 3 大垣西

＜女子個人＞

単 遠所礼望 1回戦敗退

複 田口・遠所 2回戦進出

小倉・渡邊 1回戦敗退

◇第58回岐阜県バドミントン選手権大会複2部
(12/1大垣市総合体育館 大垣城ホール)

＜男子＞

Aの部

砂田・荒川 3回戦進出

Bの部

熊崎・吉野 準優勝

長畑・松井 3回戦進出

＜女子＞

Aの部

田口・遠所 ベスト8

小倉・渡邊 ベスト16

Bの部

滝村・美素 1回戦敗退

今後の予定

◇第69回岐阜県高校生バドミントン大会(団体)
(R7.1/24,25岐阜市東部体育館 南部スポーツセンター)

◇第69回岐阜県高校生バドミントン大会
(1年生個人) (R7.2/8プリニーの総合体育館)



【今年度を振り返って】

今年度は男子3年生6名 2年生4名 1年生3名、女子3年生2名 2年生3名 1年生3名

の合計21名で活動してきた。今年度もすべての大会が予定通り開催され1年間を通して充実した時間を過ごすことができた。

大会に向けての県外遠征も予定通りに実施でき、活動することができた。保護者の皆様のご理解とご協力がなければできないことであり大変感謝している。

今年度も田口正明氏がコーチとして授業部活(水、木、金の7・8時限目)の指導をしてください、技術的な指導、体力的な指導、そして人間力を高めてくださる指導等、すべてにおいて生徒と正面から向きあってくださり本当に助かりました。ありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

3年生の生徒諸君へ。

3年間お疲れ様でした。3年生のバドミントに対する姿勢には本当に感謝しています。強くなりたい、上手くなりたいという向上心が行動となって現れ、活気のある楽しい3年間を過ごせました。夏の蒸し暑い日や、冬の凍えるような体育館で弱音を吐かず、辛い練習にも声を出し、歯を食いしばって目標に向かって取り組む姿が今でもはっきりと思い出されます。それだけ頑張ってきた3年間でしたが、試合成績は思うような形では無かったかもしれません。どれだけ努力しても目標を達成できないことが世の中にはたくさんあります。では人はなぜ努力を継続するのでしょうか？大リーグ投手の菊池雄星選手は「きっかけをつかむチャンスを増やすためにコツコツ練習を積み重ねることが大切だ」と言っています。

チャンスはどこで訪れるかわかりません。だからこそ努力を継続するのだと。なるほど。

いろいろな考え方があるのだと思います。努力を継続する理由は人それぞれです。答えはこれからの自分の人生で見つけてくださいね。そして、引退後も下級生の指導に熱心に携わってくれた3年生の姿は、先輩としてのあるべき姿であり、お手本となりました。

ありがとう。

1, 2年生の生徒諸君へ。3年生が創り上げた部活動のあるべき姿・方向性を継承すべくこれからも日々努力を重ねよう。体力・知力・技術力。

どれもまだ未熟です。まずはスタミナ（体力）を一番に身に付けましょう。技術力は毎日の練習の取り組み時間で解決できます。ただし意識レベルを上げて。意識をしない練習は技術力の飛躍的な向上はのぞめません。2年半しかない限られた時間の中で技術力を高めるには質を上げることが効果的です。日々の練習に意味を持って取り組もう。

最後にこれまでバドミントン部の活動にご理解・ご協力をいただきました保護者の皆様、OBの皆様、有り難うございました。そしてご尽力いただきました脇田先生、鈴木美保先生に感謝するとともに今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

バレーボール部（女子）

蟹江 信介

今年度の女子バレーボール部は3年生3名、2年生5名、1年生3名の計11名でスタートでした。カップ戦や大会が開催されるようになりましたが、人数が少なくコンディション作りが難しい時期もありました。部員たちは目標を持ち、毎日の練習や練習試合で力をつけ、思う通りの結果にならない時もありましたが一生懸命頑張ってくれました。また、引退した3年生は後輩の指導にも力を入れてくれました。部員一人一人が技術的に自分には何が足りないかを考えて遅くまで練習やトレーニングをしました。

3年生は西高校での生活、部活動で学んだことを生かしてこれからの新しい生活、夢に向かって頑張ってもらいたいと思います。

最後に、このような活動ができるのも保護者の皆様方、学校関係者の皆様方のおかげです。感謝の心を忘れず今後も生徒と共に頑張っていきたいと思います。

【大会結果】

- ・スプリングチャレンジカップ(R6. 4. 28)
 - 1回戦 高山西2-0多治見
 - 準決勝 高山西2-0大垣東

決勝 高山西0-2中津商業

※2部準優勝

- ・岐阜県高校総体飛騨地区予選(R6. 5. 6)

1回戦 高山西0-2益田清風

- ・飛騨地区総体(R6. 7. 14)

リーグ戦 高山西0-2斐太

高山西1-1飛騨高山

高山西0-2吉城

- ・全日本高校選手権岐阜県予選(R6. 10. 13)

1回戦 高山西0-2関商工

美術部

脇田 修宏

今年度の美術部の部員は、3年生8名、2年生5名、1年生5名の合計18名（男子2名、女子16名）で活動しています。多くの彫刻作品を発表し、全国規模で活躍、評価されている松本弘司先生の指導のもと、部員全員が和気藹々とした雰囲気の中で、「美術」を楽しみながら、高度な技術や表現力などを学んでいます。

例年の活動は、9月に開催される飛騨市美術展、11月に開催される岐阜県高等学校総合文化祭や高山市美術展、12月に開催される飛騨地区高等学校美術展覧会（高美展）など、たくさんの発表を目標とした制作でしたが、今年度は、全国高等学校総合文化祭の参加、高山市美術展への出品となりました。高山市美術展においては、3年I組の中嶋伊蒨君と2年L組の岩島百音さんが市展賞（最優秀）を受賞したのをはじめ、出品者全員の作品が入賞を果たしました。

今年度は、今まで以上にコツコツと地道な活動ができ、基本的な技術の習得や表現力など、時間をかけた活動ができたかと思います。そのためか、受賞者の割合は多く、地元イベントなどからの依頼もあり、評価される力がついてきたように思われます。来年度は、さらに発表の場も増えてくる

と思いますので、高山市美術展や岐阜県高等学校総合文化祭などでの入賞者がさらに増えるよう、様々な角度から芸術に触れ、さらに活動を盛り上げていきたいと考えています。

陸上競技部

廣田 孝

今年度は、9名の新入部員を迎え、34名の陸上部員でスタートを切りました。昨年の春まではコロナでの規制がありましたが、今年度は4月から従来の大会が行われる様になりました。選手も新たに目標を持って大会に望める様になったと思っています。しかし、飛騨地区はもちろんのこと、岐阜県内の高校生の陸上競技を志す生徒数が減り、インターハイの地区予選が昨年度から廃止となりました。今年度もインターハイを目指す予選は、県大会からとなりました。選手は自分の力を試す大会が減ったことで、不安を持つての令和6年度シーズンを迎えることになりました。

そんな中、5名の選手が8種目と男子がリレーで県予選を突破し、東海予選に出場することができました。しかし、残念ながら東海大会を突破して、インターハイに出場できる選手は出せません出した。

秋の県高校新人大会では、初めて男子総合で2位。トラックでは優勝することができました。男女のべ13名と男子のリレーが、東海高校新人大会への出場を果たし、来シーズンに向けての期待が高まってきています。

駅伝では、県高校駅伝大会で男子が、3位となり2年連続3回目の東海高校駅伝出場を果たしました。また、東海高校駅伝では、西高校男子として過去最高順位の16位となりました。

他校に比べると、部員数は多くはないのですが、選手一人ひとりが高い目標を持って練習に臨むことができるため、着実に力を付けてきてると思います。令和7年度シーズンでは全国高校総体(インターハイ)、国民スポーツ大会(国体)、全国高校駅伝への出場できるように、日々の練習を大切にして、頑張っって欲しいと思っています。

<令和6年度 大会結果>

●岐阜県高校総体 (長良川競技場)

<男子>

1500m	坂上 颯 (2)	4'09"84	5位
400mH	若田 理央 (3)	55"68	3位
3000mSC	白川 遼 (2)	9'39"93	2位
走幅跳	鈴木 瑛太 (3)	6m44	6位
八種競技	鈴木 瑛太 (3)	4535点	3位
4×100mR	小笠原・渡部・山下・大野	42"42	5位

<女子>

1500m	田中 千晶 (1)	4'49"72	5位
3000m	田中 千晶 (1)	10'20"33	4位
走幅跳	櫻野 双葉 (2)	5m37	2位
三段跳	櫻野 双葉 (2)	10m67	3位

●東海高校総体 (長良川競技場)

<男子>

1500m	坂上 颯 (2)	3'59"89	予選敗退
400mH	若田 理央 (3)	54"05	予選敗退
3000mSC	白川 遼 (2)	10'13"71	22位
走幅跳	鈴木 瑛太 (3)	6m40	19位
八種競技	鈴木 瑛太 (3)		途中棄権
4×100mR	渡部・山下・木本・小笠原	43"05	予選敗退

<女子>

1500m	田中 千晶 (1)	4'46"89	予選敗退
3000m	田中 千晶 (1)	10'30"20	20位
走幅跳	櫻野 双葉 (2)	4m99	19位
三段跳	櫻野 双葉 (2)	10m85	15位

●岐阜県選手権 (長良川競技場)

<男子>

5000m	日古見那由他 (2)	15'16"56	5位
400mH	若田 理央 (3)	53"67	6位
走幅跳	鈴木 瑛太 (3)	6m57	9位
走幅跳	渡邊 慶二郎 (3)	6m54	10位

<女子>

1500m	田中 千晶 (1)	4'55"97	9位
走幅跳	櫻野 双葉 (2)	5m20	8位
三段跳	櫻野 双葉 (2)	10m60	7位
砲丸投	三井 蒼葉 (3)	8m38	8位

円盤投	三井 蒼葉 (3)	26m06	12位	800m	田中 千晶 (1)	2'28"64	3位
				3000m	田中 千晶 (1)	10'22"98	優勝
				3000m	澤田 麻莉乃 (3)	12'19"38	3位
				100mH	桜野 双葉 (2)	17"07	3位
				走幅跳	櫻野 双葉 (2)	5m39	優勝
				円盤投	三井 蒼葉 (3)	25m90	優勝
				砲丸投	三井 蒼葉 (3)	7m90	優勝
				4x100mR	三井、櫻野、益田、平田		
				53"17	3位		
				女子総合得点		53点	3位
●飛騨地区高校総体 (中山競技場)							
<男子>							
100m	渡邊 慶二郎 (3)	11"03	2位	100m	大野 和真 (2)	11"03	2位
200m	若山下誓己 (2)	22"48	2位	200m	山下 誓己 (2)	22"74	4位
400m	若田 理央 (3)	49"86	優勝	200m	大野 和真 (2)	22"88	6位
400m	小笠原悠太 (2)	50"26	2位	800m	坂上 颯 (2)	1'58"32	優勝
800m	坂上 颯 (2)	2'00"07	優勝	800m	河合 諒真 (2)	2'00"62	6位
800m	河合 諒真 (2)	2'02"48	3位	1500m	坂上 颯 (2)	3'59"41	優勝
1500m	坂上 颯 (2)	4'06"01	優勝	5000m	日古見那由他 (2)	15'44"67	3位
1500m	河合 諒真 (2)	4'14"84	2位	3000mSC	森本 欽也 (2)	9'34"46	優勝
1500m	川上 優陽 (1)	4'14"89	3位	3000mSC	白川 遼 (2)	9'46"46	5位
5000m	日古見那由他 (2)	15'37"40	優勝	4x100mR	谷口、山下、小笠原、大野		
5000m	白川 遼 (2)	15'46"49	2位			42"66	2位
5000m	森本 欽也 (2)	16'42"02	3位	男子総合得点		37点	2位
110mH	鈴木 瑛太 (3)	16"20	2位	男子トラック総合		37点	優勝
走幅跳	渡邊 慶二郎 (3)	6m59	優勝	<女子>			
走幅跳	鈴木 瑛太 (3)	6m57	2位	走幅跳	櫻野 双葉 (2)	5m43	優勝
三段跳	木本 善仁 (3)	12m59	2位	三段跳	櫻野 双葉 (2)	10m87	3位
やり投	小笠原 悠太 (2)	39m43	3位				
円盤投	今田 亘亮 (1)	24m33	3位				
4x100mR	谷口、山下、小笠原、渡邊						
		42"81	優勝				
4x400mR	鈴木、小笠原、坂上、若田						
		3'27"80	優勝				
男子総合得点		124点	優勝				
<女子>							
100m	桜野 双葉 (2)	2'20"67	2位				

●岐阜県高校新人陸上大会 (長良川競技場)

<男子>

100m	大野 和真 (2)	11"03	2位
200m	山下 誓己 (2)	22"74	4位
200m	大野 和真 (2)	22"88	6位
800m	坂上 颯 (2)	1'58"32	優勝
800m	河合 諒真 (2)	2'00"62	6位
1500m	坂上 颯 (2)	3'59"41	優勝
5000m	日古見那由他 (2)	15'44"67	3位
3000mSC	森本 欽也 (2)	9'34"46	優勝
3000mSC	白川 遼 (2)	9'46"46	5位
4x100mR	谷口、山下、小笠原、大野		
		42"66	2位
男子総合得点		37点	2位
男子トラック総合		37点	優勝

<女子>

走幅跳	櫻野 双葉 (2)	5m43	優勝
三段跳	櫻野 双葉 (2)	10m87	3位

男女とも高山西V
飛騨地区高校駅伝
大会(中日新聞社後援)が6

大会新記録を更新してゴールテープを切る高山西Aのアンカー山本選手(飛騨市古川町で



◇成績は次の通り
【男子】①高山西A②同B③斐太④益田清風▽区間賞 1区:日古見那由他▽2区:坂上颯▽3区:白川遼▽4区:河合諒真▽5区:山本克己(いずれも高山西A)
【女子】①高山西②斐太▽区間賞 1区:田中千晶(高山西)▽2区:山脇瑠佳(斐太)▽3区:帆ノ下和夏(同)▽4区:石原綾心

日、飛騨市古川町の森林公園陸上競技場を発着点に開かれた。昨年に続き男女とも高山西(高山市)勢が優勝し、男子の高山西Aは大会新記録となる1時間36分3秒をマークした。
飛騨地区の3校から男女計6チームが出場し、男子は5区間29・0975キ、女子は4区間16・4975キの周回コースで競った。秋晴れの下、選手は沿道からの声援を浴びながら、力強い走りですすきをつないだ。(北川鈴乃)

●東海高校新人陸上大会 (長良川競技場)

<男子>

5000m 日古見那由他(2) 15'16"27 3位

3000mSC 森本 欽也(2) 9'30"85 6位

<女子>

走幅跳 櫻野 双葉(2) 5m26 7位

●岐阜県高校駅伝競走大会

(高富町四国三香りの森周辺コース)

<男子>

2時間12分57秒 3位

(日古見那由他・坂上颯・白川遼・森本欽也
河合諒真・谷口涼真・山本克己・)

●東海高校駅伝競走大会

(高富町四国三香りの森周辺コース)

<男子>

2時間10分41秒 16位

(日古見那由他・坂上颯・白川遼・森本欽也
河合諒真・谷口涼真・山本克己・)

レスリング部

木伏 智仁

部歴がいよいよ創部10年の2桁となり、ますます活気づいている。今年度は男子3人、女子3人のため、個人戦に力を入れる年となった。目標は、ずばり世界大会出場と入賞である。選手たちは、常にそれを意識しながら練習を重ねた。高い目標設定が実り、男子個人でアジア大会に2年連続出場と、3位入賞することができた。また、全国高校総合体育大会や全国高等学校グレコローマン選手権大会、フォーデイズ杯全日本女子オープンレスリング選手権大会など、男女それぞれ個人の力を存分に発揮できた。自身の緊張を押し殺し全国レベルの相手に立ち向かっていく姿は、とても遅かった。これまでの生徒の努力やコーチの指導、岐阜県の強化指導があつての結果であり、全ての関係者に心から感謝しながら顧問として邁進していく所存である。

<今年度の主な大会結果>

・2024年U17アジア選手権大会

(ヨルダン・アンマン)

男子個人グレコ： 堤 大智 第3位

・JOCジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会

女子個人フリー： 圓山倅羽 ベスト8

今井七緒 出場

直井詩空 出場

・JOC全日本ジュニアレスリング選手権大会

男子個人グレコ： 堤 大智 第2位

飯山福斗 出場

・全国高校総合体育大会

男子個人フリー： 堤 大智 第3位

飯山福斗 出場

女子個人フリー： 今井七緒 出場

直井詩空 出場

・全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会

男子個人グレコ： 堤 大智 第2位

飯山福斗 第3位

圓山礼心 出場

・フォーデイズ杯全日本女子オープンレスリング選手権大会

女子個人フリー： 直井詩空 第3位

・国民スポーツ大会

少年男子： 堤 大智 第3位

・東海高等学校総合体育大会

男子個人フリー： 飯山福斗 第3位

圓山礼心 出場

男子個人グレコ： 飯山福斗 第2位

圓山礼心 出場

女子個人フリー： 圓山倅羽 第4位

今井七緒 第3位

直井詩空 第3位

・全国高等学校選抜大会東海予選

男子個人フリー： 堤 大智 第1位

飯山福斗 第3位

圓山礼心 第3位

※3月に行われる全国選抜大会に3名出場

レスリング少年男子

SAGA 国スポ 2024

佐賀県を中心に開かれて

いる国民スポーツ大会「SAGA2024」は3日目の7日、県勢ではレスリングで少年男子グレコローマンスタイル71kg級の堤大智選手(高山西高)とアーチエリーの成年男子団体が3位入賞した。

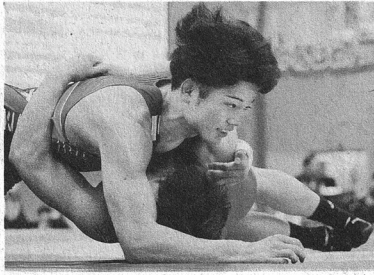
ホッケーは少年女子の岐阜各務野高が北海道(北海学園札幌高)を破り決勝に進出。成年男子の県選抜も島根を破って決勝に進んだ。バドミントン成年女子は準決勝で熊本に敗れ、3連覇を逃した。

練習で左手負傷 「言い訳できぬ」 試合終了のブザーが鳴り、準決勝敗退が決まる

提選手3位

と、両手で顔を覆った。左手のけがを押し出て出場したレスリング少年男子グレコローマンスタイル71kg級の堤大智選手は、3位入賞にも笑顔はなかった。

6月のU17アジア選手権では銅メダルを獲得。今大会を「実力的に優勝しなればならない」と捉えていた。だが1カ月前、練習のスパarring中に左手を負傷。骨折かもしれないと思ったが「自分は県のポイントゲッターだから」と病院に行かず、テーピングをして出場した。



少年男子グレコローマンスタイル71kg級で、相手を攻める提選手。佐賀県嬉野市の市中央体育館で

試合中も痛みは続いた。いつもであれば気にならないはずの歓声が、この日は耳に響いてきた。「集中できていなかった」。試合後は「練習以前の問題。言い訳できない」と、自らに言い聞かせるように繰り返し続けた。

来月3月には連覇がかかるとの全国高校選抜が控える。「実力に見合った結果が優勝になるよう頑張りたい」と雪辱を誓った。(久我玲)

レスリング(佐賀県嬉野市中央体育館)
▽成年男子グレコローマンスタイル60kg級2回戦 大楠 健太 7-6 倉本 亮弥 福岡・自体 (日 大)
▽同グレコローマンスタイル67kg級1回戦 山下 丈翔 7-3 有賀 丈竜 (青川・東洋 大)
▽同グレコローマンスタイル70kg級2回戦 山田 康瑛 7-0 片岡 拓海 (山梨学院 大)

▽女子フリースタイル62kg級1回戦 徳原 姫花 2-1 岡田 純奈 (高知・自衛 大)

▽少年男子グレコローマンスタイル65kg級2回戦 中平 旭 Tスベリオ 飯山 福斗 (徳島) リティール2 (高山西高) 分50秒

▽同グレコローマンスタイル71kg級2回戦 堤大智 フォール59 矢野 安章 (高山西高) 秒 (愛媛・今 治工高)

▽同グレコローマンスタイル80kg級1回戦 日比野雄大 Tスベリオ 生嶋虎太郎 (岐阜工高) リティール2 (福岡・苅田工高) 分23秒

▽同2回戦 日比野雄大 Tスベリオ 佐藤 晴也 (岐阜工高) リティール1 (鳥取・倉吉 総合高) 分40秒

▽同グレコローマンスタイル125kg級2回戦 小嶋 隼 2-1 田中 俊光 (岐阜工高) (兵庫・猪名 川高)

▽成年男子グレコローマンスタイル130kg級準々決勝 奥村 総太 Tスベリオ 山田 康瑛 (滋賀) リティール2 (山梨学院 衛隊) 分3秒

▽少年男子グレコローマンスタイル71kg級準々決勝 堤大智 Tスベリオ 伊藤 慎人 (高山西高) リティール49 岡工高 秒

▽同準決勝 田中 陸 11-4 堤大智 (大相高) 日本 (高山西高)

▽同グレコローマンスタイル80kg級準々決勝

後藤正太郎 2-1 日比野雄大 (鹿兒島・鹿 岐工高) 屋中央高)
▽同グレコローマンスタイル125kg級準々決勝 小嶋 隼 フォール5 山口 晃大 (岐阜工高) 分59秒 (神奈川・磯子高)
▽同準決勝 中堀 一輝 フォール2 小嶋 隼 (滋賀) 八分4秒 (岐阜工高) 幡工高)
▽アーチエリー(佐賀県鹿島市陸上競技場)
▽成年男子団体3位決定戦 岐阜 卓 6-2 群馬 馬 (岐阜) 斉藤 沢田、阪尾 (群馬) 大塚 中村、森田
▽少年女子団体3位決定戦 大阪 阪 6-2 岐阜 大 (大阪) 今井、胡田、徳山 (岐阜) 大井、奥村、赤塚
▽ホッケー(佐賀県伊万里ホッケーフィールドほか)
▽成年男子準決勝 岐阜 卓3 1島 (選抜) 根
▽成年女子準々決勝 岐阜 卓1 000 1柄 (選抜) 木 (ソニー)

Table with columns for age group, event, and results. Includes details for wrestling matches and other sports like soccer and hockey.

4. 国際交流

英語スピーチコンテスト

英語科 ブレイズフォード 雅

令和6年10月13日（日）に岐阜県図書館にて、全国高等学校英語スピーチコンテストの予選となる「第16回岐阜県高等学校英語スピーチコンテスト」が実施されました。本校からは1年生の垣内優里佳さんが飛騨地区大会で2位となり、岐阜県大会に出場しました。この大会で優勝し、11月23日（土）に石川県金沢市の石川県文教会館で実施された東海北陸ブロック大会に出場しました。各県の代表者のスピーチはどれも素晴らしい内容でした。その中で、垣内さんの「障がい者に手を差し伸べる優しさを持ちましょう」と呼びかけたスピーチが高く評価され、見事に優勝しました。そして、2月9日に国立オリンピック記念青少年総合センターで実施される全国高等学校スピーチコンテストへの出場権を獲得しました。

スピーチの要約は以下の通りです。ある日ニュースを見て障がい者の人権を無視した優生保護法（1948年制定）が今年の夏に最高裁判所によって違憲とされるまで有効だったことを知りました。私はその原因が健常者の障がい者に対する無関心さにあるのではないかと考えました。私自身も目に見えるような差別はしないにしろ、障がい者に対して「自分とは違う」と無意識に考えていたかもしれないと思い、母の知り合いである耳が不自由な方とお話することにしました。その方との対話から、その方がとても親切で明るく、むしろ自分よりも楽しく日々を過ごしていらっしゃることを知りました。障がい者の方々を見かけたら、皆さんもぜひ恥ずかしくせずに歩み寄ってみましょう。

Reach out with Kindness

KAITO, Yurika
Takayama Nishi S.H.S.
(Gifu)

We think we've come a long way with accepting people who are different than us, but discrimination still exists within our society, particularly discrimination against a person with a disability. Active discrimination is rare, but I think people often passively discriminate without realizing it, like not reaching out to a disabled person to join in your activity. We don't think our actions have consequences, but these "small" actions often contribute to a larger effect. This is ultimately why the Eugenics Protection Law stayed unchallenged for so long in Japan.

The Eugenics Protection Law was the first law in Japan that allowed legal abortions for women, but only if the child or a parent had a trait deemed negative by society, such as mental illness or disability. Additionally, it allowed hospitals and medical institutions to sterilize a patient without their consent if they suffered from a mental illness or disability. Victims were often tricked by nurses and doctors into surgery under false pretenses, such as appendicitis. When the surgery was done, the patient was no longer able to have children.

This law was first enacted in 1948, and it remained in place for 48 years until it was revised in 1996 into the Maternal Protection Act. Recently, on July 3rd, 2024, the Japanese Supreme Court ruled this former law was unconstitutional and ordered the government to pay compensation to the victims.

If this law was revised in 1996, 28 years ago, why are we now in court over this law? I had never heard of this law before, so I asked my mother about it. She referred me to her friend who is hearing impaired. Because she is deaf, she explained the law and answered my questions using sign language and an interpreter. As she explained, I realized the Eugenics Protection Law was only the tip of the iceberg of discrimination against people with disabilities.

During that time, many people with disabilities did not receive adequate education in school. Students who were deaf, blind, or had another disability that required special education were expected to learn at the pace of other students. They were often left out of lessons or activities that would slow down the class. This put them at a huge disadvantage for life. They were not able to attend good schools and get good jobs. They never had enough money, nor had enough information and knowledge to understand the Law completely to be able to appeal it. Also, those who did fight for the rights of people with disabilities were fighting battles for education and other discriminatory practices.

Knowing this, I felt guilty that I may have contributed to the problem in some small way. Before, I had thought of people with disabilities as “different” and therefore not able to join the same activities as me. Even if I had the chance to actively reach out to someone with a disability, I think I would have turned a blind eye. In my heart I regretted this feeling, but I didn’t change my actions.

Even talking with my mother’s friend, at first, I was scared about how I would be able to communicate with her. I thought it would be too difficult, but I didn’t want to shy away from the opportunity. In the end, I had a chance to learn from a woman who never felt pessimistic about being disabled. In fact, she was so kind and happy. She seemed to enjoy life much more than I do.

For everyone here today, I would ask you to reach out to someone with a disability if they look like they’re being left out. Don’t shy away from talking to them and learn about the person they really are.

Thank you.

垣内さん(高^山西¹) 1位で全国へ

金沢で高校英語スピーチ東海北陸大会

障害ある人との関わり テーマに

全国高校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会が20日、金沢市の石川県教会館であった。第1部で高山西高1年の垣内優里佳さん(16)が1位となり来年2月に東京で開催される全国大会出場を決めた。東海北陸7県で選ばれた各代表2人の計4人が出場人工知能(AI)や海外の貧困問題など、それぞれのテーマで4分半15分半の制限時間内にスピーチした。海外経験がある第2部の1位は、三重県松阪高3年のルス・サララさん(16)。



全国大会出場を決めた高山西高の垣内さん(左)と松阪高のルスさん(右)。大会の司会を務めたのは、金沢市の知事夫人で、垣内さんのスピーチを聞いて「原稿を作る際に話を聞いた方は、差別や偏見がなくなるように活動していた。私のスピーチを知ってもらおうと原稿でありがとう」と話した。(奥田哲平)

令和6年度国際交流

教務部

国際理解教育 井上 正己

1. アメリカ姉妹校との交流（ISA来校）

姉妹校

アメリカ合衆国テキサス州 International School of Americas (ISA)

趣旨

本校の国際理解教育の一環として、姉妹校から短期留学生を受け入れることで、これまで学習してきた英語を実際に活用し、その重要性を再認識します。また、異文化交流を通じて視野を広げるとともに、日本および自己について再発見する機会を提供します。

経緯

平成12年度、FMF（フルブライト・メモリアル基金、事業主体は日米教育委員会）のMTP（マスターティーチャーズプログラム）を通じて、米国パートナー校として本校とISAが提携。平成13年12月1日には正式に姉妹校提携を結びました。

令和6年度受け入れ内容

期間：令和6年6月12日（火）～6月18日（火）（7日間）

参加者：男子生徒12名、女子生徒6名、引率教諭3名 計21名

活動内容：本校での授業参加、新宮小学校訪問、美鳩幼稚園訪問、市長表敬訪問

* ISAとの姉妹校締結は平成13年12月1日で、今年で24年目を迎えます。

滞在日程

6月12日（水）：オリエンテーション・ウェルカムセレモニー

6月13日（木）：市内研修

6月14日（金）：美鳩幼稚園との交流、授業参加、調理実習

6月15日（土）：白川郷・富山散策、パーティー

6月16日（日）：ホストファミリーと過ごす高山での休日

6月17日（月）：授業参加・西高祭準備

6月18日（火）：高山西高校「西高祭」

6月19日（水）：新宮小学校との交流、部活動見学

学校での生活

高山市内を探索し、お煎餅焼き体験や買い物を楽しみました。通常の授業では、留学生が積極的に意見を発言し、アメリカで日常的に使用される英語表現や文法について議論する場面が見られました。家庭科の授業ではカレーを作り、留学生と本校の生徒が楽しそうに食事を共にする様子が印象的でした。

美鳩幼稚園や新宮小学校訪問では、英語やジェスチャーを使い、子どもたちと交流しました。また、白川郷や富山でのフィールドワークを通じて日本文化を体験し、留学生たちが喜ぶ姿が見られました。

西高祭の準備期間中には、多くの生徒が留学生と触れ合い、西高祭本番ではISAの生徒たちが準備を手伝ったり、ダンスに参加したりするなど、大いに盛り上がりを見せました。

部活動に参加する留学生もおり、筋トレやバスケットボールを楽しむ姿がありました。言葉が通じなくても、お互いの文化を尊重しながら交流する様子が見受けられ、貴重な体験となりました。この交流は、留学生にとっても本校の生徒にとっても忘れられない出来事となりました。



2. 韓国との交流

交流学校

安東中央高校

趣旨

お互いの文化や慣習を交流することで、国際協調の精神を涵養し、国際協力の実践力を向上させます。

経緯

令和3年2月頃、高山市役所海外戦略課から本校に安東中央高等学校（韓国安東市）との交流を提案されました。

対象クラス：2年F組

8月22日（木）12:00～14:00（オンライン：Zoom）

10月10日の学校訪問に向けて、オンライン上でお互いに自己紹介を行いました。2年F組の生徒たちは英語や韓国語を使い、にぎやかな雰囲気の中で交流することができました。

10月10日（木）10:00～15:00

安東中央高校から校長先生を含む引率教員3名と生徒16名が来校しました。お互いの国の探究発表を通じて、文化の違いや食べ物、流行などについて紹介し合いながら交流を深めました。今年度は10月10日が高山祭にあたったため、2年F組の生徒と一緒に高山市内を観光し、屋台（山車）を実際に見ることができました。2年F組の明るい雰囲気が韓国の生徒たちにも伝わり、楽しい思い出に残る一日となりました。



3. シンガポール留学生来校 機関

シンガポール教育省語学センター

交流高校名

RAFFLES INSTITUTION

RIVER VALLEY HIGH SCHOOL

NANYANG JUNIOR COLLEGE

VICTORIA JUNIOR COLLEGE

DUNMAN HIGH SCHOOL

趣旨

お互いの文化や慣習を交流することで、国際協調の精神を涵養し、国際協力の実践力を向上させます。

経緯

シンガポールでは、小学生から中学生に進級する際、成績上位10%の生徒が「語学センター」で第3言語を学習します。その中で日本語を選択した生徒が、Language Elective Program の一環として本校を訪問することになりました。本校は、平成26年度に岐阜県海外戦略課から高山市を通じて依頼を受け、それ以来11年間関係を築いています。

令和6年度受け入れ内容

期間：令和6年11月25日（月）～11月29日（金）

参加者：男子生徒2名、女子生徒6名、引率教諭2名 計10名

活動内容：異文化交流

対象クラス：1年F・G組

滞在日程

11月25日（月） 授業参加・調理実習・ウェルカムパーティー

11月26日（火） 授業参加・調理実習・日本語ディスカッション

11月27日（水） 授業参加・英語ディベート

11月28日（木） 授業参加・部活動見学

11月29日（金） 授業参加・部活動見学・フェアウェルパーティー

例年と同様に、シンガポール留学生の受け入れを実施しました。シンガポールの生徒は1年F組と1年G組に入り、通常授業に参加しました。また、昨年度来校したシンガポールの生徒2名が2年F組と2年G組とも楽しく交流を続けていました。彼らは日本の高校生活を体験し、日本文化や日本語の習得に努めました。

授業では、英語ディベートや日本語ディスカッションを通じて、本校生徒と共通のテーマで交流を深めました。シンガポールの生徒は日本語学習者として優れた能力を持ち、平仮名・カタカナ・漢字を駆使して授業内容を理解していました。授業中のメモ取りも非常に丁寧で、素晴らしい学習姿勢を見せていました。

部活動見学では、剣道部、茶華道部、ウインドアンサンブル部を訪問し、体験活動を行いました。特に茶道では、慣れない正座に苦労しながらも日本のお茶文化を深く学ぶ様子が印象的でした。部活動見学は和やかな雰囲気の中で進み、文化の違いを楽しみながら理解を深める良い機会となりました。

1年F・G組との調理実習では、ちらしずしを作りました。シンガポールでは家庭で料理をする機会が少なく、外食が主流のため、初めて料理をする生徒もいましたが、楽しそうに取り組んでいました。

1年L組との交流では、日本語ディスカッションの授業が行われ、「学校の科目」「日常生活」「高山の観光地」「方言」「SNS」「歴史学習」「英語学習」「部活」などをテーマに、グループに分かれて議論しました。この活動を通じて、シンガポールと日本の違いを認識し、異文化交流の貴重な機会となりました。

英語ディベートでは「原子力発電の稼働の是非」というテーマについて、シンガポールの生徒がわずか1か月の準備期間でありながら、全国大会出場経験を持つ2年G組の生徒と堂々と議論を交わしました。この議論は非常に盛り上がり、シンガポールの生徒の高い能力を改めて実感しました。

最終日には、1年F・G組の生徒とフェアウェルパーティーを開催しました。ジェスチャーゲームで

は、言葉に頼らず必死に意思を伝え合う様子が笑いを誘い、非常に盛り上がりました。短い1週間の交流でしたが、国の違いを超えて友情が生まれ、別れの際には涙を流す生徒も見られました。この短期間で深い関係を築けたことに、多くの人が感動しました。

今後も交流の内容をより深め、両国の関係がさらに良好になることを期待します。この交流が、グローバル化が進む現代において重要な役割を果たすことを願っています。



4. アメリカ語学研修（ISA訪問）

姉妹校

アメリカ合衆国テキサス州 International School of Americas (ISA)

趣旨

英語力向上

英語を日常的に使う環境に身を置き、実際の会話やさまざまな場面でのコミュニケーション能力を高めます。これにより、教室で学んだ知識を実践的に活用する力を養います。

多文化理解の促進

アメリカの多様な文化や価値観に触れることで、異文化に対する理解を深めます。また、多文化共生の視点を学び、異なる背景を持つ人々との協調性を高めます。

自己認識の深化

異なる文化に触れることで、日本の文化や自分自身のルーツについて改めて考える機会を持ちます。他国の視点を通じて、日本の良さや課題を新たに発見し、自己理解を深めます。

経緯

新型コロナウイルスの流行により、アメリカ語学研修は一時中断されていましたが、今年度はISAの生徒らの訪問もあり、久しぶりに姉妹校での研修を実施することができました。

参加者

引率：1名（井上正己） 生徒：男子11名、女子14名 計26名

研修日程

1月4日（土）～1月17日（金） *宿泊はホストファミリー宅

1月4日（土）

出発：8:00 高山発 → 羽田空港発 17:20 → サンアントニオ着 23:56

1月5日（日）

活動：ホテルでホストファミリーと合流（ホストファミリーと過ごす休日）

1月6日（月）～1月10日（金）

活動：ISAに登校し、現地校のカリキュラムを体験

1月11日（土）・12日（日）

活動：お別れパーティーを予定

1月13日（月）～1月15日（水）

活動：ISAに登校し、カリキュラムを体験

1月15日（水）

午後にセレモニーを実施

1月16日（木）

サンアントニオ発 07:00 → 羽田空港着 15:05（1月17日）

1月17日（金）

出発：16:00 羽田空港発 → 到着：22:00頃 高山着

5. その他

令和6年度 職員一覧

職名	氏名	担当教科
理事長・統括校長	小林隆徳	
校長	谷口正彦	
教頭	横田匡司	数 学
教諭	田邊元	国 語
教諭	田口喜恵	国 語
教諭	谷川真祥	国 語
教諭	山本大輔	地歴公民
教諭	桂川剛士	地歴公民
教諭	蟹江信介	地歴公民
教諭	菅沼孝司	地歴公民
教諭	上西貞幸	数 学
教諭	纈纈貴洋	数 学
教諭	岩坂晋	数 学
教諭	橋下大介	数 学
教諭	平野由輝	数 学
教諭	山下正晃	数 学
教諭	山岡慶志郎	数 学
教諭	川上千敏	理 科
教諭	三川俊哉	理 科
教諭	木伏智仁	理 科
教諭	田中夕貴	理 科
教諭	池上正巳	保健体育
教諭	宇都宮宏美	保健体育
教諭	下畑耕一	保健体育
教諭	前川矩英	保健体育
教諭	打江勇太	保健体育
教諭	江黒永寿	英 語
教諭	元田尚美	英 語
教諭	堀尾 讓	英 語
教諭	Brailsford 雅	英 語
教諭	鈴木慎太郎	英 語
教諭	荒井啓太郎	英 語
教諭	井上正己	英 語
養護教諭	井川朱音	
常勤講師	面手 啓	地歴公民
常勤講師	脇田修宏	地歴公民
常勤講師	萩尾洋行	保健体育
常勤講師	廣 田 孝	

職名	氏名	担当教科
A L T	HendricksJamesVictor	英 語
非常勤講師	井村英行	国 語
非常勤講師	芝原靖	国 語
非常勤講師	山本茂	国 語
非常勤講師	神谷耕一	国 語
非常勤講師	熊崎陽一	国 語
非常勤講師	野村国広	国 語
非常勤講師	和田英宏	数 学
非常勤講師	下嶋克司	理 科
非常勤講師	役田雅一	理 科
非常勤講師	柿下純一	理 科
非常勤講師	直井亜矢子	音 楽
非常勤講師	宮代和枝	英 語
非常勤講師	河渡彩子	英 語
非常勤講師	藤下純子	英 語
事務局長・事務長	内記慎吾	
事務	永瀬敬至	
事務	杉浦成利	
事務	森下晃次	
事務	牧野幸恵	
事務	砂田千晶	
事務	北村水千	
事務	倉坪 旭	
校務	水津上泰宏	
校務	津野美香	
校務	浅野寿夫	
校務	長瀬裕平	
校務	高井秀典	
校務	藤井琢明	
産 業 医 師	岩 俊	
薬 劑 師	伊 藤 正	

令和5年～令和6年 高山西高等学校 略年誌 (月間行事予定から)

1 / 4 進学補習 (～6日)	3 / 21 進学補習 (～25日)	企画委員会
1 / 4 登校日として補習・部 活動実施 (～5日)		探究飛驒の日 (2年生)
1 / 9 始業日、課題テスト、 企画委員会	4 / 1 辞令交付・職員会議	6 / 26 学校後援会総会
1 / 11 漢字テスト⑨	4 / 5 企画委員会・職員会議	
1 / 13 大学入試センター試験 (～14日)	4 / 8 入学式	7 / 1 地区総体、インターハ イ壮行会
1 / 16 進路の日 (1・2年生)	4 / 9 始業式、課題テスト	7 / 2 進路の日 (全学年)、 職員会議
1 / 22 3年学年考査 (～25日)	4 / 10 1年生乗鞍研修 (～12日)	7 / 3 学年懇談会 (2年生)
1 / 23 職員会議	4 / 16 漢字テスト①、企画委 員会	7 / 4 探究飛驒の日 (1年生、 ～5日)
1 / 27 特待推薦入試	4 / 17 育友会役員会	7 / 8 迷惑調査、授業評価ア ンケート、情報モラル 研修会
1 / 30 進路の日 (2年生)、 企画委員会	4 / 22 生徒総会、委員会の日	7 / 9 3者懇談期間 (～12日)
	4 / 23 職員会議	7 / 10 漢字テスト④
	4 / 26 身体測定	7 / 13 探究飛驒の日 (1年生)
	5 / 7 避難訓練、委員会の日、 企画委員会	7 / 16 進路の日 (3年生)
2 / 6 職員会議	5 / 8 漢字テスト②	7 / 19 終業日
2 / 10 一般入試	5 / 9 育友会総会	7 / 21 進学補習 (～27日)
2 / 14 学年末考査 (～19日)	5 / 13 職員会議	7 / 22 登校日として補習・部 活動実施 (～23日)
2 / 19 親父ゼミナール、企業 見学 (1年生)	5 / 15 市内研修 (全学年)	
2 / 20 探究飛驒の日 (～21日)	5 / 17 探究飛驒の日 (2学年)	8 / 2 進路指導委員会 (就職)
2 / 21 漢字テスト⑩	5 / 20 生徒対象進路ガイダンス	8 / 4 進学補習 (～9日)、 探究飛驒の日 (～5日)
2 / 28 3年生を送る会	5 / 21 進路の日 (3年生)	8 / 17 オープンキャンパス (～18日)
2 / 29 3年終了式、卒業式予 行、同窓会入会式	5 / 27 生徒会長選挙	8 / 19 進学補習 (～24日)
	5 / 29 企画委員会	8 / 21 登校日として補習・部 活動実施 (～22日)
	5 / 31 職員会議	8 / 23 育友会模擬面接
		8 / 26 始業日、課題テスト (英・数・地公)、職 員会議
3 / 1 卒業式、探究飛驒の日 (2年生)	6 / 3 前期中間考査 (～6日)	8 / 27 課題テスト (国・理)、 委員会の日
3 / 2 探究飛驒研究発表会 (1・2年生)	6 / 6 防犯講話、交通講話	9 / 2 企画委員会
3 / 4 委員会の日、企画委員 会	6 / 7 東海総体壮行会	
3 / 5 専願一日入学	6 / 11 漢字テスト③、委員 会の日、テキサス留学生 来校 (～20日)	
3 / 11 職員会議	6 / 12 保護者対象進路ガイ ダンス	
3 / 19 修了式、企画委員会、 職員会議	6 / 18 西高祭	
3 / 20 併願一日入学	6 / 24 探究飛驒の日 (2年生、 ～25日)	
	6 / 25 企業実習 (～28日)、	

- | | | | |
|-------|--|-------|--------------------------|
| 9/3 | 体育祭 | 12/2 | 職員会議、租税講座 |
| 9/9 | 探究飛驒の日（2年生、
～10日）、職員会議 | 12/4 | 漢字テスト⑧ |
| 9/12 | 漢字テスト⑤ | 12/6 | フラワーアレンジメン
ト、入試委員会 |
| 9/17 | 前期期末考査（～20日） | 12/9 | 迷惑調査、受業評価ア
ンケート |
| 9/24 | 2年生研修旅行（～27日） | 12/10 | 委員会の日 |
| 9/25 | バス研修行（1・3年生） | 12/16 | カリキュラム委員会 |
| 9/26 | 探究飛驒の日（1年生） | 12/20 | 終業日 |
| 9/30 | 委員会の日 | 12/21 | 進学補習（～26日） |
| | | 12/23 | 登校日として補習・部
活動実施（～24日） |
| 10/1 | 企画委員会 | | |
| 10/4 | 前期終業式 | | |
| 10/7 | 後期始業式、作業体験
学習 | | |
| 10/8 | 進路の日（3年生） | | |
| 10/10 | 漢字テスト⑥ | | |
| 10/15 | 公開授業週間（～11/
8）、職員会議 | | |
| 10/20 | 中学生一日体験入学 | | |
| 10/23 | 探究飛驒の日（1年生） | | |
| 10/28 | 委員会の日、企画委員
会 | | |
| 11/5 | 進路の日（全学年）、
職員会議 | | |
| 11/7 | 漢字テスト⑦、中学生
個別説明会① | | |
| 11/11 | 探究飛驒の日（～12日） | | |
| 11/12 | 中学生個別説明会② | | |
| 11/18 | 後期中間考査（～21日） | | |
| 11/19 | 中学生個別説明会③
（下呂会場） | | |
| 11/20 | 同窓会総会 | | |
| 11/25 | 企画委員会、行事検討
委員会
シンガポール留学生来
校（～29日） | | |
| 11/27 | 中学生個別説明会④ | | |



高山西高等学校学校後援会役員

会 長	打江 信夫	
副 会 長	林 誠	下畑 了三
	川島 正人	
理 事	洲岬 孝雄	松之木 映一
	久保田 彰	平 和民
	有巢 正洋	新井 裕輔
庶務会計	杉本 敦司	
監 事	二木 長右衛門	鈴木 貞夫

高山西高等学校育友会役員

直前会長	下畑 了三	
会 長	田中 宏	
副 会 長	荒家 正紀	清水 智弘
	奥田 建二	飯山 和義
	直井 信靖	垣内 順子
書 記	角竹 祥江	
会 計	岩堤 友紀	
監 事	倉坪 美紀	牛丸 亜由子

高山西高等学校同窓会役員

会 長	新井 裕輔	
副 会 長	角川 祐三子	野中 寛之
	山本 規雄	平 康裕
	谷口 智	野澤 竜弥
代表幹事	天木 伴也	井辺 義直
	鴨林 周平	永倉 健太
	鳩谷 剛	谷邊 智之
会 計	加藤 克彦	瀬木 貴子
監 事	鴻巣 庄吾	松之木 崇夫

編集後記

今年から新型コロナウイルスの影響がなくなり、学校行事や部活動の大会が以前のように実施されるようになりました。活発な学校に戻ってきたなど実感しております。学校行事等は、慣例化してきた内容を見直し、世の中のニーズに合った取り組みに少しずつ変わってきたと思います。高山西高等学校は社会の変化と共に臨機応変に対応して飛騨地区の教育をさらに高められるように努力していきたいと考えています。

今後、より良い高山西高等学校にしていくために、多くの方々のご支援や叱咤激励をよろしくお願い致します

編集委員

委員長 田邊 元

委員 谷川 真祥

校誌 見量山 第31号

令和7年3月1日発行

発行所 高山西高等学校

〒506-0059 岐阜県高山市下林町353番地

TEL 0577-32-2590 FAX 0577-33-9911

URL <http://www.takanishi.ed.jp/>

発行者 小林隆徳

印刷所 (有) 高山ビジネスマシン

高山市桐生町8丁目490番地
